

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環リンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">信号</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>安全注入作動警報</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> <td>・N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	信号	操作	復水ビット水位計	・復水ビット水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)	安全注入作動警報	・安全注入作動警報	水源の確保	操作	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	・復水ビット水位計	N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)	・N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border: 2px solid yellow;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「復水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	操作	監視計器	重大事故等対応要領書「復水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	操作	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧(9/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td rowspan="7">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td rowspan="7">電源</td> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">判断基準</td> <td rowspan="7">信号</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判断基準</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・高压注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・泊幹線1L電圧、2L電圧	操作	電源	・後志幹線1L電圧、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)	判断基準	信号	・燃料取替用水ビット水位	・2次系純水タンク水位	・ろ過水タンク水位	・ECCS作動	・炉心出口温度	・加圧器水位	・1次冷却材圧力(広域)	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・高压注入流量	・低圧注入流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	判断基準	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																			
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計(広域)																																																																																																
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																
	水源の確保	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																															
			燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																															
			ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																															
	信号	操作	復水ビット水位計	・復水ビット水位計																																																																																															
			1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																															
			安全注入作動警報	・安全注入作動警報																																																																																															
	水源の確保	操作	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																															
復水ビット水位計			・復水ビット水位計																																																																																																
N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)			・N o. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																
判断基準	操作	監視計器																																																																																																	
重大事故等対応要領書「復水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																																	
	操作	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																			
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																																
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																
			・格納容器ガスモニタ																																																																																																
			・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																
	操作	電源	・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																
			・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																
			・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																
			・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量																																																																																																
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)																																																																																																
判断基準	信号	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																	
		・2次系純水タンク水位																																																																																																	
		・ろ過水タンク水位																																																																																																	
		・ECCS作動																																																																																																	
		・炉心出口温度																																																																																																	
		・加圧器水位																																																																																																	
		・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																	
判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・高压注入流量																																																																																																	
		・低圧注入流量																																																																																																	
		・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																	
判断基準	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ランプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ランプ水位計(広域)	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	操作	・安全注入作動警報	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>監視計器一覧(10/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ランプ水位(広域) ・格納容器内循環ランプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・泊発電機1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志発電機1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ランプ水位(広域) ・格納容器内循環ランプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	補機監視機能	・泊発電機1L電圧、2L電圧	・後志発電機1L電圧、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	操作	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																								
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ランプ水位計(広域)																																																																					
	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																					
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																					
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																					
		信号	・燃料取替用水ピット水位計																																																																					
	・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																							
	操作	・安全注入作動警報																																																																						
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																						
		・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																								
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																								
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																								
b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																								
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																					
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ランプ水位(広域) ・格納容器内循環ランプ水位(狭域)																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																					
	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																					
		補機監視機能	・泊発電機1L電圧、2L電圧																																																																					
			・後志発電機1L電圧、2L電圧																																																																					
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																					
		操作	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																					
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・ほう酸タンク水位計		・復水ピット水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		・安全注入作動警報		操作	・燃料取替用水ピット水位計		・復水ピット水位計		・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border: 2px solid yellow;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要図書「淡水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	監視項目	監視計器	重大事故等対応要図書「淡水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」	水源の確保	復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	水源の確保	復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧(11/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="25">1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・3DCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料加熱シリングの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・補助凝縮タンクタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱シリング水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱シリング圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱シリング温度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・3DCS作動	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	燃料加熱シリングの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位		・補助凝縮タンクタンク水位		・排気筒ガスモニタ		・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)		・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)		・復水器排気ガスモニタ		・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		・高感度型主蒸気管モニタ		・蒸気発生器水位(狭域)		・主蒸気ライン圧力		・余熱除去ポンプ出口圧力		・余熱除去冷却器入口温度		・余熱除去冷却器出口温度		・加圧器過熱シリング水位		・加圧器過熱シリング圧力		・加圧器過熱シリング温度		<p>【女川】運用の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																																	
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																														
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																														
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																														
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																															
		・ほう酸タンク水位計																																																																																																																															
		・復水ピット水位計																																																																																																																															
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																																															
		・安全注入作動警報																																																																																																																															
操作	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																
	・復水ピット水位計																																																																																																																																
	・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																																																
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																																															
重大事故等対応要図書「淡水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」	水源の確保	復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																															
	水源の確保	復水貯水タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																																	
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																																	
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																																	
b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																																	
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・3DCS作動																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																														
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力(広域)																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力(AM用)																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																																																																														
		燃料加熱シリングの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																														
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																															
		・補助凝縮タンクタンク水位																																																																																																																															
		・排気筒ガスモニタ																																																																																																																															
		・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																																															
		・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																																															
		・復水器排気ガスモニタ																																																																																																																															
		・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																																															
		・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																																															
		・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																															
		・主蒸気ライン圧力																																																																																																																															
		・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																															
		・余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																															
		・余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																															
		・加圧器過熱シリング水位																																																																																																																															
		・加圧器過熱シリング圧力																																																																																																																															
・加圧器過熱シリング温度																																																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」</th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 60%;">水源の確保</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保		水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(12/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ポンプ1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・RCVS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給			i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	補機監視機能	・ポンプ1L電圧, 2L電圧	・後志幹線1L電圧, 2L電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧	・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	信号	・RCVS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																										
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																								
	水源の確保	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																						
			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																						
			信号	・安全注入作動警報																																																																						
			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																						
重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保																																																																								
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																								
	操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給																																																																										
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																						
			補機監視機能	・ポンプ1L電圧, 2L電圧																																																																						
				・後志幹線1L電圧, 2L電圧																																																																						
				・甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																						
				・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧																																																																						
	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																									
	操作	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																						
			信号	・RCVS作動																																																																						
			原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																						
			原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力			・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																							
原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																			
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>		<p>監視計器一覧(13/29)</p>																																																																				
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">放射線量</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2減水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	放射線量	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2減水タンク水位計(CRT)	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>電源</td> <td>・前降薬1L電圧、2L電圧 ・後降薬1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)a.、b)1.、ii.代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	電源	・前降薬1L電圧、2L電圧 ・後降薬1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	1.13.2.2(1)a.、b)1.、ii.代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																						
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																			
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																			
	放射線量	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																			
		信号	・安全注入作動警報																																																																			
		操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2減水タンク水位計(CRT)																																																																		
	対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																					
	(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																					
	a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																					
b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																						
ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																			
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																			
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																			
		原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																			
	電源	電源	・前降薬1L電圧、2L電圧 ・後降薬1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																			
		補機監視機能	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																		
			操作	1.13.2.2(1)a.、b)1.、ii.代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																			
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		・ほう酸タンク水位計		・復水ビット水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		・安全注入作動警報		操作	・燃料取替用水ビット水位計		・復水ビット水位計			・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</th> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>初期基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	監視項目	監視計器	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	初期基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(14/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・BCCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力(炉用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・補助凝縮タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器バイパスの監視</td> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・加圧器連がシタンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・加圧器連がシタンク圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・加圧器連がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・BCCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量	・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力(炉用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域)	・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量	・蒸気発生器水位(広域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位		・補助凝縮タンク水位		・排気筒ガスモニタ		・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)		・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)		・復水器排気ガスモニタ		・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		格納容器バイパスの監視	・高感度型主蒸気管モニタ		・蒸気発生器水位(狭域)		・主蒸気ライン圧力		・余熱除去ポンプ出口圧力				・余熱除去冷却器入口温度			・余熱除去冷却器出口温度			・加圧器連がシタンク水位			・加圧器連がシタンク圧力			・加圧器連がシタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由④)</p> <p>【大阪】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																																																						
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																																			
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																																			
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																																			
	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																																					
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																																				
		・ほう酸タンク水位計																																																																																																																																				
		・復水ビット水位計																																																																																																																																				
信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																																																					
	・安全注入作動警報																																																																																																																																					
操作	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																																					
	・復水ビット水位計																																																																																																																																					
	・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																																																					
重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																																																			
重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	初期基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																																			
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																				
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																																																						
1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・BCCS作動																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																																																																			
			・低圧注入流量																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																																			
			・格納容器圧力(炉用)																																																																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域)																																																																																																																																			
	・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量																																																																																																																																				
		・蒸気発生器水位(広域)																																																																																																																																				
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																																				
		・補助凝縮タンク水位																																																																																																																																				
		・排気筒ガスモニタ																																																																																																																																				
		・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																																																				
		・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																																																				
		・復水器排気ガスモニタ																																																																																																																																				
		・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																																																				
格納容器バイパスの監視		・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																																																				
		・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																																				
		・主蒸気ライン圧力																																																																																																																																				
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																																					
		・余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																																				
		・余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																																				
		・加圧器連がシタンク水位																																																																																																																																				
		・加圧器連がシタンク圧力																																																																																																																																				
		・加圧器連がシタンク温度																																																																																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																											
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(2/3)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(15/29)</p>																																																																																												
<p>監視計器一覧(14/14)</p>	<p>監視計器一覧(2/3)</p>	<p>監視計器一覧(15/29)</p>																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環リンパ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全注人作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		・ほう酸タンク水位計		・復水ビット水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		・安全注人作動警報		操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		・復水ビット水位計				・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	監視項目	監視計器	重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	復水貯蔵タンク水位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・泊発機1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊発機1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)	・燃料取替用水ビット水位	操作	信号	・ECCS作動	原子炉压力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量			原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																														
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計(広域)																																																																																											
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																											
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																											
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																											
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																											
	・格納容器じんあいモニタ																																																																																													
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																												
		・ほう酸タンク水位計																																																																																												
		・復水ビット水位計																																																																																												
信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																													
	・安全注人作動警報																																																																																													
操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																												
		・復水ビット水位計																																																																																												
		・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																												
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																												
重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																												
	操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																														
i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																											
		電源	・泊発機1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																											
			補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)																																																																																										
				・燃料取替用水ビット水位																																																																																										
		操作	信号	・ECCS作動																																																																																										
	原子炉压力容器内の温度		・炉心出口温度																																																																																											
	原子炉压力容器内の水位		・加圧器水位																																																																																											
	原子炉压力容器内の圧力		・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																											
	原子炉压力容器への注水量		・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																											
			原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td></td> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・安全注人作動警報</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ	信号		・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ピット水位計		・ほう酸タンク水位計	操作		・復水ピット水位計		・1次系純水タンク水位計(CRT)			・安全注人作動警報			・燃料取替用水ピット水位計			・復水ピット水位計			・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 1.2em;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(16/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・蒸気発生器水位(広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td></td> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・6-A、B、C-1、C-2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			e) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力(AM用)		・格納容器スプレイ流量		・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)		・格納容器再循環サンプ水位(広域)		・格納容器再循環サンプ水位(狭域)		・補助給水流量		・蒸気発生器水位(広域)		・蒸気発生器水位(狭域)		・燃料取替用水ピット水位	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・エアロックエリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ	電源		・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ		・泊幹線1L電圧、2L電圧	補機監視機能		・後志幹線1L電圧、2L電圧		・甲母線電圧、乙母線電圧		・6-A、B、C-1、C-2、D母線電圧		・原子炉補機冷却水供給母管流量	操作		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	<p>【女川】運用の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑤)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																															
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																												
		水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																											
				・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																											
				・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																											
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																												
	信号		・格納容器ガスモニタ																																																																																																																												
			・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																												
			・ほう酸タンク水位計																																																																																																																												
操作		・復水ピット水位計																																																																																																																													
		・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																																													
		・安全注人作動警報																																																																																																																													
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																													
		・復水ピット水位計																																																																																																																													
		・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																															
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																															
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																															
e) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																															
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																												
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力(AM用)																																																																																																																												
			・格納容器スプレイ流量																																																																																																																												
			・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																																												
			・格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																																												
			・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																																												
			・補助給水流量																																																																																																																												
			・蒸気発生器水位(広域)																																																																																																																												
			・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																												
			・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																												
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																																																												
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																												
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																																												
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																												
電源		・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																													
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																																													
		・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																													
補機監視機能		・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																													
		・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																													
		・6-A、B、C-1、C-2、D母線電圧																																																																																																																													
		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																													
操作		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の注水量</td> <td colspan="2">・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td colspan="2">・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)		信号	・安全注入作動警報		操作	1.13.2.2 (8)と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (原用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内前置サンプ水位 (広域) ・ 格納容器内前置サンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器バイパスの監視</td> <td colspan="2">・ 補助凝縮サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td colspan="2">・ 泡水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 加圧器過熱タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 加圧器過熱タンク圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td colspan="2">・ 加圧器過熱タンク温度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">・ 格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (原用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内前置サンプ水位 (広域) ・ 格納容器内前置サンプ水位 (狭域)	格納容器バイパスの監視	・ 補助凝縮サンプタンク水位		・ 排気筒ガスモニタ		・ 排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)		・ 排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 泡水器排気ガスモニタ		・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ		・ 高感度型主蒸気管モニタ		・ 蒸気発生器水位 (狭域)		・ 主蒸気ライン圧力		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去冷却器入口温度		・ 余熱除去冷却器出口温度		・ 加圧器過熱タンク水位		・ 加圧器過熱タンク圧力		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 加圧器過熱タンク温度		・ 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)		・ エアロックエアモニタ		・ 炉内計装区域エアモニタ				・ 格納容器じんあいモニタ				・ 格納容器ガスモニタ		<p>【大阪】運用の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																																							
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)																																																																																																																				
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																																																				
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																																				
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																					
	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																						
信号	・安全注入作動警報																																																																																																																						
操作	1.13.2.2 (8)と同様。																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																							
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																							
b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																																							
c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																																							
(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (原用)																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内前置サンプ水位 (広域) ・ 格納容器内前置サンプ水位 (狭域)																																																																																																																				
		格納容器バイパスの監視	・ 補助凝縮サンプタンク水位																																																																																																																				
			・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																																				
			・ 排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)																																																																																																																				
・ 排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)																																																																																																																							
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 泡水器排気ガスモニタ																																																																																																																						
	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																																						
	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																																						
	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																						
	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																						
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																						
	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																						
	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																						
	・ 加圧器過熱タンク水位																																																																																																																						
	・ 加圧器過熱タンク圧力																																																																																																																						
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 加圧器過熱タンク温度																																																																																																																						
	・ 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)																																																																																																																						
	・ エアロックエアモニタ																																																																																																																						
	・ 炉内計装区域エアモニタ																																																																																																																						
		・ 格納容器じんあいモニタ																																																																																																																					
		・ 格納容器ガスモニタ																																																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 (CRT)	信号	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	・安全注入作動警報		1.13.2.2 (8)と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (18/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (a) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水時の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・DCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・第一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (a) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水時の場合)	判断基準	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ろ過水タンク水位	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ろ過水タンク水位	ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・DCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	操作	原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の放射線量率	・第一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・燃料取替用水ビット水位	・2次系純水タンク水位	・ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																													
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																										
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計																																																																										
			・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																										
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																										
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																										
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 (CRT)																																																																												
信号	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																												
・安全注入作動警報																																																																													
1.13.2.2 (8)と同様。																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (a) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																													
i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水時の場合)	判断基準	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																																																											
	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																																																											
ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・DCS作動																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																										
	操作	原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力 (AM用)																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器スプレイ流量																																																																										
		原子炉格納容器内の放射線量率	・第一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																										
		・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																											
		・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)																																																																											
・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																													
・エアロックエリアモニタ																																																																													
・炉内計装区域エリアモニタ																																																																													
・格納容器じんあいモニタ																																																																													
・燃料取替用水ビット水位																																																																													
・2次系純水タンク水位																																																																													
・ろ過水タンク水位																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク經由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔經由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	水源の確保	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計（CRT）	加圧器逃がしタンク水位計			加圧器逃がしタンク經由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔經由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(19/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="10">信号</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器西循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器西循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>水源の確保</td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダリン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口風度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口風度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・低圧注入流量	原子炉格納容器内の温度	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）	原子炉格納容器内の水位	・燃料取替用水ピット水位	格納容器バイパスの監視	格納容器バイパスの監視	水源の確保	・1次系純水タンク水位	・ほう酸タンク水位	・補助建屋サンプタンク水位	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・復水器排気ガスモニタ	・蒸気発生器ブローダリン水モニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器水位（狭域）	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口風度	・余熱除去冷却器出口風度	・加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク圧力	・加圧器逃がしタンク温度	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																				
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																	
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																																																	
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																	
		水源の確保	・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																	
・格納容器じんあいモニタ																																																																																																				
・格納容器ガスモニタ																																																																																																				
信号	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																			
	・ほう酸タンク水位計																																																																																																			
	・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																																			
加圧器逃がしタンク水位計																																																																																																				
加圧器逃がしタンク經由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔經由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																				
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																				
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																				
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																				
判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																	
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・低圧注入流量																																																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（AM用）																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																	
格納容器バイパスの監視	格納容器バイパスの監視	水源の確保	・1次系純水タンク水位																																																																																																	
		・ほう酸タンク水位																																																																																																		
		・補助建屋サンプタンク水位																																																																																																		
		・排気筒ガスモニタ																																																																																																		
		・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																																		
		・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																		
		・復水器排気ガスモニタ																																																																																																		
		・蒸気発生器ブローダリン水モニタ																																																																																																		
		・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																		
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																		
・主蒸気ライン圧力																																																																																																				
・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																				
・余熱除去冷却器入口風度																																																																																																				
・余熱除去冷却器出口風度																																																																																																				
・加圧器逃がしタンク水位																																																																																																				
・加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																				
・加圧器逃がしタンク温度																																																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ピット水位計	信号	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	操作	・加圧器逃がしタンク水位計	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(20/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">判断基準</td> <td rowspan="2">信号</td> <td>・3CCS作動</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力(炉用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">操作</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2(1)c.、b)1.、11次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	判断基準	信号	・3CCS作動	・加圧器水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・1次冷却材圧力(広域)	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の注水量	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力(炉用)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・ほう酸タンク水位	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	1.13.2.2(1)c.、b)1.、11次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)の操作手順と同様である。			<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																	
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																															
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																															
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																															
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																															
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																															
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																															
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																															
		・炉内計装区域エリアモニタ																																																																															
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																															
・格納容器ガスモニタ																																																																																	
・燃料取替用水ピット水位計																																																																																	
信号	・ほう酸タンク水位計																																																																																
	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																
操作	・加圧器逃がしタンク水位計																																																																																
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																	
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																	
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																	
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																	
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																															
		・エアロックエリアモニタ																																																																															
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																															
		・1次系純水タンク水位																																																																															
判断基準	信号	・3CCS作動																																																																															
		・加圧器水位																																																																															
	原子炉格納容器内の放射線量率	・1次冷却材圧力(広域)																																																																															
		・格納容器内温度																																																																															
	原子炉格納容器内の注水量	・原子炉格納容器圧力																																																																															
		・格納容器圧力(炉用)																																																																															
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																															
		・1次系純水タンク水位																																																																															
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・ほう酸タンク水位																																																																														
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																														
1.13.2.2(1)c.、b)1.、11次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)の操作手順と同様である。																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内のエアロック区域エアモニタ</td> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内のガスモニタ</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1次系純水タンク水位計（CRT）</td> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	原子炉格納容器内のエアロック区域エアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ	原子炉格納容器内のガスモニタ	・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	操作	1次系純水タンク水位計（CRT）	・1次系純水タンク水位計（CRT）			・加圧器逃がしタンク水位計				・安全注入作動警報				加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(21/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ RCS作動 ・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">格納容器バイパスの監視</td> <td>補助建屋サンプタンク水位</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>復水器排気ガスモニタ</td> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク水位</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク水位 ・ 加圧器逃がしタンク圧力 ・ 加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水時の場合）	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ RCS作動 ・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	格納容器バイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ	排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ	蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	操作	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク水位 ・ 加圧器逃がしタンク圧力 ・ 加圧器逃がしタンク温度	<p>【大飯】運用の相違（相違理由③）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																													
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																															
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																												
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																												
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																												
	水源の確保	原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																																												
		原子炉格納容器内のエアロック区域エアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																																												
		原子炉格納容器内のガスモニタ	・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																																												
	信号	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																												
		ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																																												
	操作	1次系純水タンク水位計（CRT）	・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																																												
			・加圧器逃がしタンク水位計																																																																																																												
		・安全注入作動警報																																																																																																													
		加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																															
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																															
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																															
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																															
1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水時の場合）	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ RCS作動 ・ 加圧器水位																																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																																																												
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																																																																												
	格納容器バイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																																												
		排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																												
		排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																																												
		排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																												
		復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																																												
		蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																												
		高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																												
操作	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																													
	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																													
	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																													
	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																													
	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																													
	加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク水位 ・ 加圧器逃がしタンク圧力 ・ 加圧器逃がしタンク温度																																																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																	
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ	水源の確保		・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ピット水位計		・ほう酸タンク水位計	信号	・安全注入作動警報		操作	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(22/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器圧力(炉用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・エアロックエリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位		・1次系純水タンク水位		・ほう酸タンク水位		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・エアロックエリアモニタ	ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	操作	原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力(炉用)		・格納容器スプレイ流量		・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)		・格納容器再循環サンプ水位(広域)		・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位		・1次系純水タンク水位		・ほう酸タンク水位		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・エアロックエリアモニタ	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																				
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の放射線量率		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																	
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																	
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																	
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																	
水源の確保		・格納容器ガスモニタ																																																																																																																		
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																		
		・ほう酸タンク水位計																																																																																																																		
信号	・安全注入作動警報																																																																																																																			
操作	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																				
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																				
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																				
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																				
1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																	
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																																	
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																	
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																	
			・格納容器ガスモニタ																																																																																																																	
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																	
			・1次系純水タンク水位																																																																																																																	
			・ほう酸タンク水位																																																																																																																	
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																	
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																																	
ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECS作動																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																	
	操作	原子炉格納容器への注水量	・格納容器圧力(炉用)																																																																																																																	
			・格納容器スプレイ流量																																																																																																																	
			・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																																	
			・格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																																	
			・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																																	
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																		
		・1次系純水タンク水位																																																																																																																		
		・ほう酸タンク水位																																																																																																																		
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																		
		・エアロックエリアモニタ																																																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																								
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (12 / 14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">L.13.2.2 (7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）	操作	・安全注入作動警報	L.13.2.2 (7)と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (23/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水中の場合）</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（扇用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">格納容器バイパスの監視</td> <td>補助凝縮サンプタンク水位</td> <td>・ 補助凝縮サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器達がシタンク水位</td> <td>・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水中の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（扇用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位	格納容器バイパスの監視	補助凝縮サンプタンク水位	・ 補助凝縮サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器達がシタンク水位	・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度	<p>【大阪】運用の相違（相違理由㉞）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																											
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																								
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																								
		信号	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）																																																																								
		操作	・安全注入作動警報																																																																								
L.13.2.2 (7)と同様。																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																											
1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水中の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																								
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（扇用）																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																								
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位																																																																								
		格納容器バイパスの監視	補助凝縮サンプタンク水位	・ 補助凝縮サンプタンク水位																																																																							
			排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																							
高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																										
蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																										
主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																										
余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																										
加圧器達がシタンク水位	・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位計(CRT)</td> <td>・使用済燃料ビット水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(7)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・No. 3淡水タンク水位計(CRT)	使用済燃料ビット水位計(CRT)	・使用済燃料ビット水位計(CRT)	操作	1.13.2.2(7)と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(24/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">I. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td>判断基準</td> <td> ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> ・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ECS作動 </td> </tr> <tr> <td rowspan="10">II. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイの場合)</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位</td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンク水位</td> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>エアロックエアモニタ</td> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>炉内計装区域エアモニタ</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)d. (a) 1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給			I. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ECS作動	II. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイの場合)	判断基準	信号	・ECS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位	2次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ	炉内計装区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	格納容器じんあいモニタ	・格納容器じんあいモニタ	操作	1.13.2.2(1)d. (a) 1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)の操作手順と同様である。		<p>【大阪】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																	
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																														
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																														
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																														
		燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																														
		1次系純水タンク水位計(CRT)	・No. 3淡水タンク水位計(CRT)																																																																														
		使用済燃料ビット水位計(CRT)	・使用済燃料ビット水位計(CRT)																																																																														
操作	1.13.2.2(7)と同様。																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																																	
I. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																															
	操作	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位 ・ECS作動																																																																															
II. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイの場合)	判断基準	信号	・ECS作動																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																														
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																														
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																														
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																														
		1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位																																																																														
		2次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位																																																																														
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																															
	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ																																																																															
	炉内計装区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ																																																																															
	格納容器じんあいモニタ	・格納容器じんあいモニタ																																																																															
操作	1.13.2.2(1)d. (a) 1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを經由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)の操作手順と同様である。																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (5)と同様。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	操作	監視計器	重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(25/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）</td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECS作動 ・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>・補助循環サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	判断基準	信号	・ECS作動 ・加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	・ほう酸タンク水位	格納容器バイパスの監視	・補助循環サンプタンク水位	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・復水器排気ガスモニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器水位（狭域）	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器出口温度	・加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク圧力	・加圧器逃がしタンク温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	<p>【大阪】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																						
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																				
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																				
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																				
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																				
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																				
		・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																				
		・炉内計装区域エアモニタ																																																																																				
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																				
		・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																				
	信号	・安全注入作動警報																																																																																				
	操作	1.13.2.2 (5)と同様。																																																																																				
	判断基準	操作	監視計器																																																																																			
重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																				
	操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																						
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	判断基準	信号	・ECS作動 ・加圧器水位																																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																			
		原子炉圧力容器への注水量	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・格納容器内温度																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																																			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																			
			・1次系純水タンク水位																																																																																			
			・ほう酸タンク水位																																																																																			
		格納容器バイパスの監視	・補助循環サンプタンク水位																																																																																			
			・排気筒ガスモニタ																																																																																			
			・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																			
			・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																			
			・復水器排気ガスモニタ																																																																																			
・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																						
・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																						
・主蒸気ライン圧力																																																																																						
・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																						
・余熱除去冷却器入口温度																																																																																						
・余熱除去冷却器出口温度																																																																																						
・加圧器逃がしタンク水位																																																																																						
・加圧器逃がしタンク圧力																																																																																						
・加圧器逃がしタンク温度																																																																																						
原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																					
	・エアロックエアモニタ																																																																																					
	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																					
	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" data-bbox="100 247 716 941"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2(5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		格納容器エアロック区域エリアモニタ		炉内計装区域エリアモニタ		格納容器じんあいモニタ		水源の確保	燃料取替用水ピット水位計		ほう酸タンク水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		操作	・安全注入作動警報		1.13.2.2(5)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" data-bbox="739 478 1355 662"> <thead> <tr> <th>相違基準</th> <th>水源地の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	相違基準	水源地の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保		操作	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(26/29)</p> <table border="1" data-bbox="1377 183 1993 885"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・HCS作動</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判別基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エアロックエリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)e、b)1、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位	信号	・HCS作動	判別基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	燃料取替用水ピット水位		ほう酸タンク水位		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		エアロックエリアモニタ		炉内計装区域エリアモニタ		格納容器じんあいモニタ		操作	1.13.2.2(1)e、b)1、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																											
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																									
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																									
		格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																									
		炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																									
		格納容器じんあいモニタ																																																																																																									
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位計																																																																																																									
		ほう酸タンク水位計																																																																																																									
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																									
操作	・安全注入作動警報																																																																																																										
1.13.2.2(5)と同様。																																																																																																											
相違基準	水源地の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																									
重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保																																																																																																									
	操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																											
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																											
e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																											
b) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																											
1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位																																																																																																								
		信号	・HCS作動																																																																																																								
	判別基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																																																								
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																								
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位																																																																																																								
			ほう酸タンク水位																																																																																																								
原子炉格納容器内の放射線量率		格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																									
		エアロックエリアモニタ																																																																																																									
	炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																										
	格納容器じんあいモニタ																																																																																																										
操作	1.13.2.2(1)e、b)1、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																			
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(7) 海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td style="width: 10%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">重大事故等対応要領書「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td style="width: 10%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) </td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 </td> </tr> </table>	重大事故等対応要領書「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 	重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) 	重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (27/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>判断基準</td> <td> 水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	(b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計	(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計	b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給			(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位	(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順			a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	操作	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	<p>【女川】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>
(7) 海水を用いた復水ビットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 																																																																		
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																																			
水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																																				
重大事故等対応要領書「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 																																																																			
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・ろ過水タンク水位 ・純水タンク水位 ・原水タンク水位 																																																																			
重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) 																																																																			
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 ・淡水貯水槽 (No. 1) ・淡水貯水槽 (No. 2) 																																																																			
重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 																																																																			
操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給																																																																						
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位																																																																				
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																				
(b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計																																																																				
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計																																																																				
(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計																																																																				
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・補助給水流量計																																																																				
b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給																																																																						
(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量計 ・補助給水ビット水位																																																																				
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位																																																																				
(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順																																																																						
a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																				
	操作	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																				
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(5) No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td style="width: 10%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> </table>	(5) No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>																																																											
(5) No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 																																																																		
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																																			
水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																																				
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・N.o. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・N.o. 2 淡水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保</td> <td>サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(28/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器への注水中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器内へのスプレイ中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AH01) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ビット水位 水源の確保 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え			a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器への注水中の場合)	判断基準	原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AH01) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え			a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ビット水位 水源の確保 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	<p style="text-align: center;">【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>
(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替			判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計																																											
		最終ヒートシンクの確保		・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計																																												
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・N.o. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																													
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え																																																
非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																													
非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																														
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え																																																
a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器への注水中の場合)	判断基準	原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																														
	操作	水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																														
b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AH01) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																														
	操作	水源の確保 ・ 電源 ・ ボーア、B得線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																														
(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え																																																
a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉压力容器への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ビット水位 水源の確保 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																														
	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																														
<p>監視計器一覧(3/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保</td> <td>サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(29/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプの水源地の切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位 水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプの水源地の切替え			a. 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位 水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																														
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																
(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計																																													
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																													
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																													
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え																																																
非常時操作手順書(微絶ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																													
非常時操作手順書(設備別)「高圧が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位 水源の確保	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 復水貯蔵タンク水位																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																														
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプの水源地の切替え																																																
a. 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位 水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位																																														
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">(1) 復水ビットからN.o. 3 淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </table>	(1) 復水ビットからN.o. 3 淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																							
(1) 復水ビットからN.o. 3 淡水タンクへの水源切替			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																											
		水源の確保		・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																												
	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・N.o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
第1.13.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			第1.13-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				第1.13.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
対象条文	供給対象設備	給電元	対象条文	供給対象設備	供給元		対象条文	供給対象設備	給電元		
【1.13】重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	【1.13】 重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	計測用電源 (復水貯蔵タンク水位)	設備	母線	【1.13】 重大事故等時に必要となる水の供給手順等	原子炉格納容器スプレイ設置弁	設備	母線	
	A 高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線			常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系			常設代替交流電源設備	B2-2原子炉コントロールセンター	
	B 高圧注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用交流電源設備		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	A 充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
	B 充てんポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	C 充てんポンプ	3-3 (4) A2 非常用低圧母線							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
				3-3 (4) B2 非常用低圧母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整					
	A 格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	A 加圧器逃がし弁	A2 ソレノイド分電盤							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
	B 加圧器逃がし弁	B2 ソレノイド分電盤		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
		A-1M設備直交流電源分電盤									
		B-1M設備直交流電源分電盤									

※：括弧内は監理設計

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.1.1図 炉心注水機能喪失</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (2/5)</p>	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・対応手段を緑枠とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第3 1次系循環水タンク及びほうろくタンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次系循環水タンク 1次系補給水ポンプ ほうろくタンク ほうろくポンプ <p>第4 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次系循環水タンク 1次系補給水ポンプ 燃料取扱用水ポンプ 燃料取扱用水ポンプ <p>第5 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次系循環水タンク 1次系補給水ポンプ 燃料取扱用水ポンプ <p>第6 N1、3系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> N1、3系循環水タンク 燃料取扱用水ポンプ N1、3系循環水タンク 使用済燃料ピットポンプ <p>第7 N1、2系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> N1、2系循環水タンク <p>第8 燃料取扱用水ピットから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱用水ピット <p>第1 燃料取扱用水ピットからN1、2系循環水タンクへの水源切替</p> <ul style="list-style-type: none"> N1、2系循環水タンク 電動消火ポンプ ダイヤセーラー消火ポンプ <p>第2 燃料取扱用水ピットから復水ピットへの水源切替</p> <ul style="list-style-type: none"> 復水ピット 圧力代替用圧注水ポンプ 空弁式非常用発電機装置 燃料取扱用水タンク タンクローリー <p>第9 燃料取扱用水ピットから取水への水源切替</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬式代替用圧注水ポンプ 電源車（可搬式代替用圧注水ポンプ用） 空弁式非常用発電機 燃料取扱用水タンク タンクローリー 軽油トラム出 	<p>第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (3/5)</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（5 / 5）</p>			<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (1/5)</p>		<p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (2/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・対応手段を緑枠とした。</p>

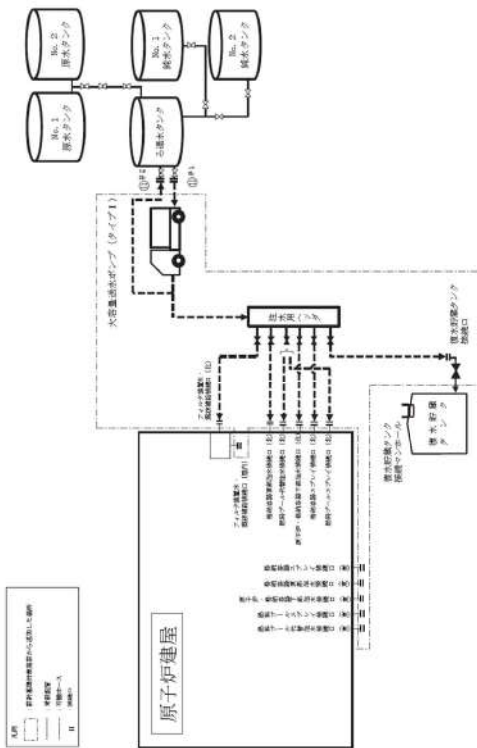
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.13-2 図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水 (原子炉建屋北側接続の場合) 概要図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

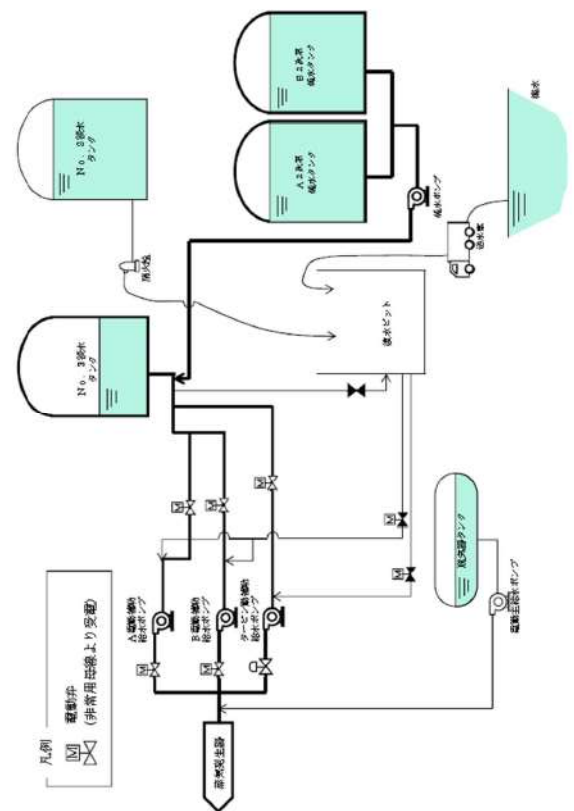
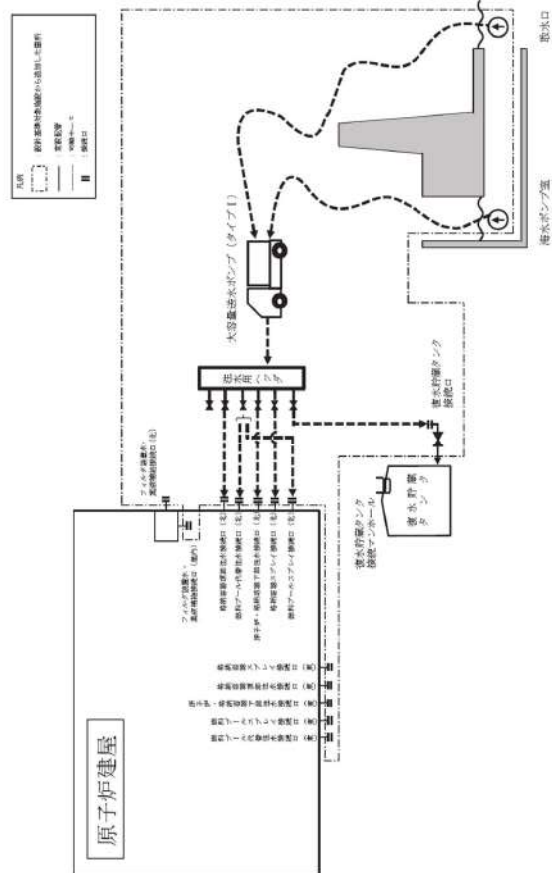
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	 <p>第1.13-4図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による送水概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p> <table border="1" data-bbox="1243 534 1310 1045"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	弁名称	①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）	①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>
操作手順	弁名称								
①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）								
①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）								

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1133図 A、B 2次蒸気純水タンクからNo. 3 純水タンクへの補給 配管系統</p>	 <p>第1.13-6図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（相違理由②）</p>

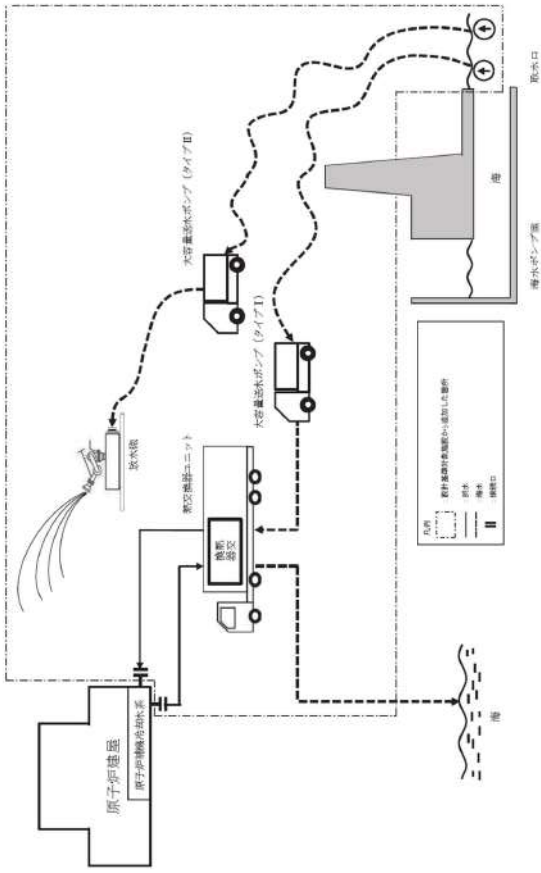
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="728 438 1366 678"> <p>第1.13-7図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> </div> <div data-bbox="728 805 1366 1045"> <p>第1.13-8図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> </div>		<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>
	<div data-bbox="1467 766 1915 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-9図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-10図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水 (各種供給) 概要図 (2/2) (海水ポンプ室から海水を取水する場合)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-11 図 海を水源とした大容量海水ポンプによる海水(各種供給)タイムチャート(1/2) (取水口から海水を取水する場合(山側ルート))</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

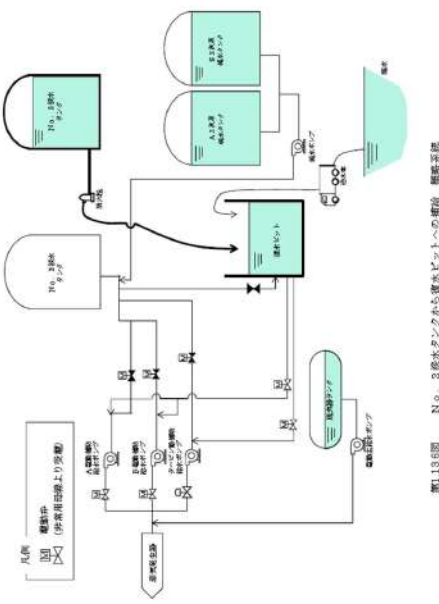
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-12図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>第1136図 No. 3熱水タンクから復水ピットへの供給 標準系図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(名)</th> <th>所要時間(分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No.3熱水タンクからのピットへの給水</td> <td rowspan="3">緊急安全弁作業者 3</td> <td>7分10秒 緊急ピットへ給水開始</td> </tr> <tr> <td>10分 停止</td> </tr> <tr> <td>10分 復水ピットへ3機配管 復水</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 緊急時運用時には同標準系図を参照してください。</p> <p>第1137図 No. 2熱水タンクから復水ピットへの供給 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	要員(名)	所要時間(分)	No.3熱水タンクからのピットへの給水	緊急安全弁作業者 3	7分10秒 緊急ピットへ給水開始	10分 停止	10分 復水ピットへ3機配管 復水		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>
手順の項目	要員(名)	所要時間(分)									
No.3熱水タンクからのピットへの給水	緊急安全弁作業者 3	7分10秒 緊急ピットへ給水開始									
		10分 停止									
		10分 復水ピットへ3機配管 復水									

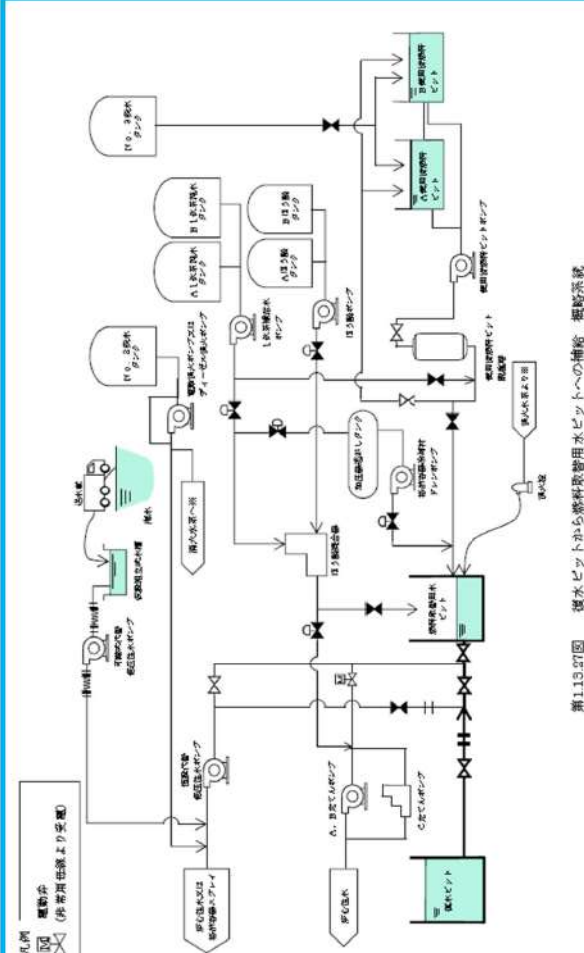
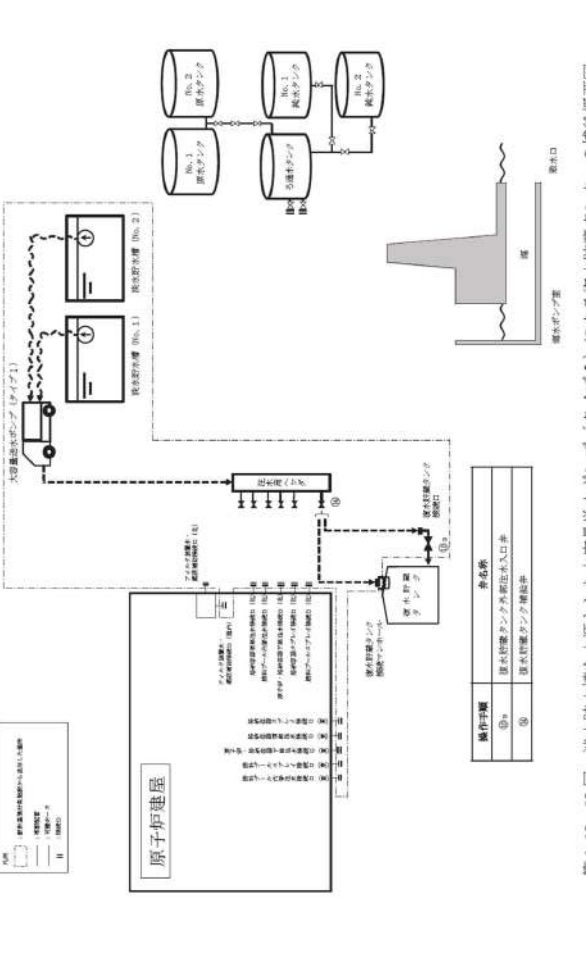
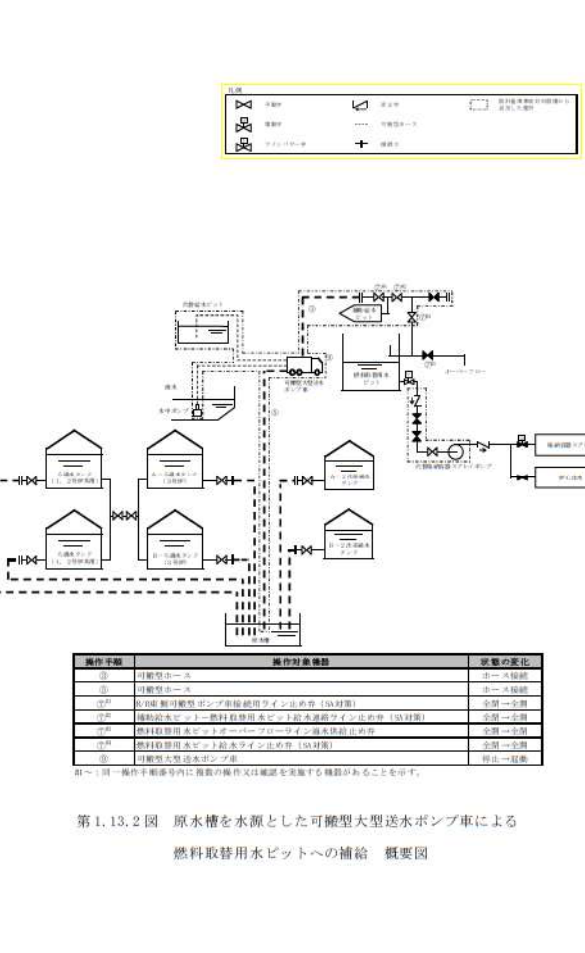
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 638 1241" style="border: 2px solid black; height: 560px; width: 237px;"></div> <div data-bbox="645 347 683 925" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 17px; text-align: center;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="689 443 721 1152" style="text-align: center;"> 第1.13.8図 No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート </div>		<div data-bbox="1429 769 1944 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2011 753 2161 833" style="color: red; font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由③) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

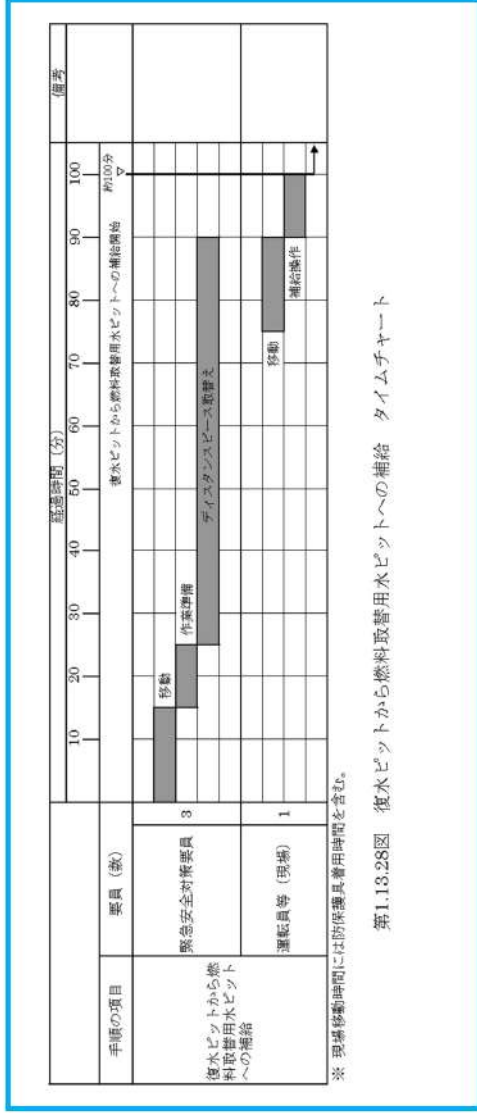
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p>第1.13-13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <p>第1.13.2図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>大容量可搬型ポンプ車稼働用ラインシミュレータ（5分間）</td> <td>全停→全動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）</td> <td>全停→全動</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）</td> <td>全停→全動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注～1図～1操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	大容量可搬型ポンプ車稼働用ラインシミュレータ（5分間）	全停→全動	④	燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）	全停→全動	⑤	燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）	全停→全動	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③	大容量可搬型ポンプ車稼働用ラインシミュレータ（5分間）	全停→全動																						
④	燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）	全停→全動																						
⑤	燃料取替用水ピット燃料取替用ポンプ（2分間）	全停→全動																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

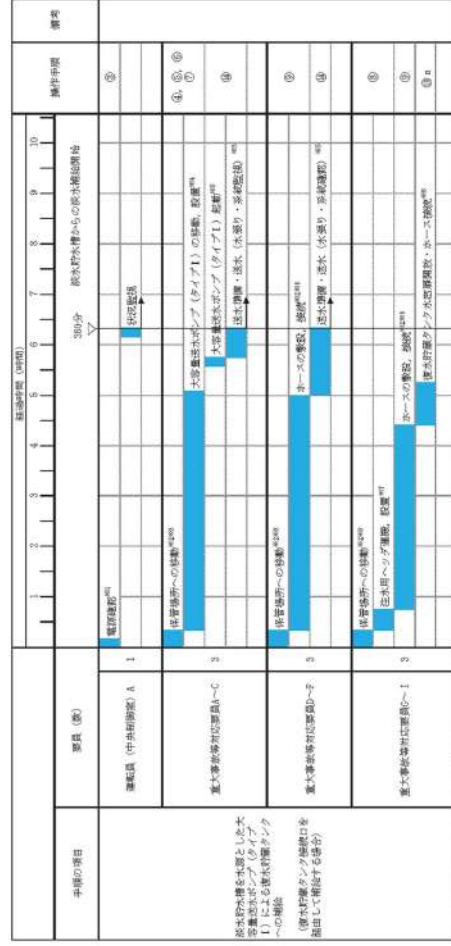
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



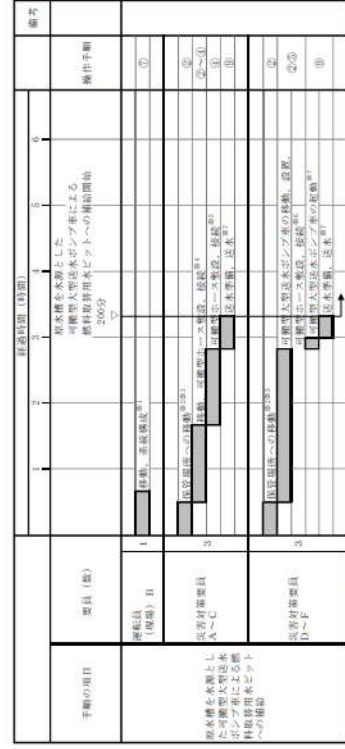
第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 送水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）
 （復水貯蔵タンク接続口を臨用して補給する場合）

泊発電所3号炉



第1.13.3図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由

- 【大阪】
設備の相違(相違理由⑥)
- 【大阪】
記載方針の相違(女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

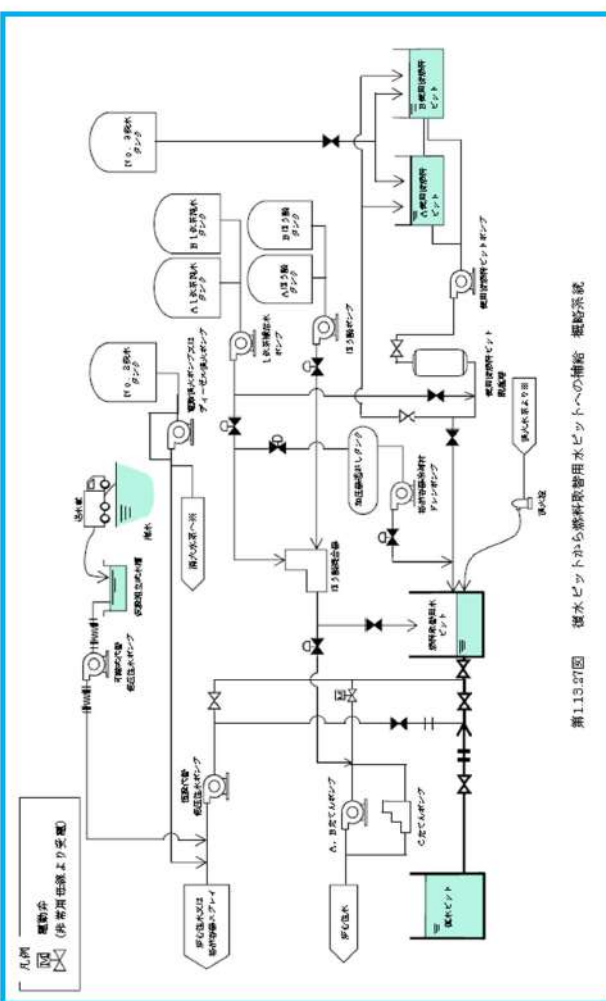
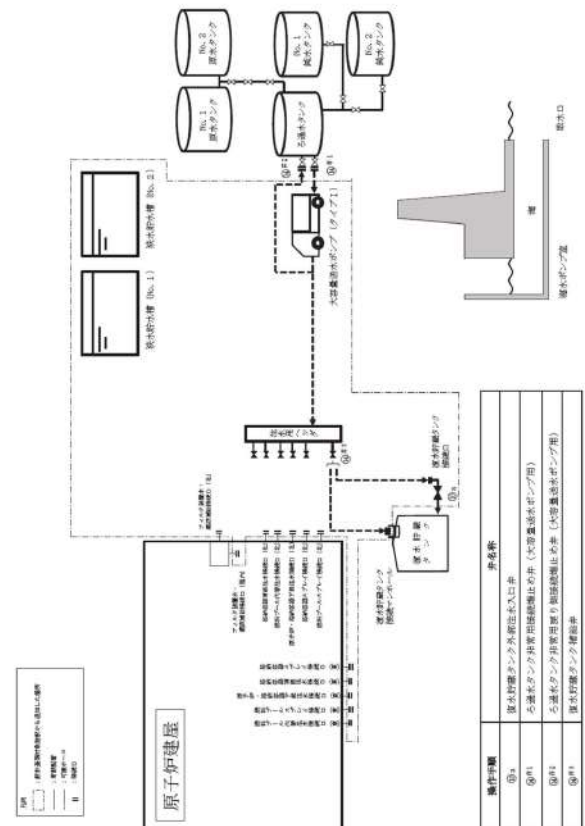
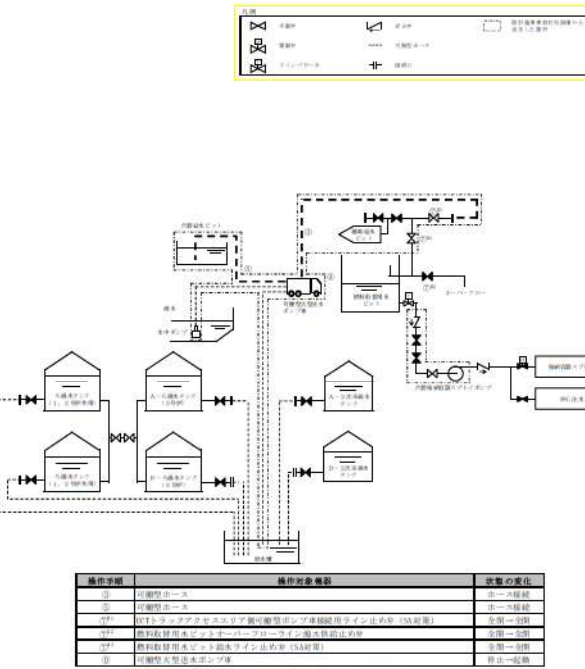
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※1：中核燃料貯蔵タンク(タイプ1)及び炉心の設置場所は緊急通報後、緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※2：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※3：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※4：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※5：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※6：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※7：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間 ※8：緊急通報センターから緊急通報センターまでの移動を要する時間を見込んだ時間</p>	<p>第1.13-15図 炉内貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による炉内貯蔵タンクへの補給タイムチャート(2/2)</p> <p>(炉内貯蔵タンク接続マンホールを經由して補給する場合)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

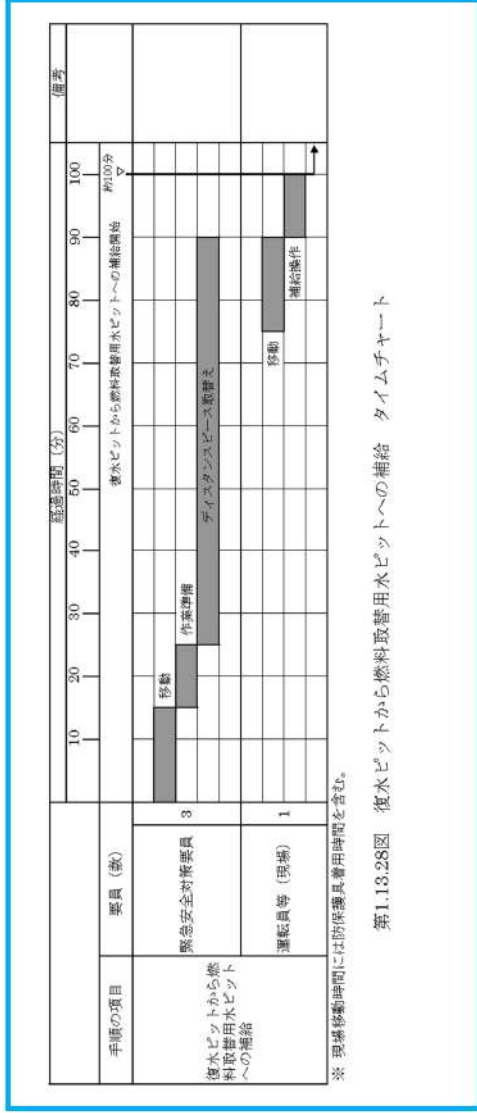
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
<p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p>第1.13-16図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p> <table border="1" data-bbox="1209 750 1321 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>設備名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>淡水貯蔵タンク外取排水口弁</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>淡水貯蔵タンク取替用送水ポンプ(用)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>大容量タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (大容量送水ポンプ用)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>大容量貯蔵タンク取替弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	設備名称	①	淡水貯蔵タンク外取排水口弁	②	淡水貯蔵タンク取替用送水ポンプ(用)	③	大容量タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (大容量送水ポンプ用)	④	大容量貯蔵タンク取替弁	 <p>第1.13.4図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 989 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプの送水配管と燃料貯蔵タンクとの遮断止め弁 (BWR用)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (BWR用)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	停止→稼働	②	可搬型ポンプ	停止→稼働	③	可搬型ポンプの送水配管と燃料貯蔵タンクとの遮断止め弁 (BWR用)	全開→全閉	④	燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁	全開→全閉	⑤	燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (BWR用)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	設備名称																																	
①	淡水貯蔵タンク外取排水口弁																																	
②	淡水貯蔵タンク取替用送水ポンプ(用)																																	
③	大容量タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (大容量送水ポンプ用)																																	
④	大容量貯蔵タンク取替弁																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																
①	可搬型ポンプ	停止→稼働																																
②	可搬型ポンプ	停止→稼働																																
③	可搬型ポンプの送水配管と燃料貯蔵タンクとの遮断止め弁 (BWR用)	全開→全閉																																
④	燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁	全開→全閉																																
⑤	燃料貯蔵タンク取替用取替り配管遮断止め弁 (BWR用)	全開→全閉																																
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

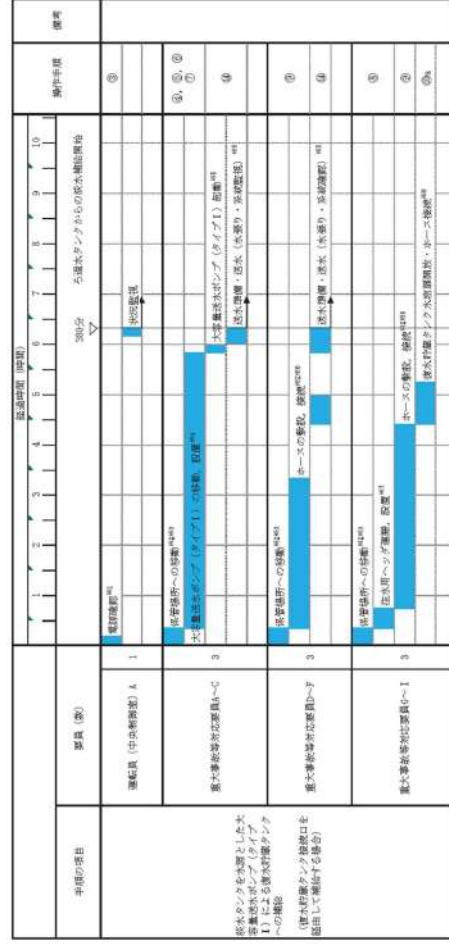
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



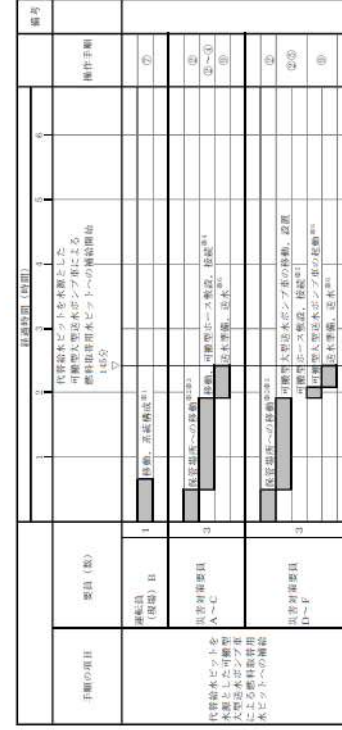
第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱用ウォーターへの供給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-17図 淡水タンクを水源とした大容量淡水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの供給タイムチャート（1/2）
 （復水貯蔵タンク接続口を経由して供給する場合）

泊発電所3号炉



第1.13.5図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用ウォーターへの供給 タイムチャート

相違理由

- 【大阪】
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

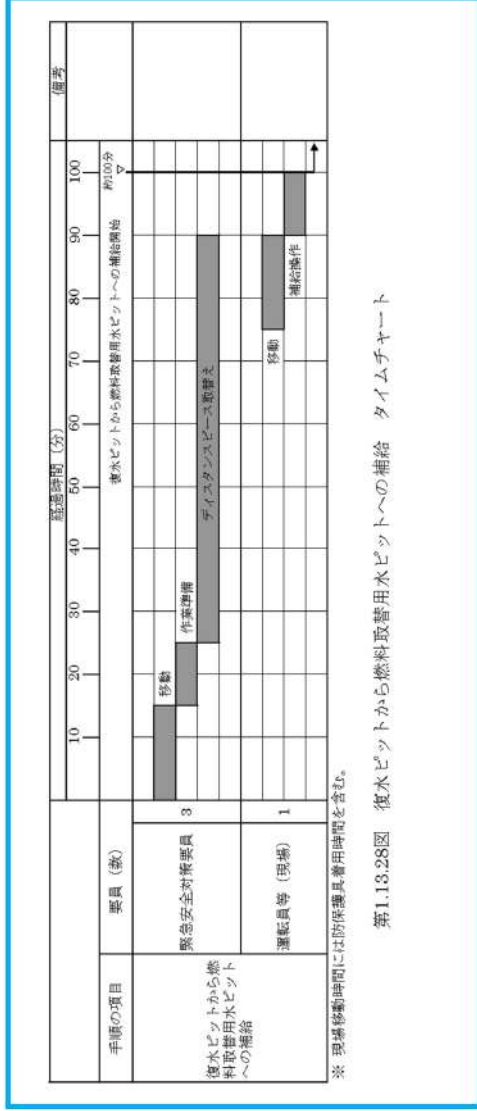
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第113.27図 海水ピットから燃料油取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による海水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料油取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ車単独用ライン弁 (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料油取替用水ピットオーバーフローライン断水防止弁 (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料油取替用水ピット断水ライン止弁 (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する種別があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働	②	可搬型ポンプ	ポンプ停止	③	可搬型ポンプ車単独用ライン弁 (SAR) 開	全開→全閉	④	燃料油取替用水ピットオーバーフローライン断水防止弁 (SAR) 開	全開→全閉	⑤	燃料油取替用水ピット断水ライン止弁 (SAR) 開	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働																						
②	可搬型ポンプ	ポンプ停止																						
③	可搬型ポンプ車単独用ライン弁 (SAR) 開	全開→全閉																						
④	燃料油取替用水ピットオーバーフローライン断水防止弁 (SAR) 開	全開→全閉																						
⑤	燃料油取替用水ピット断水ライン止弁 (SAR) 開	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

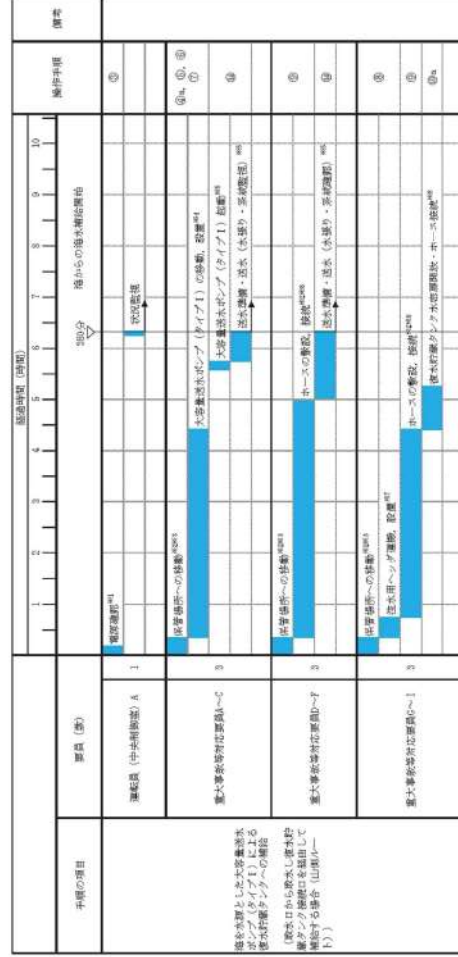
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

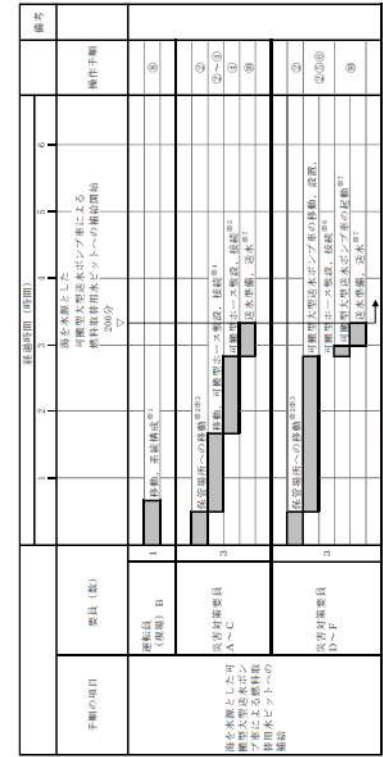
女川原子力発電所2号炉



※1：注1は設備稼働中の状況確認に必要となる作業時間。注2：燃料取替エリア及び燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注3：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注4：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注5：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注6：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注7：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。注8：燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間は燃料取替エリア、燃料取替エリア及び燃料取替エリアの作業時間から算出された作業時間。

第1.13-20図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/4）

泊発電所3号炉



※1：中央制御室から燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注2：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注3：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注4：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注5：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注6：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。注7：燃料取替機及び機器の稼働中に作業を見込んだ時間。

第1.13.7図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大阪】
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

相違理由

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.13-21 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4） （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山椒4ート））</p>	<p>図 1.13-21 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4） （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山椒4ート））</p>		
<p>図 1.13-22 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>		
<p>図 1.13-23 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-24 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>1 運転員（中央制御室）A 1 状況監視 1 化学消防自動車への移動^{※2} 1 化学消防自動車の移動・設置^{※4} 1 ホースの敷設・接続^{※5} 1 化学消防自動車の起動^{※6} 1 送水（水車・流量調整）^{※6}</p> <p>5 初期消火要員（消防車隊）A-E</p> <p>手順の項目 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧用水供給</p> <p>備考 ② ④、⑤ ⑥</p>	<p>第 1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧用水供給タンクへの補給タイムチャート</p> <p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>
	<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：化学消防自動車の状況確認は第1号機エリア及び第4号機エリア ※3：事務本館又は事務棟から第1号機エリアまでの移動を想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※4：化学消防自動車の移動距離として、第1号機エリアから耐震性防火水槽までを想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※5：ホース敷設前後の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※6：化学消防自動車放水訓練の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第11.13.24図 No. 2 放水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概要系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1400 1029 1937 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：どちらか一方を起動する。</p> <p>第1.13.8図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	消防ホース	ホース接続	②	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動	③	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
①	消防ホース	ホース接続													
②	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動													
③	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動													

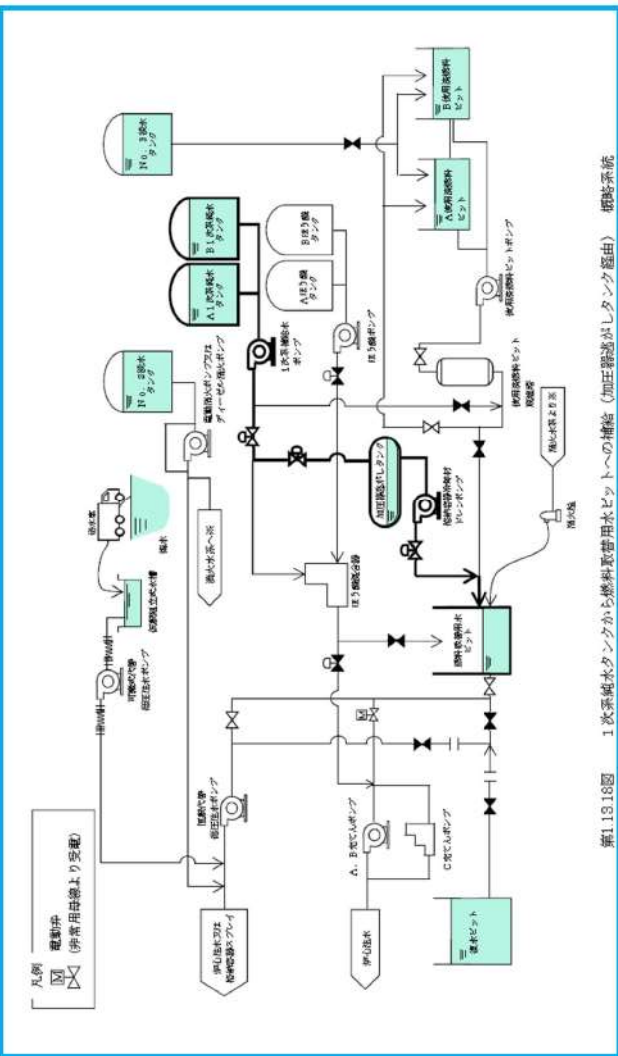
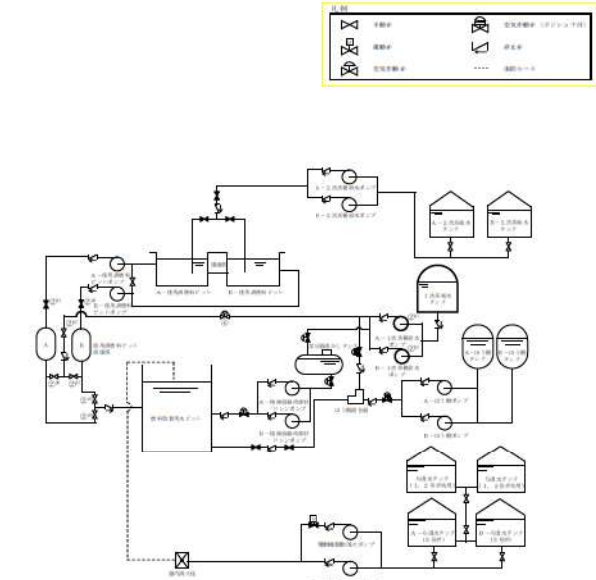
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.25図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動時間には消防備具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第 1.13.9 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又は、ディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室から機室操作場所までの移動時間及び機器の稼働開始の稼働時間を見込んだ時間 ※2：機器の稼働時間及び動作時間を見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>前113.18図 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（加圧器設がしタンク経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 933 1937 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②²¹</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²³</td> <td>A-使用済燃料ビット取込用入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁴</td> <td>B-使用済燃料ビット取込用入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁵</td> <td>使用済燃料ビット取込用浄化水戻り弁</td> <td>調整開閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁶</td> <td>A-使用済燃料ビット取込用浄化弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁷</td> <td>B-使用済燃料ビット取込用浄化弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁸</td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁹</td> <td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>取込用補給水止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>②1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ²¹	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²²	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²³	A-使用済燃料ビット取込用入口弁	全開→全閉	② ²⁴	B-使用済燃料ビット取込用入口弁	全開→全閉	② ²⁵	使用済燃料ビット取込用浄化水戻り弁	調整開閉	② ²⁶	A-使用済燃料ビット取込用浄化弁	全開→全閉	② ²⁷	B-使用済燃料ビット取込用浄化弁	全開→全閉	② ²⁸	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉	② ²⁹	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉	③	取込用補給水止め弁	全開→全閉	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
② ²¹	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② ²²	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② ²³	A-使用済燃料ビット取込用入口弁	全開→全閉																																		
② ²⁴	B-使用済燃料ビット取込用入口弁	全開→全閉																																		
② ²⁵	使用済燃料ビット取込用浄化水戻り弁	調整開閉																																		
② ²⁶	A-使用済燃料ビット取込用浄化弁	全開→全閉																																		
② ²⁷	B-使用済燃料ビット取込用浄化弁	全開→全閉																																		
② ²⁸	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉																																		
② ²⁹	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉																																		
③	取込用補給水止め弁	全開→全閉																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替水ピットへの補給（加圧器速がしタンク経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防塵器具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを經由した燃料取替水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <p>第1.13.10図 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給(使用済燃料ビット脱塩塔経由) 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.12図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 965 1960 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④⁴⁾</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤⁵⁾</td> <td>A-格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥⁶⁾</td> <td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口C内横断管弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦⁷⁾</td> <td>D-格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑦同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²⁾	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	③ ³⁾	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開	④ ⁴⁾	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉	⑤ ⁵⁾	A-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	⑥ ⁶⁾	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C内横断管弁	全開→全閉	⑦ ⁷⁾	D-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
① ¹⁾	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② ²⁾	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
③ ³⁾	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開																									
④ ⁴⁾	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉																									
⑤ ⁵⁾	A-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									
⑥ ⁶⁾	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C内横断管弁	全開→全閉																									
⑦ ⁷⁾	D-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									

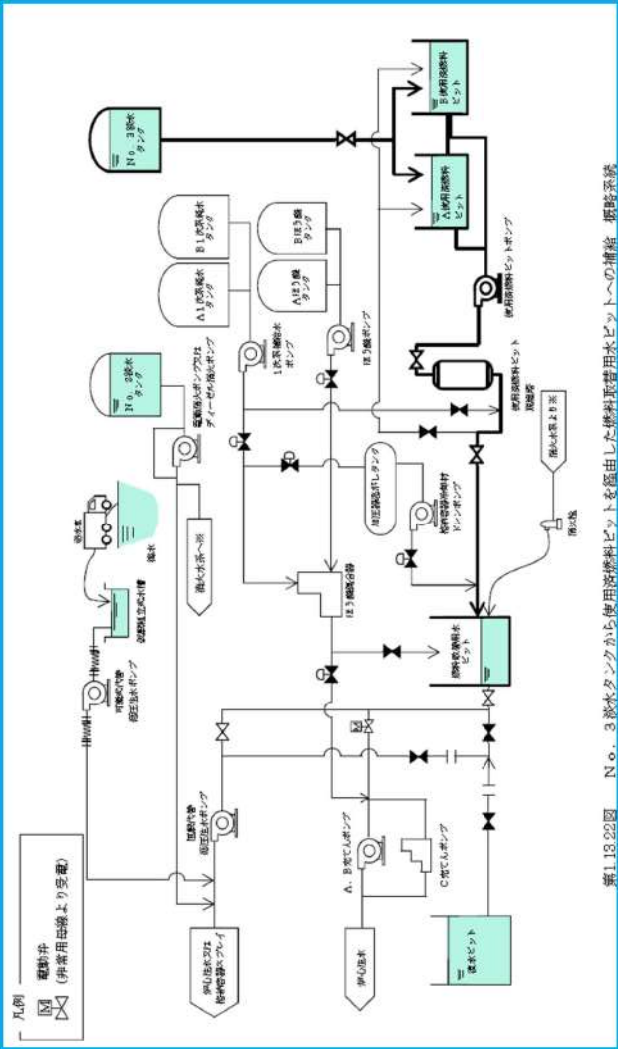
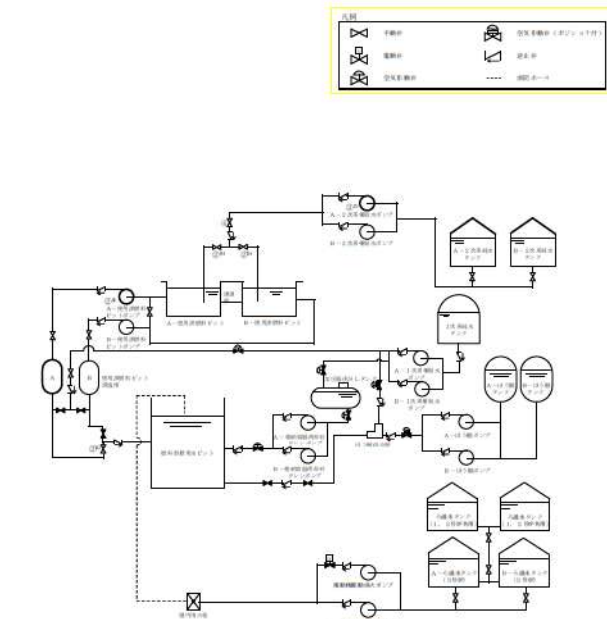
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には対応機具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.25図 N o. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 981 1960 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-2 2次系補給ポンプ</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A-1 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-1 使用済燃料ピットポンプより出口燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>使用済燃料ピット配管本線閉鎖</td> <td>全閉→全開/閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>第 1.13.14 図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-2 2次系補給ポンプ	起動/停止	②	A-1 使用済燃料ピットポンプ	起動/停止	③	A-1 使用済燃料ピットポンプより出口燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替	全閉→全開	④	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開	⑤	B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開	⑥	使用済燃料ピット配管本線閉鎖	全閉→全開/閉	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	A-2 2次系補給ポンプ	起動/停止																						
②	A-1 使用済燃料ピットポンプ	起動/停止																						
③	A-1 使用済燃料ピットポンプより出口燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替	全閉→全開																						
④	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開																						
⑤	B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開																						
⑥	使用済燃料ピット配管本線閉鎖	全閉→全開/閉																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

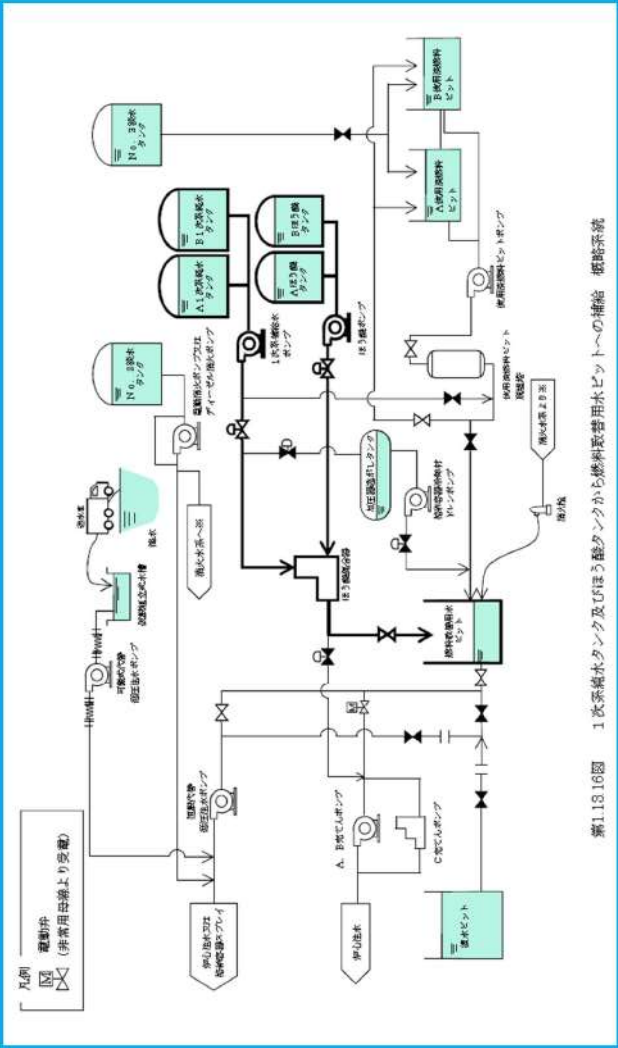
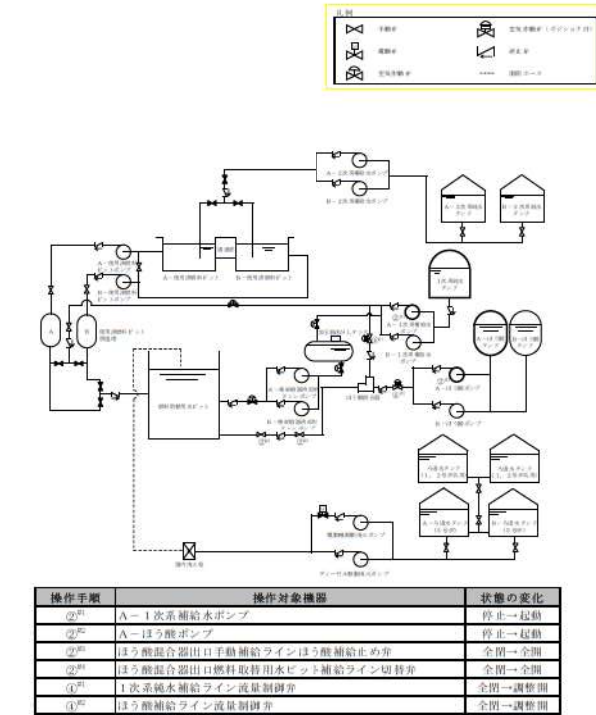
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.23図 No. 3淡水タンクから使用済燃料ホピットを経由した燃料取替用ホピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.15図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給ホピットによる使用済燃料ホピットを経由した燃料取替用ホピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 949 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^注</td> <td>A-1次系純水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②^注</td> <td>A-びほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③^注</td> <td>びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^注</td> <td>びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^注</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑥^注</td> <td>びほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^注	A-1次系純水ポンプ	停止→起動	② ^注	A-びほう酸ポンプ	停止→起動	③ ^注	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開	④ ^注	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開	⑤ ^注	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	⑥ ^注	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
① ^注	A-1次系純水ポンプ	停止→起動																						
② ^注	A-びほう酸ポンプ	停止→起動																						
③ ^注	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開																						
④ ^注	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開																						
⑤ ^注	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						
⑥ ^注	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						

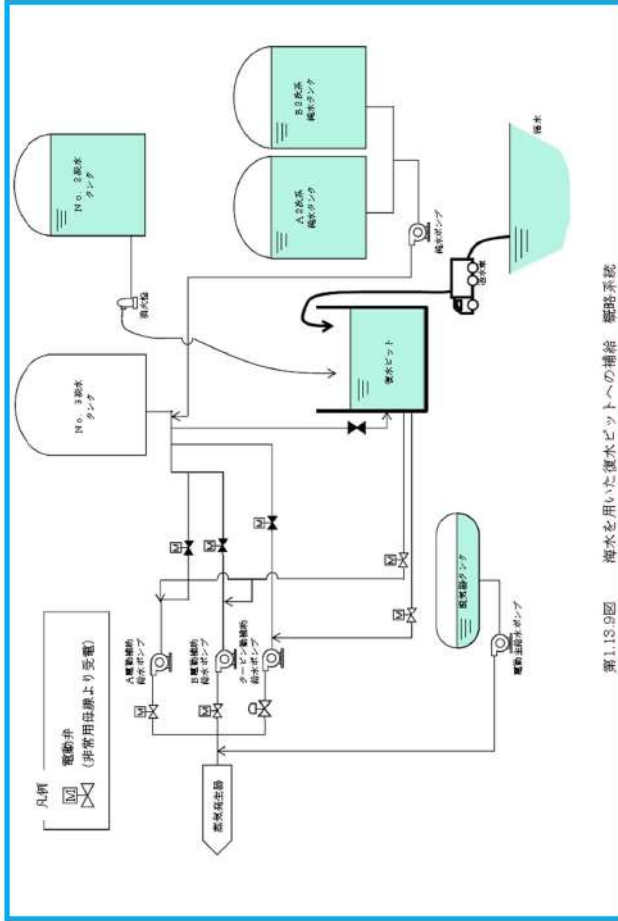
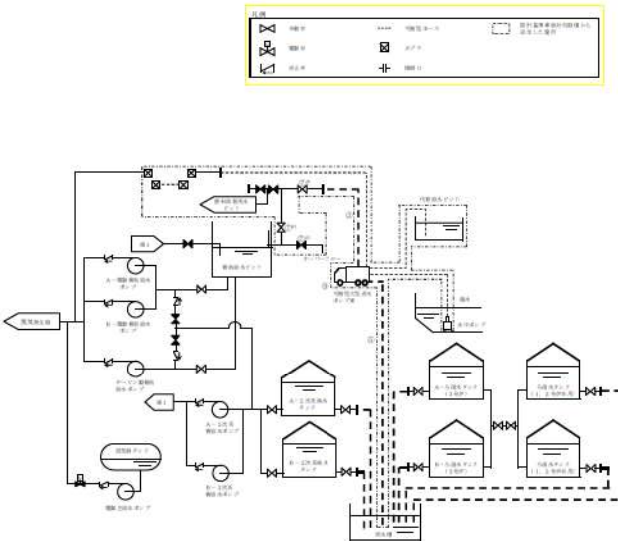
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防護員着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1467 973 1948 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビットローラン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※①～⑤：同一操作手順番号内に複数の操作又は順番を実施する機能があることを示す。</p> <p>第1.13.18図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③	非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ビットローラン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
①	可搬型ボース	ボース接続																			
②	可搬型ボース	ボース接続																			
③	非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																			
④	補助給水ビットローラン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																			
⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																			

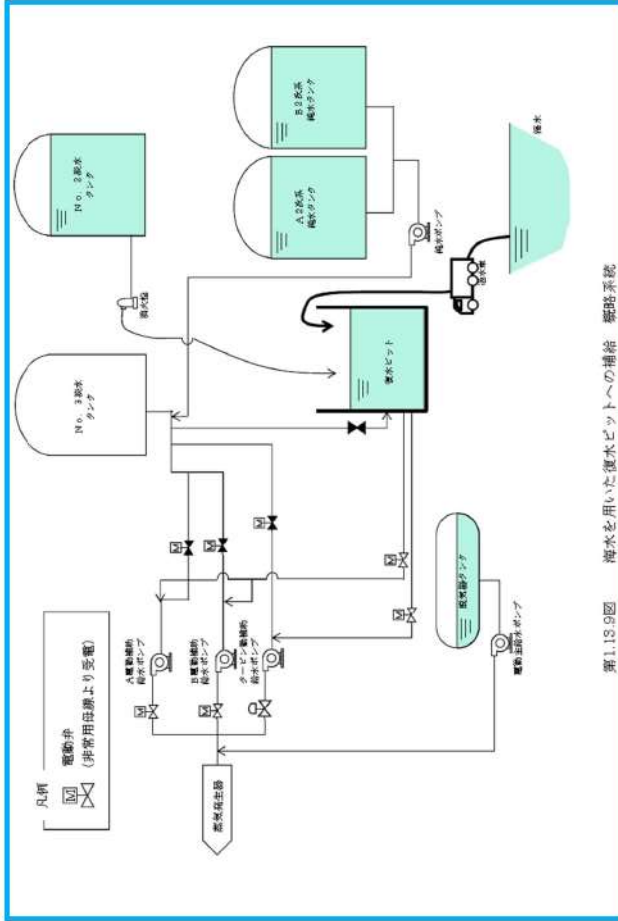
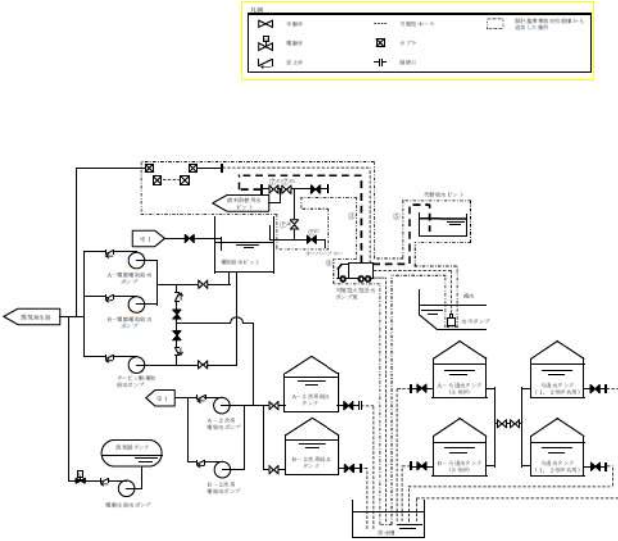
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防保保護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>※1：中核制御室から機室操作室までの移動時間及び機室の操作時間には余剰を含んだ時間。 ※2：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間には余剰を含んだ時間。 ※3：中核制御室から51a倉庫・車庫エリアまでの移動時間には余剰を含んだ時間。 ※4：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間には余剰を含んだ時間。 ※5：51a倉庫・車庫エリアからの移動時間には余剰を含んだ時間。 ※6：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間には余剰を含んだ時間。 ※7：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間には余剰を含んだ時間。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>
<p>第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.19図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補給給水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>相違理由</p>

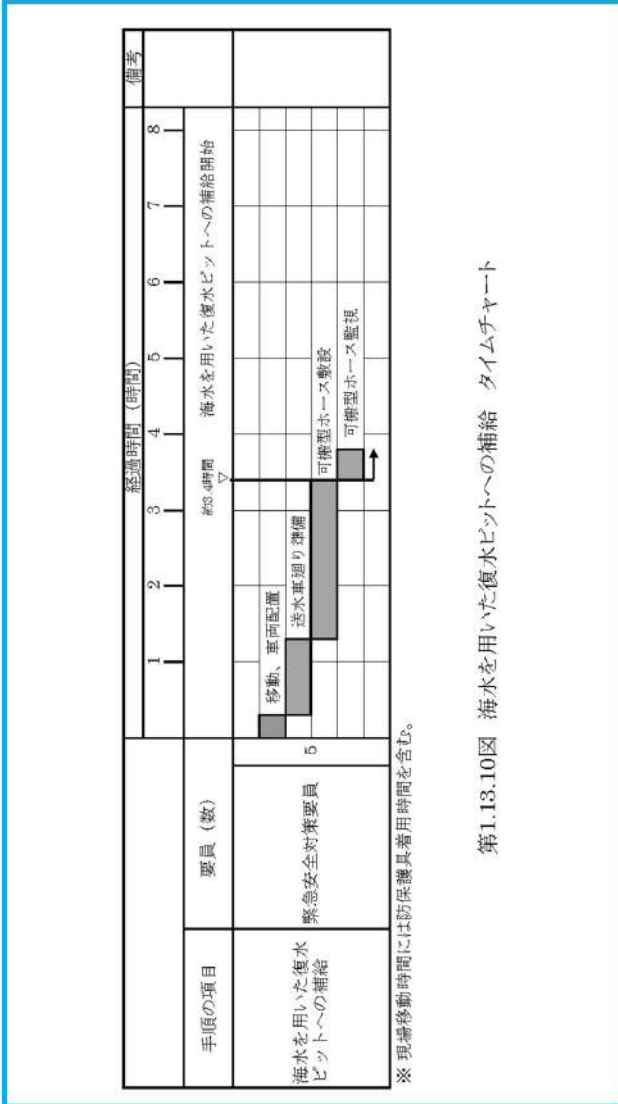
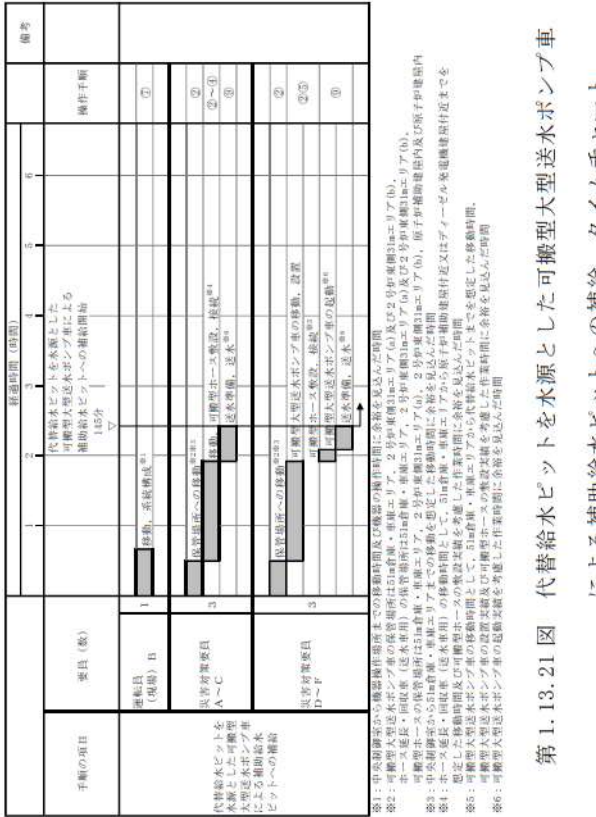
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1467 981 1915 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の異化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～㊿同一操作手順図内に複数の操作又は確認を実施する機軸があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の異化	①	可搬型ポンプ	あり	②	可搬型ポンプ	あり	③	可搬型ポンプ	あり	④	可搬型ポンプ	あり	⑤	可搬型ポンプ	あり	⑥	可搬型ポンプ	あり	⑦	可搬型ポンプ	あり	⑧	可搬型ポンプ	あり	⑨	可搬型ポンプ	あり	⑩	可搬型ポンプ	あり	⑪	可搬型ポンプ	あり	⑫	可搬型ポンプ	あり	⑬	可搬型ポンプ	あり	⑭	可搬型ポンプ	あり	⑮	可搬型ポンプ	あり	⑯	可搬型ポンプ	あり	⑰	可搬型ポンプ	あり	⑱	可搬型ポンプ	あり	⑲	可搬型ポンプ	あり	⑳	可搬型ポンプ	あり	㉑	可搬型ポンプ	あり	㉒	可搬型ポンプ	あり	㉓	可搬型ポンプ	あり	㉔	可搬型ポンプ	あり	㉕	可搬型ポンプ	あり	㉖	可搬型ポンプ	あり	㉗	可搬型ポンプ	あり	㉘	可搬型ポンプ	あり	㉙	可搬型ポンプ	あり	㉚	可搬型ポンプ	あり	㉛	可搬型ポンプ	あり	㉜	可搬型ポンプ	あり	㉝	可搬型ポンプ	あり	㉞	可搬型ポンプ	あり	㉟	可搬型ポンプ	あり	㊱	可搬型ポンプ	あり	㊲	可搬型ポンプ	あり	㊳	可搬型ポンプ	あり	㊴	可搬型ポンプ	あり	㊵	可搬型ポンプ	あり	㊶	可搬型ポンプ	あり	㊷	可搬型ポンプ	あり	㊸	可搬型ポンプ	あり	㊹	可搬型ポンプ	あり	㊺	可搬型ポンプ	あり	㊻	可搬型ポンプ	あり	㊼	可搬型ポンプ	あり	㊽	可搬型ポンプ	あり	㊾	可搬型ポンプ	あり	㊿	可搬型ポンプ	あり	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	設備の異化																																																																																																																																																										
①	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
②	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
③	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
④	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑤	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑥	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑦	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑧	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑨	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑩	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑪	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑫	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑬	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑭	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑮	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑯	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑰	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑱	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑲	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑳	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉑	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉒	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉓	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉔	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉕	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉖	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉗	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉘	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉙	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉚	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉛	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉜	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉝	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉞	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉟	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊱	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊲	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊳	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊴	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊵	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊶	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊷	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊸	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊹	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊺	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊻	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊼	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊽	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊾	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊿	可搬型ポンプ	あり																																																																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保保護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.21図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた海水ピットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.26図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給概要図</p>	<table border="1" data-bbox="1456 981 1937 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>停止→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥同一操作手順書内に複数の操作又は順序を規定する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.13.22図 海を水源とした可搬型大容量送水ポンプ車による補給給水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	停止→稼働	②	可搬型ポンプ	停止→稼働	③	可搬型可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開	④	電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開	⑤	電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開	⑥	可搬型大容量送水ポンプ車	停止→全開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
②	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
③	可搬型可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
④	電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
⑤	電動送水ポンプ送給用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
⑥	可搬型大容量送水ポンプ車	停止→全開																						

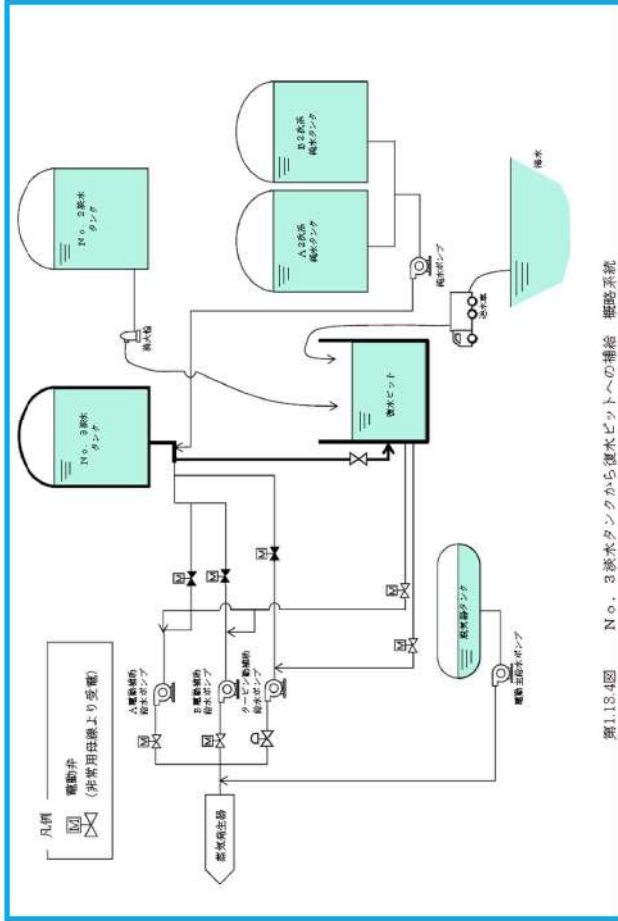
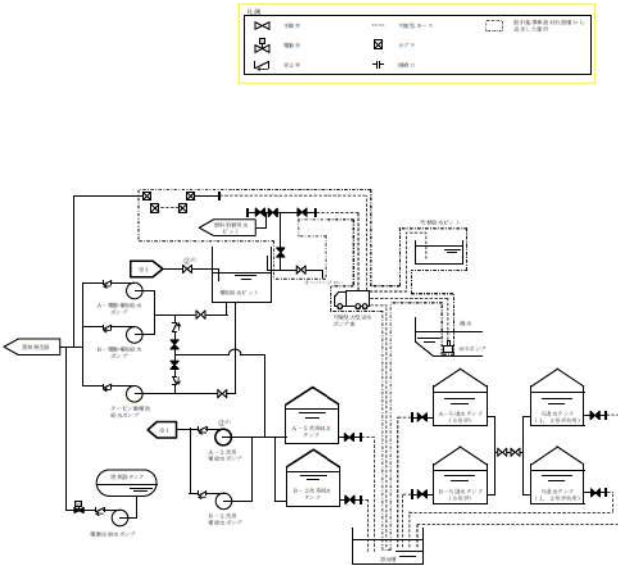
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>経過時間（時間）</p> <p>29.5分 海からの海水補給開始</p> <p>3.5分 保管場所への移動※1※2</p> <p>4.5分 大容量海水ポンプ（タイプII）の起動、設置、防振壁の開放※3※4</p> <p>5.5分 大容量海水ポンプ（タイプII）起動※5</p> <p>6.5分 海水準備・送水（水張り・系圧監視）※6</p> <p>7.5分 保管場所への移動※1※2</p> <p>8.5分 海水準備・送水（水張り・系圧監視）※6</p> <p>9.5分 保管場所への移動※1※2</p> <p>10分</p> <p>備考</p> <p>②b, ③, ④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>		
<p>手順の項目</p> <p>重大事故等対応要員A~C</p> <p>重大事故等対応要員D~F</p> <p>重大事故等対応要員G~I</p>	<p>重大事故等対応要員A~C</p> <p>重大事故等対応要員D~F</p> <p>重大事故等対応要員G~I</p>		
<p>海を水取るした大容量海水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給</p> <p>（海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p>注1：大容量海水ポンプ（タイプII）の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア、ホースの保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア</p> <p>注2：緊急時対応要員は第3保管エリアまでの移動を想定した移動時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>注3：設計状況を考慮して想定した作業時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>注4：大容量海水ポンプ（タイプII）の稼働時間として、第2保管エリアから海水ポンプ室までの移動時間及び大容量海水ポンプ（タイプII）設置前後の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>注5：大容量海水ポンプ（タイプII）起動前後の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>注6：ホース敷設前後の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>第 1.13-28 図 海を水源とした大容量海水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.4図 No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.24図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1489 1013 1960 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>補助給水ピット配風水補給ライン流量計リレー</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～④一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動	②	補助給水ピット配風水補給ライン流量計リレー	全閉→調整開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
①	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動										
②	補助給水ピット配風水補給ライン流量計リレー	全閉→調整開										

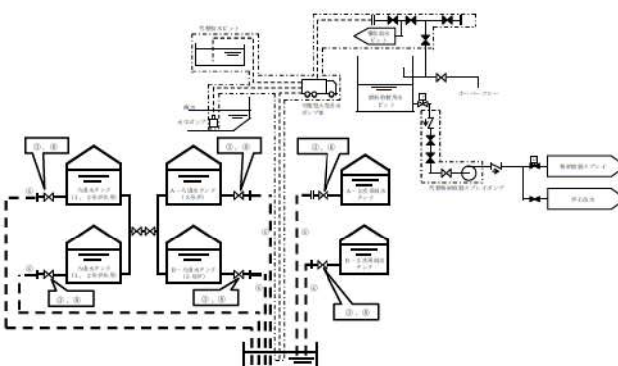
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.5図 No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.25図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補給水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間には余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1601 383 1989 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>凡例</p> <p>主線管 破断管 設計標準規格と異なる設備から取り出し管</p> <p>補助管 可動管 可動管</p> <p>ポンプの向き 逆向き</p> </div>  <table border="1" data-bbox="1422 941 1915 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">①</td> <td>A-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-22次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-12次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-1ろ過水タンクローパ</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンクローパ</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">②</td> <td>自働型ローパ</td> <td>モード切替</td> </tr> <tr> <td>A-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-22次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-12次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-1ろ過水タンクローパ*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンクローパ*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1422 1157 1915 1181">* ①~②のいずれかの弁を全開とする。</p> <p data-bbox="1422 1189 1915 1212">第1.13.26図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認	A-22次系純水タンク排水弁	全閉確認	B-12次系純水タンク排水弁	全閉確認	A-1ろ過水タンクローパ	全閉確認	B-1ろ過水タンクローパ	全閉確認	②	自働型ローパ	モード切替	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-22次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-12次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	A-1ろ過水タンクローパ*	全閉→全開	B-1ろ過水タンクローパ*	全閉→全開	<p data-bbox="2016 694 2161 774">【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p data-bbox="2016 805 2161 885">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																
①	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認																																
	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認																																
	A-22次系純水タンク排水弁	全閉確認																																
	B-12次系純水タンク排水弁	全閉確認																																
	A-1ろ過水タンクローパ	全閉確認																																
	B-1ろ過水タンクローパ	全閉確認																																
②	自働型ローパ	モード切替																																
	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																
	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																
	A-22次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																
	B-12次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																
	A-1ろ過水タンクローパ*	全閉→全開																																
B-1ろ過水タンクローパ*	全閉→全開																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="font-size: small;"> ※1：ホース延長・回収車（送水車用）の保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉車庫31mエリア(a)及び2号炉車庫31mエリア(b)、可搬型ホースの保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉車庫31mエリア(a)及び2号炉車庫31mエリア(b) ※2：中央制御室から51m倉庫・車庫エリア、2号炉車庫31mエリア(a)及び2号炉車庫31mエリア(b)の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアからの移動時間を見込んだ時間 ※3：ホース延長・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアからの移動時間を見込んだ時間 ※4：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※5：原水槽への送水を見込んだ作業時間に余裕を見込んだ時間 </p>	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
<p>第 1.13.27 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクからの原水槽への補給 タイムチャート</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <p>第1.13-29図 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替 概略系統</p>	<p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順	弁名称	①#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	<p>第1.13.28図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合） 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ出口C/V各相閉弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ入口テスト用止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#4</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ循環ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤#5</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁（SAB兼用）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥#6</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦#7</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ出口炉心注水用取り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>1号燃料取替スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑧同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	1号燃料取替スプレイポンプ出口C/V各相閉弁	全閉→全開	②#2	1号燃料取替スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全開→全閉	③#3	1号燃料取替スプレイポンプ入口テスト用止め弁	全閉→全開	④#4	1号燃料取替スプレイポンプ循環ライン止め弁	全閉→全開	⑤#5	1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁（SAB兼用）	全閉→全開	⑥#6	1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開	⑦#7	1号燃料取替スプレイポンプ出口炉心注水用取り弁	全閉→全開	⑧	1号燃料取替スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																			
①#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①#1	1号燃料取替スプレイポンプ出口C/V各相閉弁	全閉→全開																																		
②#2	1号燃料取替スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全開→全閉																																		
③#3	1号燃料取替スプレイポンプ入口テスト用止め弁	全閉→全開																																		
④#4	1号燃料取替スプレイポンプ循環ライン止め弁	全閉→全開																																		
⑤#5	1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁（SAB兼用）	全閉→全開																																		
⑥#6	1号燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開																																		
⑦#7	1号燃料取替スプレイポンプ出口炉心注水用取り弁	全閉→全開																																		
⑧	1号燃料取替スプレイポンプ	停止→起動																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

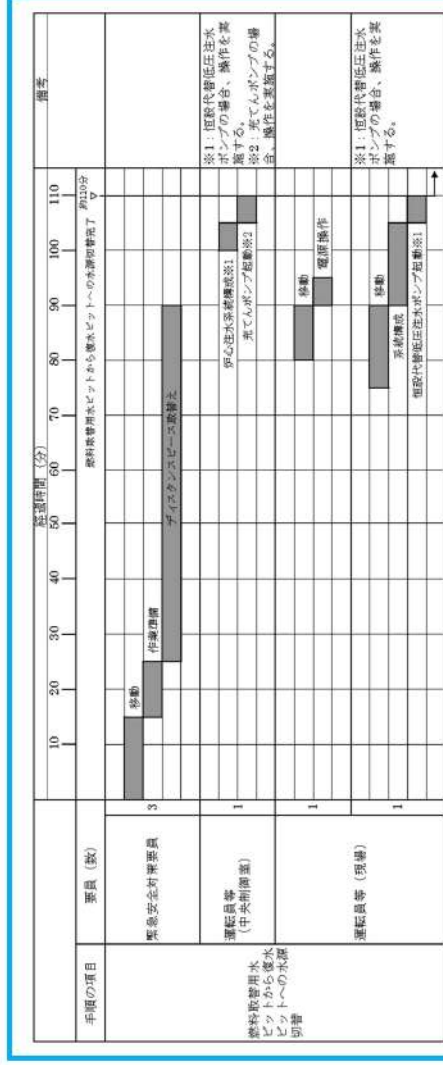
大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

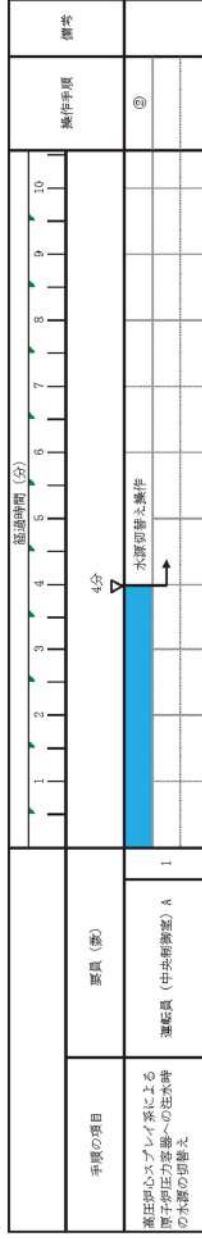
相違理由

【比較のため、記載順序入替え】

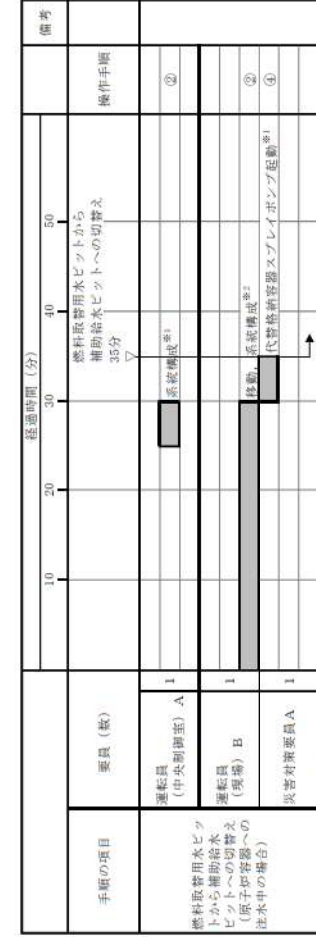


第1.13.15図 燃料取扱用水ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート

※ 現場移動時間には対応要員専用時間を含む。



第 1.13-30 図 高圧炉心スプレイス系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート



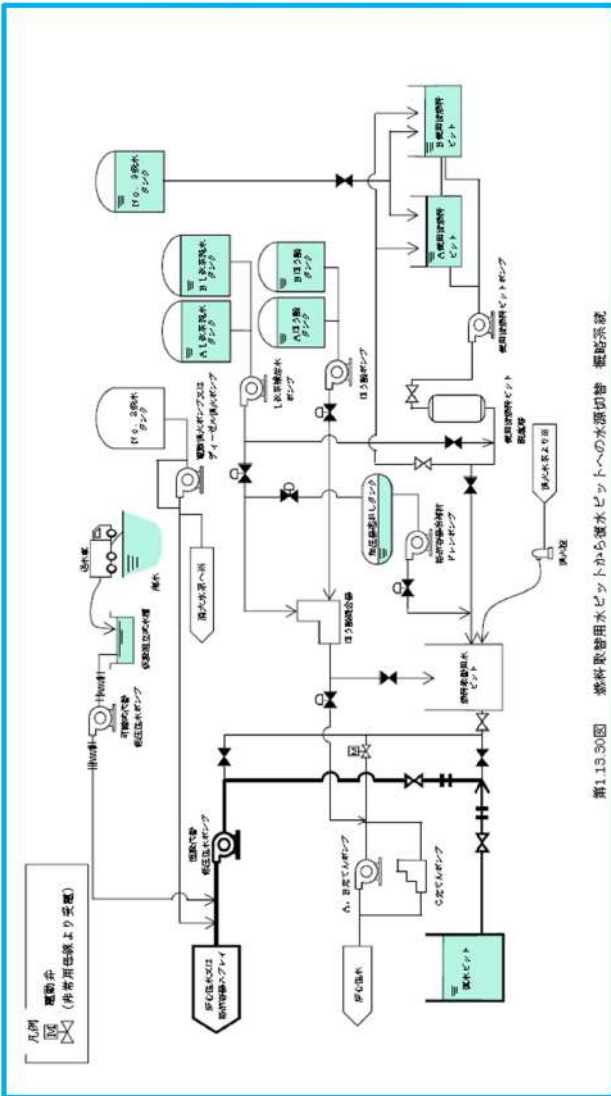
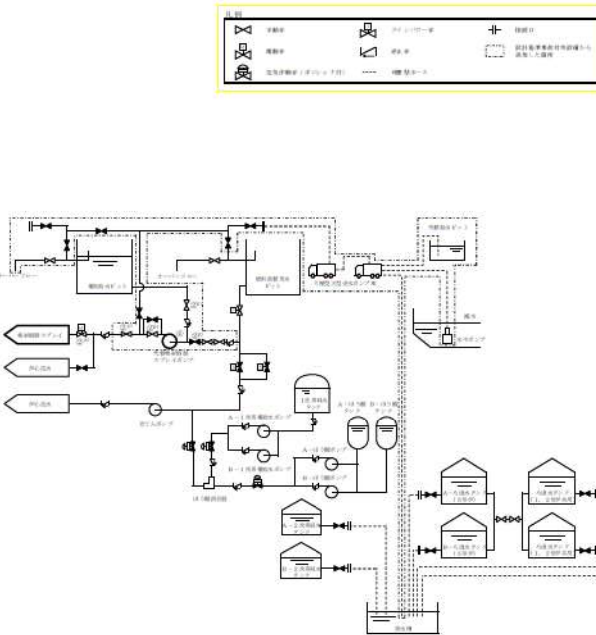
第 1.13.29 図 燃料取扱用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水中の場合) タイムチャート

※1: 機器の稼働時間及び動作時間と余裕を見込んだ時間
 ※2: 中央制御室から機器稼働場所までの移動時間及び機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1444 1029 1960 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>右格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>右格納容器スプレイポンプ入口ダスト用止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>右格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>右格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.13.30 図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え （原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合） 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	右格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全閉→全開	②	右格納容器スプレイポンプ入口ダスト用止め弁	全開→全閉	③	右格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	④	右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開	⑤	右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開	⑥	右格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	右格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全閉→全開																						
②	右格納容器スプレイポンプ入口ダスト用止め弁	全開→全閉																						
③	右格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																						
④	右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開																						
⑤	右格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開																						
⑥	右格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

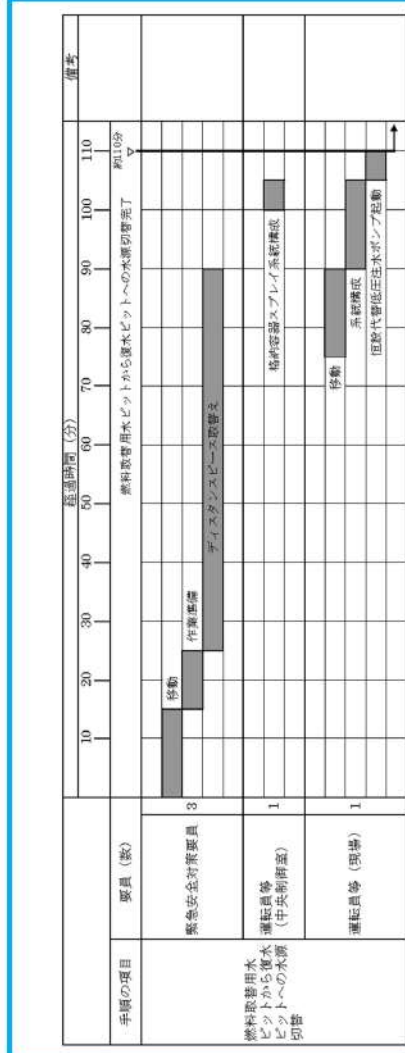
大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第1.13.31図 燃料取扱普用水ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート

※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。

泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考
		10	50	
燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	運転員(中央制御室) A 1 運転員(現場) B 1 災害対策要員 A 1	10	50	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分 V ② ③ ④
				系統構成※1 系統構成※2 代替格納容器スプレイポンプ起動※1

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間

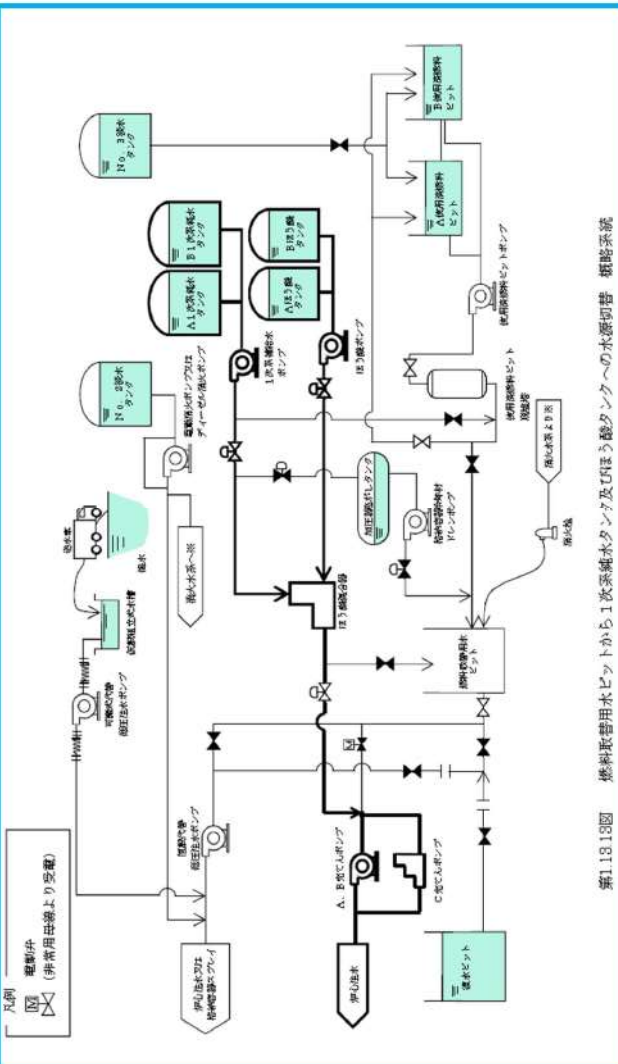
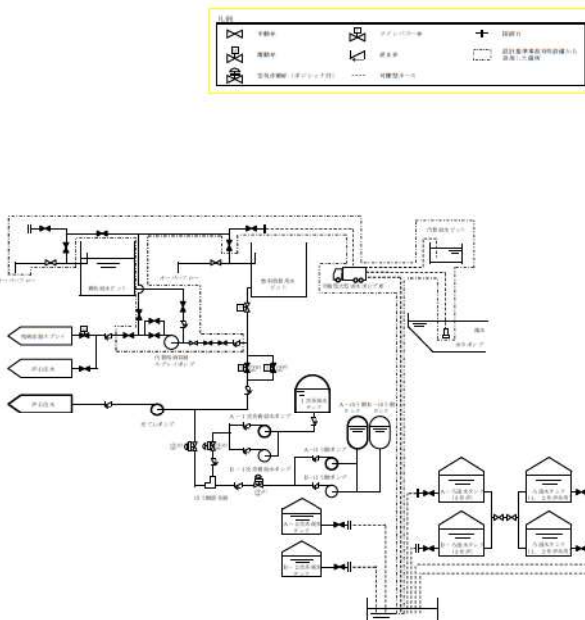
第1.13.31図 燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合) タイムチャート

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

【女川】
 記載内容の相違
 ・炉型の相違による対応手段の相違

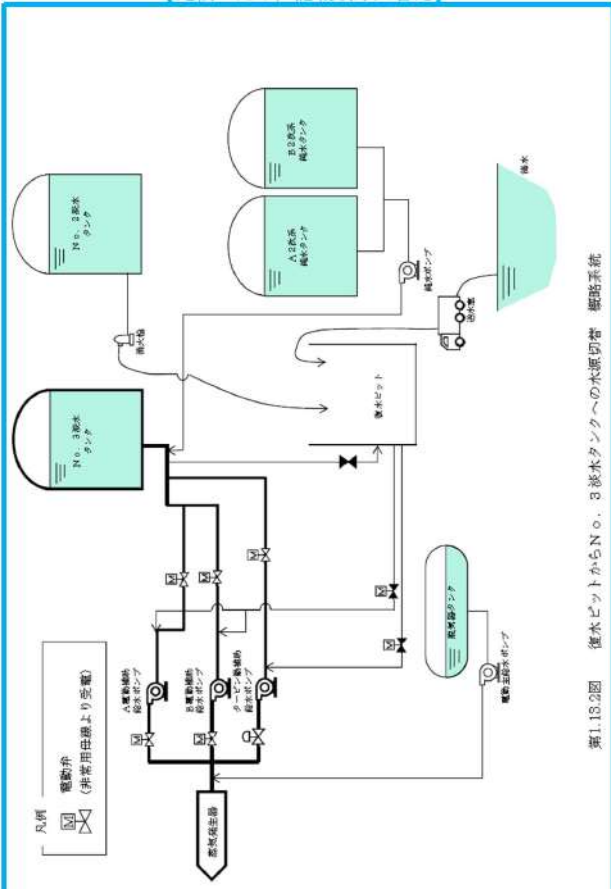
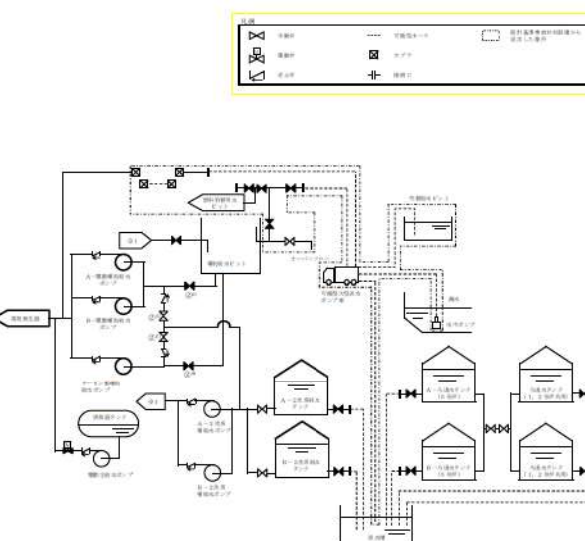
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.13図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびろろ酸タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.32図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびろろ酸タンクへの切替え 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 1021 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整位</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整位</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>燃料補給タンク出口補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整位	②	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整位	③	燃料補給タンク出口補給弁	全閉→全開	④	ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁A	全閉→全開	⑤	ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁B	全閉→全開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
①	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整位																			
②	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整位																			
③	燃料補給タンク出口補給弁	全閉→全開																			
④	ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁A	全閉→全開																			
⑤	ろ過タンク入口燃料取替用ピット側入口弁B	全閉→全開																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.29図 復水ピットからNo.3 凉水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p> <table border="1" data-bbox="1478 973 1948 1069"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>タービン動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>A、B-1動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³⁾</td> <td>補助給水ピット動補給水ポンプ種出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②⁴⁾</td> <td>補助給水ピットタービン動補給水ポンプ種出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.33図 電動補給水ポンプ又はタービン動補給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	タービン動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ²⁾	A、B-1動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ³⁾	補助給水ピット動補給水ポンプ種出口弁	全閉→全開	② ⁴⁾	補助給水ピットタービン動補給水ポンプ種出口弁	全閉→全開	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
② ¹⁾	タービン動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ²⁾	A、B-1動補給水ポンプ2次系統給水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ³⁾	補助給水ピット動補給水ポンプ種出口弁	全閉→全開																
② ⁴⁾	補助給水ピットタービン動補給水ポンプ種出口弁	全閉→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1485 327 1736 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順の項目</th> <th style="width: 30%;">要員（数）</th> <th style="width: 30%;">経過時間（分）</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">40分 ▽</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運転員（現場）B</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p> </div> <div data-bbox="1787 368 1888 1268" style="margin-top: 10px;"> <p>第1.13.34図 電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分 ▽	②	運転員（現場）B	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p>設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。 <p style="color: blue; font-weight: bold;">【女川】</p> <p>記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違
手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考									
電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分 ▽	②									
	運転員（現場）B											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1379 411 1888 1169" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 475 1928 1209" style="font-size: small;">第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給</p> <p data-bbox="1937 890 1966 1098" style="font-size: small;">ホース敷設ルート図 (1/2)</p> <div data-bbox="1966 847 1995 895" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1966 451 1995 842" style="font-size: x-small;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 722 2163 802" style="color: red;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1406 347 1832 1225" style="border: 2px solid black; width: 190px; height: 550px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1870 422 1899 1248" style="font-size: small;">第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p data-bbox="1915 880 1944 1114" style="font-size: small;">ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <div data-bbox="1953 833 1982 890" style="border: 1px solid black; width: 13px; height: 36px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1960 386 1989 1114" style="font-size: x-small;">：特許みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2020 753 2163 833" style="font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1384 419 1883 1161" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替管取水ピットへの補給ホース敷設ルート図(1/2) ：枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1391 443 1872 1150" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 435 1995 1222" style="font-size: small;">第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱普通用水ピットへの補給ホース敷設ルート図(2/2) □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 754 2161 831" style="font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 422 1877 1165" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図（1/3） 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1415 363 1834 1222" style="border: 2px solid black; width: 187px; height: 538px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1877 338 1991 1134" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット への補給 ホース敷設ルート図（2/3） ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2013 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 453 1861 1163" style="border: 2px solid black; height: 445px; width: 217px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1899 491 1995 1134" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図 (3/3) ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p data-bbox="2018 751 2163 831" style="font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 647 1257" style="border: 2px solid black; height: 543px; width: 241px;"></div> <div data-bbox="647 406 680 949" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;"> 特開みの範囲は機器に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="680 470 710 1211" style="font-size: 8px;"> 第1.13.26図 No.2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート </div>		<div data-bbox="1384 523 1899 1200" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1915 478 1982 1252" style="font-size: 8px;"> 第1.13.38図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1377 422 1870 1157" style="border: 2px solid black; height: 460px; width: 220px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1892 470 1982 1101" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 本ソース概説ルート図（1/2） □：枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2011 750 2161 829" style="font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由④) </div>

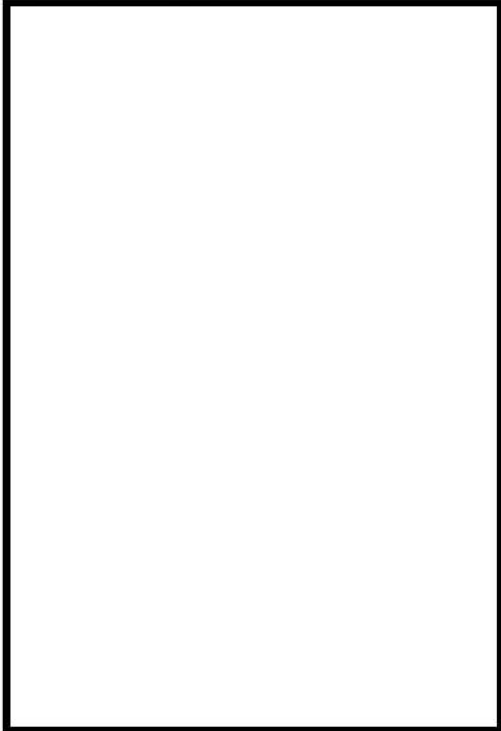
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1402 379 1816 1214" style="border: 2px solid black; width: 185px; height: 523px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1854 533 1883 1174" style="font-size: small;">第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット</p> <p data-bbox="1892 756 1921 1054" style="font-size: small;">への給給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <p data-bbox="1944 427 1973 884" style="font-size: small;">□：特命の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 751 2161 831" style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/2)</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

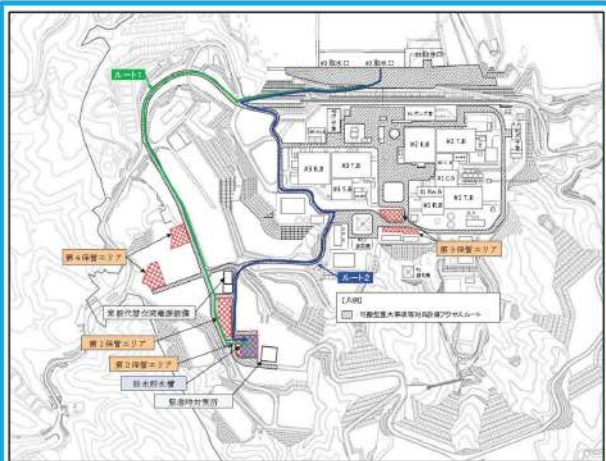
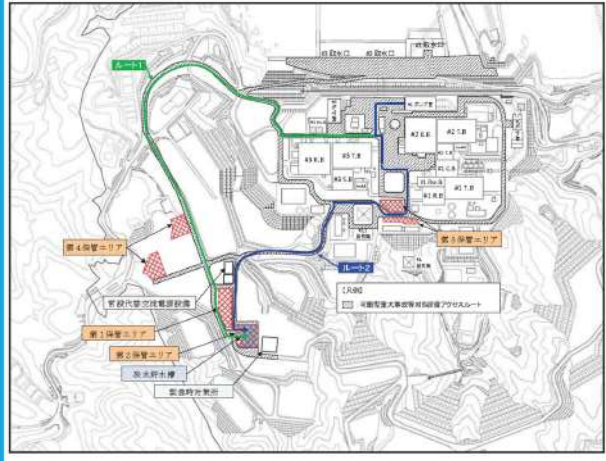
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1406 464 1861 1129" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <div data-bbox="1966 842 1995 895" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin-left: auto; margin-right: auto;"></div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold; margin-top: 10px;">【大阪】 設備の相違(相違理由④)</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

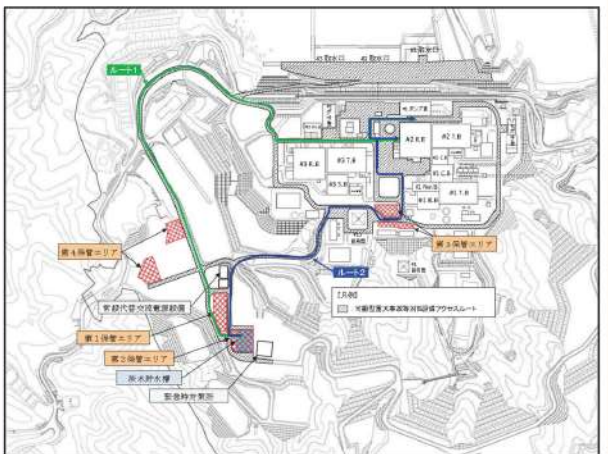
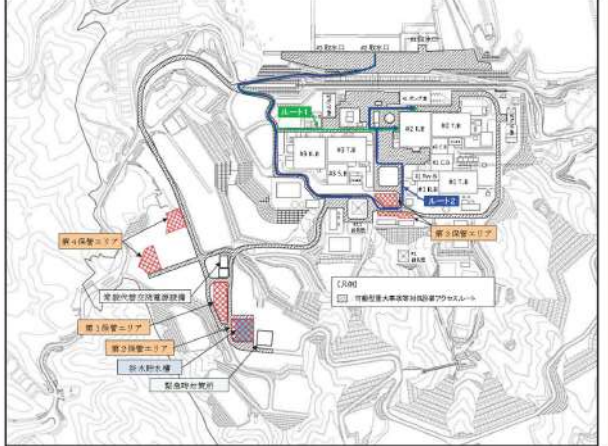
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (1/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第 1.13-33 図 海から淡水貯水水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (2/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/2)</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (4/2)</p>			

第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)

※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

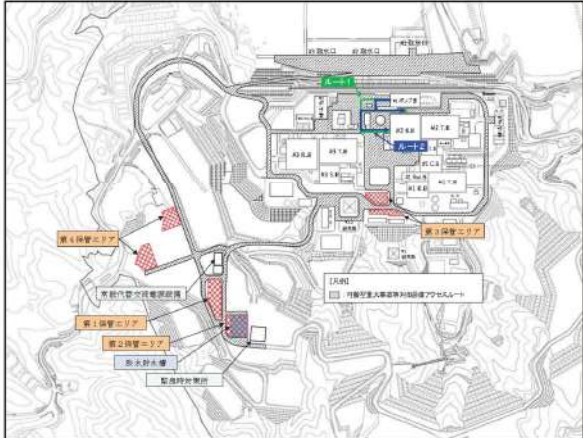
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="112 151 705 486" style="border: 1px solid black; height: 210px;"></div> <div data-bbox="291 494 705 518" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="907 247 1187 271" style="text-align: center;"> 【比較のため、記載順序入替え】 </div> <div data-bbox="750 287 1355 758" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="840 774 1265 798" style="text-align: center;"> 第1.13-35図 淡水貯水槽から各種注水ルート図 </div>	<div data-bbox="1467 375 1870 1204" style="border: 1px solid black; height: 520px;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</p>			
<div data-bbox="112 614 705 949" style="border: 1px solid black; height: 210px;"></div> <div data-bbox="291 957 705 981" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="750 829 1355 1284" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="784 1292 1310 1316" style="text-align: center;"> 第1.13-36図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水) </div>	<div data-bbox="1915 359 1982 1260" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</p>			
<div data-bbox="112 1085 705 1420" style="border: 1px solid black; height: 210px;"></div> <div data-bbox="291 1428 705 1452" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 140 645 406" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <p data-bbox="315 408 629 424">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p data-bbox="197 469 620 485">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p> <div data-bbox="174 494 645 761" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <p data-bbox="315 762 629 778">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p data-bbox="208 783 609 799">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p> <div data-bbox="174 809 645 1075" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <p data-bbox="315 1077 629 1093">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p data-bbox="201 1098 624 1114">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p> <div data-bbox="174 1123 645 1390" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <p data-bbox="315 1391 629 1407">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p data-bbox="201 1412 624 1428">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>	<p data-bbox="902 549 1189 571">【比較のため、記載順序入替え】</p> <div data-bbox="739 582 1355 1061" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  </div> <p data-bbox="757 1066 1321 1088">第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>	<div data-bbox="1400 438 1892 1157" style="border: 2px solid black; height: 450px; width: 220px;"></div>	<p data-bbox="1915 354 1937 1284">第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)</p> <p data-bbox="1966 363 1989 778">※図面の範囲は機密情報に属しますので公開できません。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 140 645 406" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 410 629 427" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="181 470 613 488" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</p> <div data-bbox="174 494 645 761" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 767 629 785" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="181 790 613 807" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</p> <div data-bbox="174 813 645 1080" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1086 629 1104" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="181 1109 613 1126" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (14/22)</p> <div data-bbox="174 1133 645 1399" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1406 629 1423" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="181 1428 613 1445" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>		<div data-bbox="1451 742 1928 842" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等





大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p>		<p>大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (20/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>大飯 3 / 4号炉との比較対象は 泊 3号炉の第 1.13.41 図参照</p>	
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)</p>			

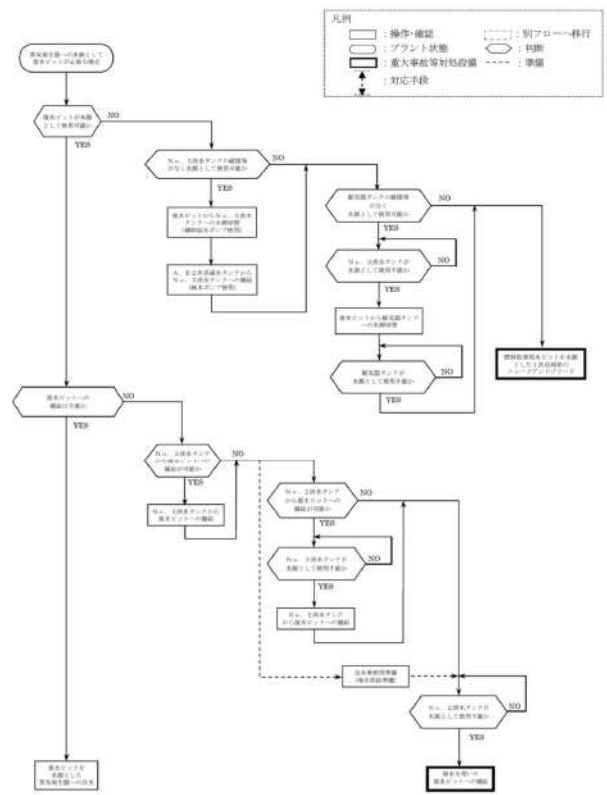

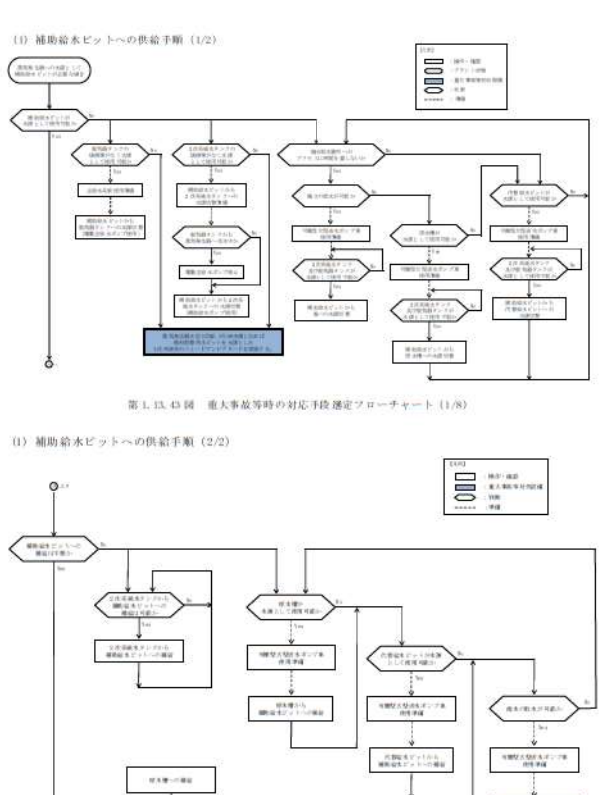
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1391 427 1899 1182" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>第1.13.42図 2次系純水タンク又はろ過水タンクを水源とした原水槽への補給 ホース敷設ルート図</p> <p>： 枠面みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

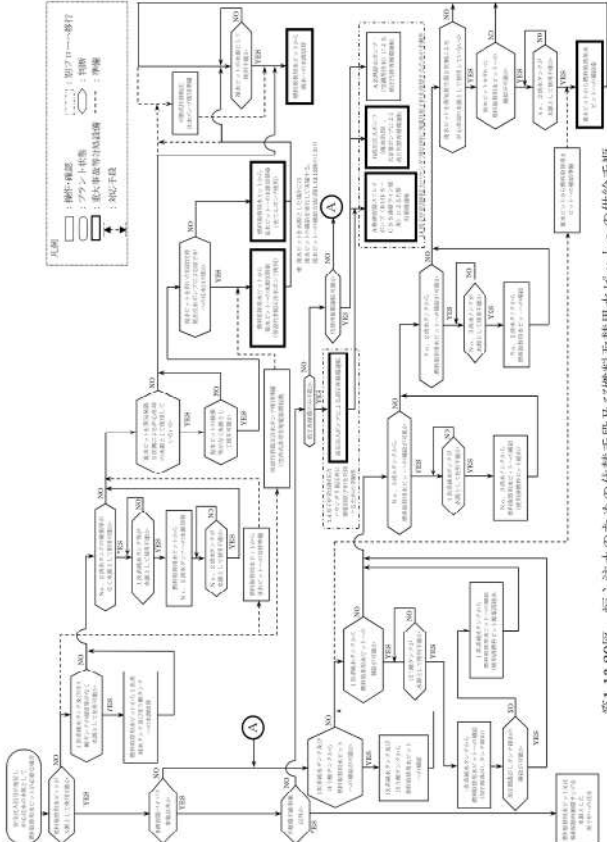
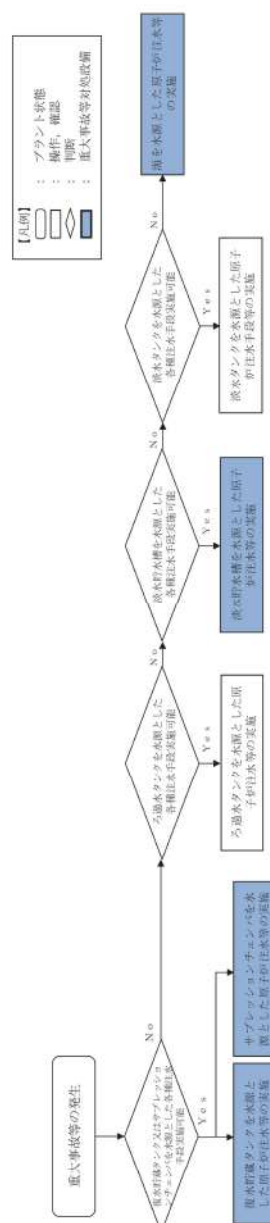
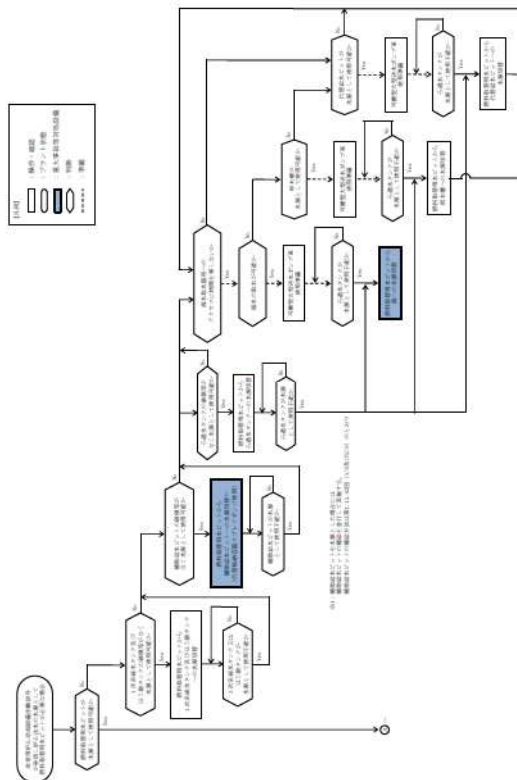
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>	 <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (1/8)</p>	 <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (2/8)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取扱普通水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(2) 炉心注水時における燃料取扱普通水ピットへの補給手順 (1/3)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大阪3/4号炉の第1.13.29図参照 </div>	<div data-bbox="750 311 1310 1276"> <p>【凡例】 □ プラント状態 ○ 操作、確認 ◇ 判断 ▭ 重大事故等対応設備</p> </div>	<div data-bbox="1377 375 1960 1220"> <p>【凡例】 □ 操作、確認 ○ 操作、確認 ◇ 判断 ▭ 重大事故等対応設備</p> </div>	<p>相違理由</p> <div data-bbox="2004 726 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> </div>

第1.13-32図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種補給用）

(2) 炉心注水時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (2/3)

第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/8)

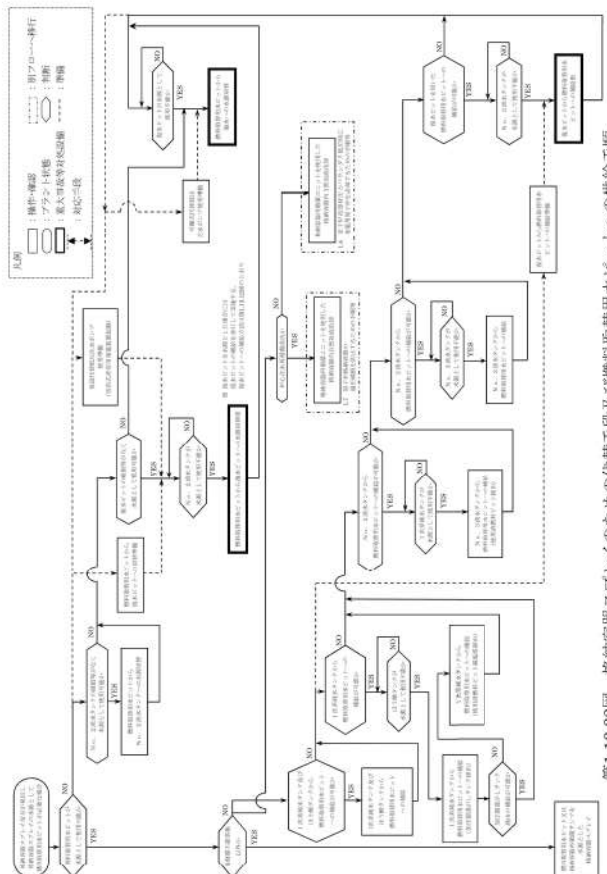
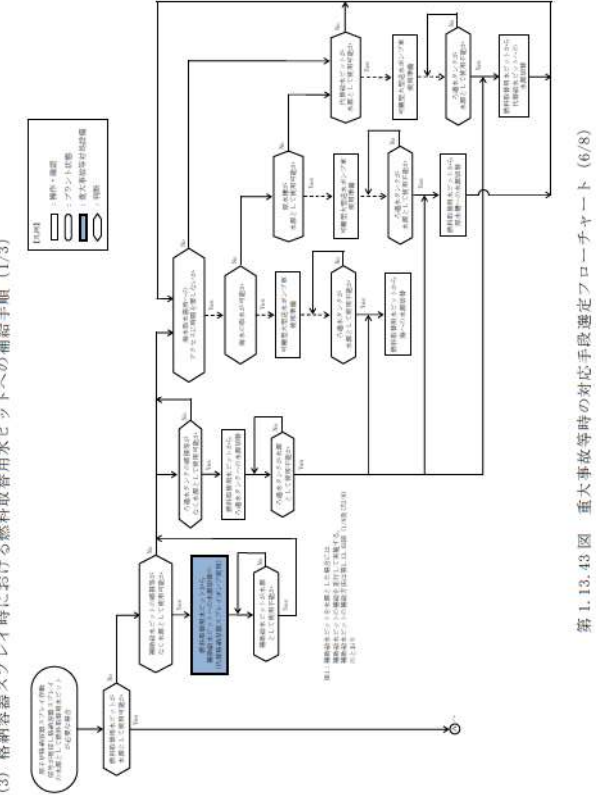
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1377 443 1937 1173" style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;"> 1.4.43 (2) 炉心注水時における燃料取替用水ヒートへの補給手順 (3/3) 1.4.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (5/8) </p> </div>	<div data-bbox="2011 754 2161 834" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (1/3)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 742 683 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> 泊3号炉との比較対象は 大阪3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1368 422 1915 1173" style="text-align: center;"> <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取扱替用水への補給手順 (2/3)</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (7/8)</p> </div>	<div data-bbox="2009 726 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> 【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 743 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1377 430 1982 1165"> <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (3/3)</p> <p>① 上水</p> <p>② 原水タンク</p> <p>③ 燃料取替用水ピット</p> <p>④ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑤ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑥ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑦ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑧ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑨ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑩ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑪ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑫ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑬ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑭ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑮ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑯ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑰ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑱ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑲ 燃料取替用水ピット</p> <p>⑳ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉑ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉒ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉓ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉔ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉕ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉖ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉗ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉘ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉙ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉚ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉛ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉜ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉝ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉞ 燃料取替用水ピット</p> <p>㉟ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊱ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊲ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊳ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊴ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊵ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊶ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊷ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊸ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊹ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊺ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊻ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊼ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊽ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊾ 燃料取替用水ピット</p> <p>㊿ 燃料取替用水ピット</p> </div>	<div data-bbox="1960 550 1982 1061" style="text-align: center;"> 第 1.13.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (8/8) </div> <div data-bbox="2004 750 2161 837" style="text-align: center; color: red;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】

添付資料 1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (56条)	技術基準規則 (71条)	番号
<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。</p>	⑧
<p>【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	—	<p>【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	—
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	⑨
b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	⑩
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	⑪
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑫
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑬
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	—

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)	番号
<p>【本文】 1 発電用原子炉設置者において、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。</p>	①	<p>【本文】 1 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 1 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。</p>	⑦
—	—	—	—	—
2 発電用原子炉設置者において、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備等に供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	②	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備等に供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備等に供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	⑧
【解釈】 1 第1項に規定する「想定される重大事故等」は、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	—	【解釈】 1 第1項に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	【解釈】 1 第1項に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	—
—	—	2 一次冷却回路大時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等」に対処するために必要な設備に供給できるものとして、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	2 一次冷却回路大時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等」に対処するために必要な設備に供給できるものとして、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	⑨
a) 第1項に規定する「想定される重大事故等」に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備、及び第2項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を供給できる手順等を整備すること。この場合において、以下の事項を考慮すること。	③	—	—	—
1) 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）を利用できるものとする。	④	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水を取水できるものとする。	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水を取水できるものとする。	⑩
1) 各水源からの移送ルートを提供し、移送ホース、ポンプ等の設備を用いた水の供給ができるものとする。	⑤	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対処するために必要な設備等に供給するための移送ホース、ポンプ等の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対処するために必要な設備等に供給するための移送ホース、ポンプ等の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	⑪
2) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替えができるようにする。	⑥	—	—	—

【女川】
 ・PWR と BWR に対する要求事項相違による附番の相違
 ・審査基準の改正による記載内容の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】										審査基準、基準規則と対応設備との対応表(2/8)										
審査基準、基準規則と対応設備との対応表(2/6) ■ : 重大事故等対応設備 □ : 重大事故等対応設備(設計基準拡張)										■ : 重大事故等対応設備 □ : 重大事故等対応設備(設計基準拡張)										
重大事故等対応設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段					自主対策					重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段					自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	備考	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間	対応人数	備考	対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	備考	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考		
女川2号炉の審査基準に適合するための手段	取水貯留タンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺		ろ過水タンク	既設					ろ過水タンク	既設								
	高圧代替注水系(高圧代替注水ポンプ)	既設			ろ過水系(ろ過水ポンプ)	既設					ろ過水系(ろ過水ポンプ)	既設								
	原子炉隔離時冷却系(原子炉隔離時冷却ポンプ)	既設										代替格納容器スプレイポンプ	既設	①③⑤⑥⑦						
	高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	既設										日一格納容器スプレイポンプ	既設	①③⑤⑥⑦						
	残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	既設										格納容器スプレイポンプ	既設	①③⑤⑥⑦						
	低圧代替注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設										全熱除去ポンプ	既設	①③⑤⑥⑦						
	低圧代替注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設										燃料取替用水ポンプ	既設	①③⑤⑥⑦						
	低圧代替注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設												①③⑤⑥⑦						
	原子炉格納容器下置注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設												①③⑤⑥⑦						
	原子炉格納容器高圧注水系(既設)(燃料プール補給ポンプ)	既設												①③⑤⑥⑦						
女川2号炉の審査基準に適合するための手段	サブプレッシャントラップ	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺								補助給水ピット	既設								
	高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	既設									電動補助給水ポンプ	既設								
	残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	既設									タービン駆動補助給水ポンプ	既設								
	低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)	既設									SG直接給水用高圧ポンプ	既設								
	代替格納容器下置注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設												①③⑤⑥⑦						

※1：本論文【解釈】1.b)項を満足するための代替注水源（措置）

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	備考
沸水炉の各種自主対策とした対応	沸水炉水櫃 (No.1) ①	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	沸水タンク	既設	自主対策設備とする理由は本文参照	
	沸水炉水櫃 (No.2) ②	既設		大容量送水ポンプ (タイプ1)	既設		
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	既設		ホース延長回収車	既設		
	ホース・注水用ヘッド・接続口	既設		ホース・注水用ヘッド・接続口	既設		
	—	—		ろ過ホース 配管・弁	既設		
	—	—		給排水機器設置配管・弁	既設		
	燃料補給設備	既設		燃料補給設備	既設		
	燃料補給設備	既設		低圧代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	低圧代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		大容量送水ポンプ (タイプ1)	既設		
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	既設		ホース延長回収車	既設		
	ホース・注水用ヘッド・接続口	既設		ホース・注水用ヘッド・接続口	既設		
	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	燃料プール代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		燃料プール代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	燃料プール代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		燃料プール代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	燃料プールのスプレイ系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設		燃料プールのスプレイ系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設		
	燃料プールのスプレイ系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設		燃料プールのスプレイ系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設		
	—	—		大型化学汚染処理車	既設		
	—	—		化学汚染処理車	既設		
—	—	ホース・接続口	既設				
—	—	燃料プール冷却浄化系配管・弁	既設				
—	—	スプレインゾル	既設				
—	—	燃料補給設備	既設				

※1：本文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水系（措置）

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	備考
沸水炉とした対応	可搬型大型送水ポンプ車	既設	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	代替給水ピットを水櫃とした対応	代替給水ピット	既設	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型ホース・接続口	既設		可搬型大型送水ポンプ車	既設		
	ホース延長・回収車 (送水専用)	既設		可搬型ホース・接続口	既設		
	非常用取水設備	既設		ホース延長・回収車 (送水専用)	既設		
	可搬型ホース	既設		可搬型ホース	既設		
	可搬型スプレインゾル	既設		可搬型スプレインゾル	既設		
	原子炉補給冷却水ポンプ	既設		燃料補給設備	既設		
	原子炉補給冷却水ポンプ	既設		取水槽	既設		
	可搬型大容量送水ポンプ車	既設		可搬型大型送水ポンプ車	既設		
	放水栓	既設		可搬型ホース・接続口	既設		
	既混合設備	既設		ホース延長・回収車 (送水専用)	既設		
	燃料補給設備	既設		可搬型ホース	既設		
	—	—		可搬型スプレインゾル	既設		
	—	—		燃料補給設備	既設		
	—	—		—	既設		

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由			
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】										審査基準、基準規則と対処設備との対応表（4/6）													
重大事故等対処設備を所した対応手段 審査基準の要求に適合するための手段										自主対策													
対応手段	機器名称	既設	新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設	新設	備考	対応手段	機器名称	既設	新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設	新設	備考				
機 器 名 称 の 相 違 に よ る 対 応 手 段 の 相 違	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設																			【女川】 設備の相違による 対応手段の相違 【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・大飯の比較対象 となる添付資料 1.13.2は後段に 掲載している。 ・泊は女川の審査 実績を踏まえた 構成としている ため、本資料の 比較対象は女川 としている。		
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設																					
	ホース延長回収車	既設																					
	貯留槽	既設																					
	取水口	既設																					
	取水ポンプ	既設																					
	海水ポンプ車	既設																					
	ホース・圧水用ヘッド・接続口	既設																					
	燃料補給設備	既設																					
	燃料代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	原子炉格納容器下部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口、スプレイズル等）	既設																					
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド、スプレイズル等）	既設																					
	原子炉格納容器注水系（大容量送水ポンプ（タイプ1）、熱交換器ユニット、ホース延長回収車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設																					
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設																					
	ホース延長回収車	既設																					
取水ポンプ	既設																						
ホース	既設																						
送水用車両用台装置	既設																						
燃料補給設備	既設																						

※1：本文【解釈】1 h)項を満足するための代替注水源（措置）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料 1.13.2 を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	施設種別	施設対応番号	対応手段	機器名称	施設種別	備考
女川2号炉の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設		-	-	-	-
	ボース冠形同位器	新設					
	ボース	新設					
	減水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿				
	減水貯水罐 (No. 2) ①	新設					
	貯留槽	新設					
	取水口	新設					
	燃料補給設備	新設					
	燃料補給設備	新設					
	燃料補給設備	新設					
女川2号炉の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設		-	-	-	-
	ボース冠形同位器	新設					
	ボース	新設					
	減水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿				
	減水貯水罐 (No. 2) ①	新設					
	貯留槽	新設					
	取水口	新設					
	燃料補給設備	新設					
	燃料補給設備	新設					
	燃料補給設備	新設					
女川2号炉の相違	減水貯水タンク	新設		-	-	-	-
	オージェンションチェンバ	新設	①②③④				
	高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	新設					
女川2号炉の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設		-	-	-	-
	ボース冠形同位器	新設					
	ボース	新設					
	減水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿				
	減水貯水罐 (No. 2) ①	新設					
	貯留槽	新設					
	取水口	新設					
	取水口	新設					
	取水口	新設					
	取水口	新設					
女川2号炉の相違	減水貯水タンク	新設		-	-	-	-
	オージェンションチェンバ	新設	①②③④				
	地元代替取水（取水）（取水ポンプ）	新設					
	代替取水ポンプ（代替取水ポンプ）	新設					

※1：本表文【解釈】1) ①項を満足するための代替取水（措置）

泊発電所 3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策								
対応手段	機器名称	施設種別	施設対応番号	対応手段	機器名称	施設種別	備考					
女川2号炉の相違	1次系減水タンク	常設		-	-	-	-					
	燃料取替用ビット	常設										
	1次系補給水ポンプ	常設										
	加圧器誘がしタンク	常設										
	燃料取替用ビット	常設										
	1次系補給水タンク	常設										
	1次系補給水ポンプ	常設										
	化学体積制御設備 配管・弁	常設										
	給水処理設備 配管・弁	常設										
	液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設										
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設										
	常用電動設備	常設										
	非常用交流電動設備	常設										
	所内常設蓄電池液電設備	常設										
	燃料取替用ビット	常設										
女川2号炉の相違	2次系減水タンク	常設		-	-	-	-					
	2次系補給水ポンプ	常設										
	燃料取替用ビット	常設										
	燃料取替用ビットポンプ	常設										
	給水処理設備 配管・弁	常設										
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設										
	常用電動設備	常設										
	女川2号炉の相違	1次系減水タンク	常設						-	-	-	-
		ほう酸タンク	常設									
		燃料取替用ビット	常設									
		1次系補給水ポンプ	常設									
		ほう酸ポンプ	常設									
		化学体積制御設備 配管・弁	常設									
		非常用炉心冷却設備 配管	常設									
		給水処理設備 配管・弁	常設									
常用電動設備		常設										
非常用交流電動設備		常設										

【女川】
設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・大飯の比較対象となる添付資料 1.13.2 は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉		相違理由																																																									
審査基準、基準規則と対応設備との対応表 (7/8)																																																												
 ：重大事故等対応設備 ：重大事故等対応設備（設計基準拡張）																																																												
大飯発電所3/4号炉	重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段	自主対策	【女川】 設備の相違による 対応手段の相違 【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・大飯の比較対象 となる添付資料 1.13.2は後段に 掲載している。 ・泊は女川の審査 実績を踏まえた 構成としている ため、本資料の 比較対象は女川 としている。																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用取水設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>燃料補給設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段		機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	補助給水ビット	既設	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	可搬型大型送水ポンプ車	新設	可搬型ホース・接続口	新設	ホース延長・回収車（送水車用）	新設	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	新設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	既設	非常用取水設備	既設 新設	燃料補給設備	既設 新設				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="11" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="11" style="text-align: center;">200分</td> <td rowspan="11" style="text-align: center;">7名</td> <td rowspan="11" style="font-size: small;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>燃料補給設備</td> <td>常設 可搬</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照	ろ過水タンク	常設	2次系純水タンク	常設	補助給水ビット	常設	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	可搬型ホース・接続口	可搬	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設	給水処理設備（配管・弁）	常設	燃料補給設備	常設 可搬
	対応手段	機器名称		既設 新設	解釈 対応 番号																																																							
	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	補助給水ビット		既設	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水																																																							
可搬型大型送水ポンプ車		新設																																																										
可搬型ホース・接続口		新設																																																										
ホース延長・回収車（送水車用）		新設																																																										
非常用炉心冷却設備（配管・弁）		新設																																																										
2次冷却設備（補助給水設備）配管		既設																																																										
非常用取水設備		既設 新設																																																										
燃料補給設備		既設 新設																																																										
対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																							
可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																							
	ろ過水タンク	常設																																																										
	2次系純水タンク	常設																																																										
	補助給水ビット	常設																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車	可搬																																																										
	可搬型ホース・接続口	可搬																																																										
	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																										
	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設																																																										
	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設																																																										
	給水処理設備（配管・弁）	常設																																																										
	燃料補給設備	常設 可搬																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用取水設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>燃料補給設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	補助給水ビット	既設	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	可搬型大型送水ポンプ車	新設	可搬型ホース・接続口	新設	ホース延長・回収車（送水車用）	新設	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	新設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	既設	非常用取水設備	既設 新設	燃料補給設備	既設 新設				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="11" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水</td> <td>代替給水ビット</td> <td>常設</td> <td rowspan="11" style="text-align: center;">145分</td> <td rowspan="11" style="text-align: center;">7名</td> <td rowspan="11" style="font-size: small;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>燃料補給設備</td> <td>常設 可搬</td> </tr> <tr><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	代替給水ビット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ビット	常設	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	可搬型ホース・接続口	可搬	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設	給水処理設備（配管・弁）	常設	燃料補給設備	常設 可搬						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号																																																									
可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	補助給水ビット	既設	可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水																																																									
	可搬型大型送水ポンプ車	新設																																																										
	可搬型ホース・接続口	新設																																																										
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設																																																										
	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	新設																																																										
	2次冷却設備（補助給水設備）配管	既設																																																										
	非常用取水設備	既設 新設																																																										
	燃料補給設備	既設 新設																																																										
対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																							
可搬型大型送水ポンプ車（水車）による補助給水ポンプへの給水	代替給水ビット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																							
	補助給水ビット	常設																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車	可搬																																																										
	可搬型ホース・接続口	可搬																																																										
	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																										
	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設																																																										
	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設																																																										
	給水処理設備（配管・弁）	常設																																																										
	燃料補給設備	常設 可搬																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">補助給水ビットへの給水</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">補助給水ビットへの給水</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次系補給ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段				機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	補助給水ビットへの給水	2次系純水タンク	常設	補助給水ビットへの給水	補助給水ビット	常設	2次系補給ポンプ	常設	給水処理設備（配管・弁）	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	常用電源設備	常設	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">補助給水ビットへの給水</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">25分</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">2名</td> <td rowspan="6" style="font-size: small;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次系補給ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	補助給水ビットへの給水	2次系純水タンク	常設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ビット	常設	2次系補給ポンプ	常設	給水処理設備（配管・弁）	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	常用電源設備	常設															
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号																																																									
補助給水ビットへの給水	2次系純水タンク	常設	補助給水ビットへの給水																																																									
	補助給水ビット	常設																																																										
	2次系補給ポンプ	常設																																																										
	給水処理設備（配管・弁）	常設																																																										
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																										
	常用電源設備	常設																																																										
対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																							
補助給水ビットへの給水	2次系純水タンク	常設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																							
	補助給水ビット	常設																																																										
	2次系補給ポンプ	常設																																																										
	給水処理設備（配管・弁）	常設																																																										
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																										
	常用電源設備	常設																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">ろ過水タンクへの給水</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">ろ過水タンクへの給水</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	ろ過水タンクへの給水	原水槽	常設	ろ過水タンクへの給水	2次系純水タンク	常設	ろ過水タンク	常設	2次系純水タンク	常設	可搬型ホース	可搬	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">ろ過水タンクへの給水</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">180分</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">3名</td> <td rowspan="6" style="font-size: small;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	ろ過水タンクへの給水	原水槽	常設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照	2次系純水タンク	常設	ろ過水タンク	常設	2次系純水タンク	常設	可搬型ホース	可搬	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号																																																									
ろ過水タンクへの給水	原水槽	常設	ろ過水タンクへの給水																																																									
	2次系純水タンク	常設																																																										
	ろ過水タンク	常設																																																										
	2次系純水タンク	常設																																																										
	可搬型ホース	可搬																																																										
	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																										
対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																							
ろ過水タンクへの給水	原水槽	常設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																							
	2次系純水タンク	常設																																																										
	ろ過水タンク	常設																																																										
	2次系純水タンク	常設																																																										
	可搬型ホース	可搬																																																										
	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉			泊発電所3号炉						相違理由
審査基準、基準規則と対応設備との対応表（8/8） ：重大事故等対応設備 ：重大事故等対応設備（設計基準拡張）									
重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可撤	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの回替え	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピットから1次系純水タンクへの回替え	燃料取替用水ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	補助給水ピット	既設			1次系純水タンク	常設			
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			ほう酸タンク	常設			
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			1次系補助ポンプ	常設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			ほう酸ポンプ	常設			
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設			充てんポンプ	常設			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			再生熱交換器	常設			
	原子炉容器	既設			給水処理設備 配管・弁	常設			
	1次冷却設備	既設			化学体積制御設備 配管・弁	常設			
	非常用交流電源設備	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			
	常設代替交流電源設備	既設 新設			1次冷却設備	常設			
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設			原子炉容器	常設			
	代替所内電気設備	既設 新設			常設電源設備	常設			
	燃料取替用水ピットから原子炉格納容器内へ補助給水ピット中の場合	燃料取替用水ピット			既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦			
補助給水ピット		既設	補助給水ピット	常設					
代替格納容器スプレイポンプ		新設	2次系純水タンク	常設					
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁		既設 新設	電動補助給水ポンプ	常設					
非常用炉心冷却設備 配管・弁		既設	タービン補助給水ポンプ	常設					
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁		既設 新設	2次冷却設備（給水設備）配管	常設					
スプレイノズル		既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設					
スプレイリング		既設	給水処理設備 配管・弁	常設					
原子炉格納容器		既設	蒸気発生器	常設					
非常用交流電源設備		既設 新設	非常用交流電源設備	常設					
常設代替交流電源設備		既設 新設	常設代替交流電源設備	常設 可撤					
可搬型代替交流電源設備		既設 新設	所内常設蓄電式直流電源設備	常設					
代替所内電気設備		既設 新設							
-		-							

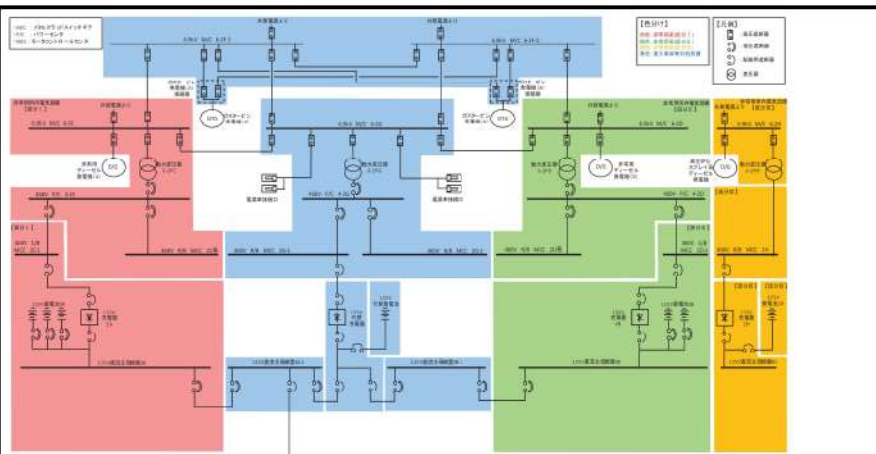
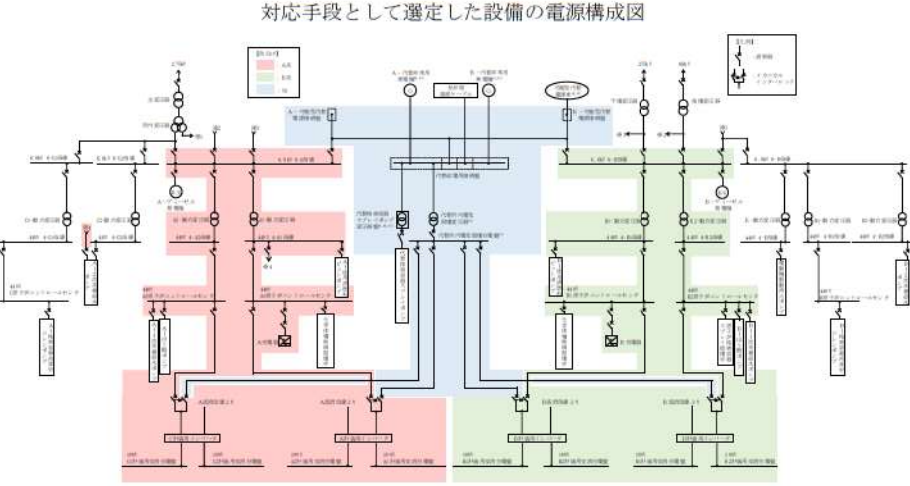
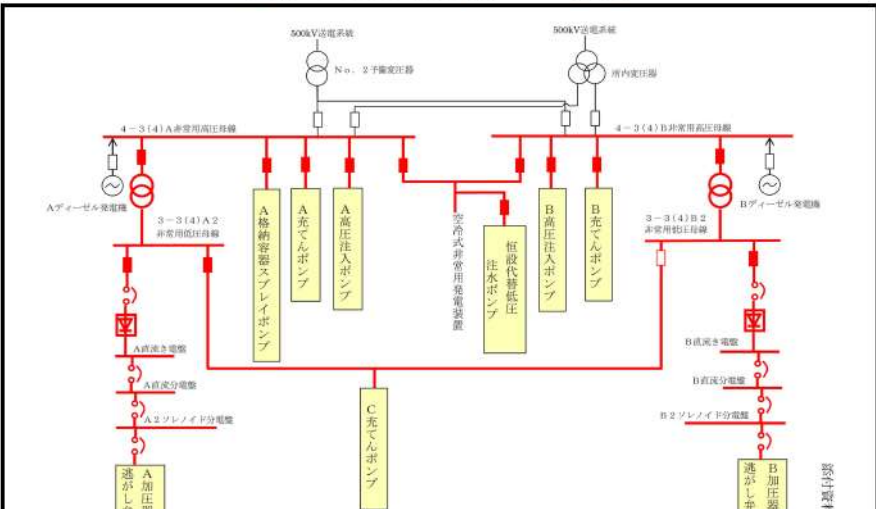
【女川】
設備の相違による
対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の
反映）

・大飯の比較対象
となる添付資料
1.13.2は後段に
掲載している。
・泊は女川の審査
実績を踏まえた
構成としている
ため、本資料の
比較対象は女川
としている。

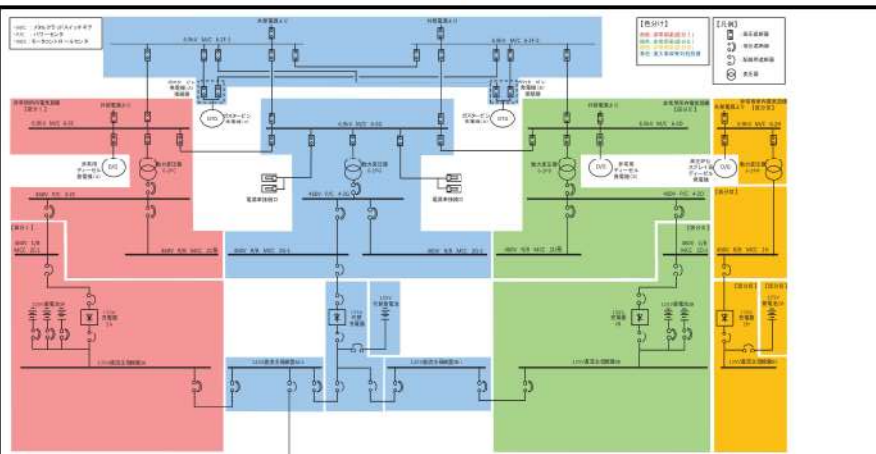
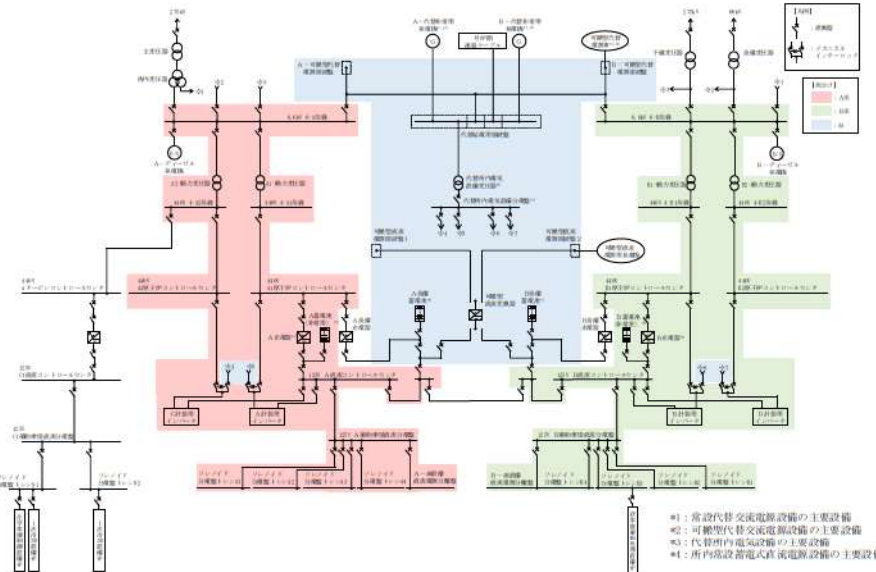
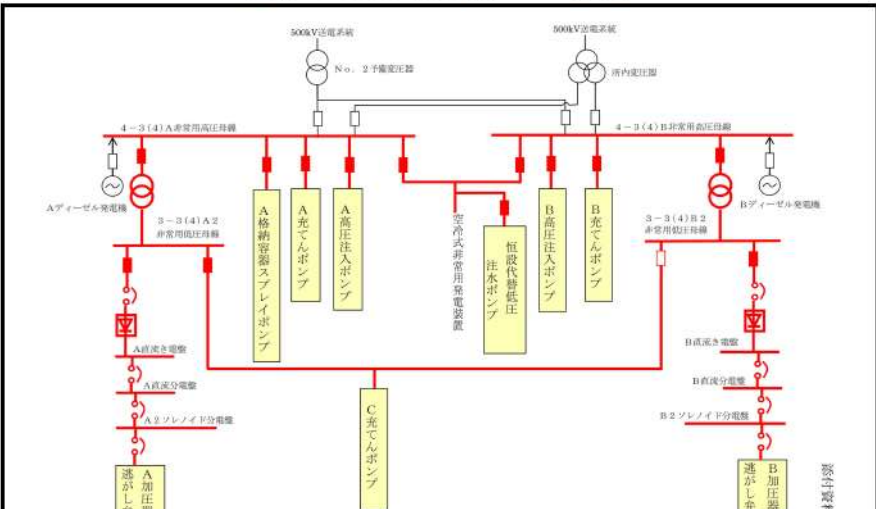
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2</p> <p>対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p>第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>※：常設代替交流電源設備の主要設備 ◎：稼働代替交流電源設備の主要設備 ○：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流で分割 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

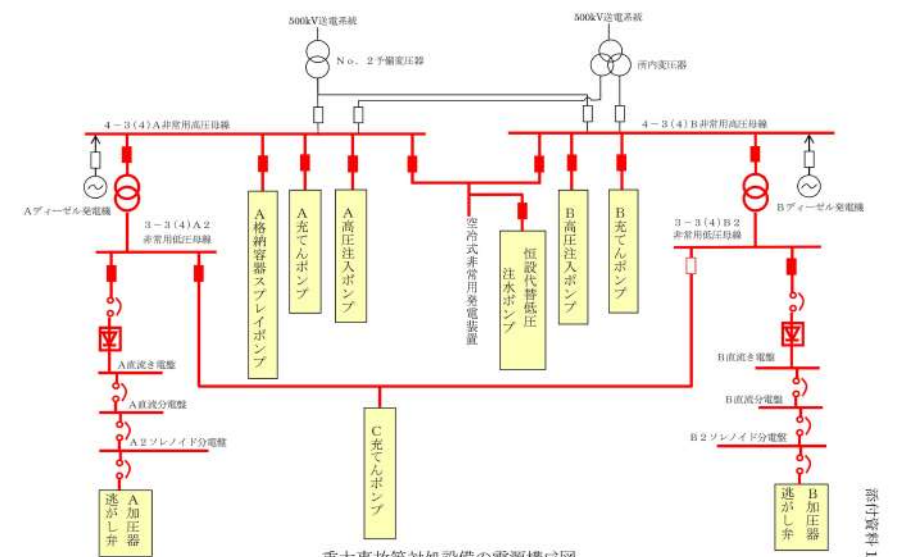
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.2</p>	 <p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>※1：常設代替交流電源設備の主要設備 ※2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 ※3：代替用内電気設備の主要設備 ※4：所内設置常電式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流で分割 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.1</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>500kV送電系統 No. 2 予備変圧器 500kV送電系統 所内変圧器</p> <p>4-3(4)A非常用高圧母線 4-3(4)B非常用高圧母線</p> <p>Aダイーゼル発電機 Bダイーゼル発電機</p> <p>3-3(4)A2非常用低圧母線 3-3(4)B2非常用低圧母線</p> <p>A格納容器スプレイポンプ A充てんポンプ A高圧注入ポンプ 恒設代替低圧注水ポンプ B高圧注入ポンプ B充てんポンプ C充てんポンプ</p> <p>A直流分電盤 B直流分電盤 A2ソレノイド分電盤 B2ソレノイド分電盤 A加圧器 B加圧器</p> <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>	<p>比較表 p 1.13-537 から p 1.13-538 にて比較</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

重大事故等対応設備及び多様性担保設備整理表

設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称		設備の名称		設備の名称		備考
				設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	
[注] 重大事故等時に必要となる水の供給の目的 ① 炉心冷却 ② 炉心減速 ③ 炉心停止 ④ 炉心冷却 ⑤ 炉心減速 ⑥ 炉心停止 ⑦ 炉心冷却 ⑧ 炉心減速 ⑨ 炉心停止 ⑩ 炉心冷却 ⑪ 炉心減速 ⑫ 炉心停止 ⑬ 炉心冷却 ⑭ 炉心減速 ⑮ 炉心停止	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却
	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速
	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止
	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却
	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速
	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止
	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却
	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速
	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止
	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却
	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速
	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止
	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却
	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速
	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止

※1、※2： 重大事故等対応設備の機材構成に適用する設備の組み合わせを要す。

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料1.13.1参照

記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる泊の添付資料1.13.1は前段で整理している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

重大事故等対応設備及び多様性担保設備整理表

設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称 （設備の名称 と必要となる水の供給 の目的）	設備の名称		設備の名称		設備の名称		備考
				設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	設備の名称	
[注] 重大事故等時に必要となる水の供給の目的 ① 炉心冷却 ② 炉心減速 ③ 炉心停止 ④ 炉心冷却 ⑤ 炉心減速 ⑥ 炉心停止 ⑦ 炉心冷却 ⑧ 炉心減速 ⑨ 炉心停止 ⑩ 炉心冷却 ⑪ 炉心減速 ⑫ 炉心停止 ⑬ 炉心冷却 ⑭ 炉心減速 ⑮ 炉心停止	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却	① 炉心冷却
	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速	② 炉心減速
	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止	③ 炉心停止
	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却	④ 炉心冷却
	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速	⑤ 炉心減速
	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止	⑥ 炉心停止
	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却	⑦ 炉心冷却
	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速	⑧ 炉心減速
	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止	⑨ 炉心停止
	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却	⑩ 炉心冷却
	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速	⑪ 炉心減速
	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止	⑫ 炉心停止
	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却	⑬ 炉心冷却
	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速	⑭ 炉心減速
	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止	⑮ 炉心停止

※1、※2： 重大事故等対応設備の機材構成に適用する設備の組み合わせを要す。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
N o . 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約140m ³ /h	約950m	2台	タービン補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m ³ /h	約900m	1台	
タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約250m ³ /h	約950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m ³ /h	約900m	2台	
A、B2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m ³	—	2基	代替給水ビット	常設	Cクラス	約473m ³	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約220m ³ /h	約140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m ³ /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m ³	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m ³	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m ³ /h	約620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	4基	
N o . 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	燃料取替用水ビット	常設	Sクラス	約2,000m ³	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m ³ /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m ³	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m ³	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m ³ /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m ³ /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m ³	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m ³	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	80m	2台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	138m	1台	
A、B充てんポンプ	常設	Sクラス	約45m ³ /h	1,770m	2台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	133m	1台	
C充てんポンプ	常設	Sクラス	約14m ³ /h	—	1台	使用済燃料ビットポンプ	常設	Bクラス	約550m ³ /h	75m	2台	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m ³	—	1基	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	約37m ³	—	1基	
格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	90m	2台	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	95m	2台	
使用済燃料ビットポンプ	常設	Bクラス	約546m ³ /h	60m	2台							
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基							
格納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基							
A余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約1,020m ³ /h	約91m	1台							
ポンプ車	可搬	—	120m ³ /h	85m	1台							

記載表現の相違（女川審査実績の反映）
 ・多様性拡張設備から自主対策設備に変更。
 ・設備名称のため中央及び現場手動操作の記載を削除
 設備の相違（相違理由①）



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、炉心冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を送水車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、大容量ポンプを使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、送水ポンプ及び送水ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプ吸込み部 (送水車)</p> <p>② 水中ポンプ吸込み部 (大容量ポンプ)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、発電用原子炉の冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を可搬型大型送水ポンプ車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、可搬型大型送水ポンプ車を使用して海水を原子炉補機冷却水系へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐にわたる。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプの吸込み部</p> <p>② 可搬型大型送水ポンプ車の吸込み部 (水中ポンプからのホース接続部)</p> </div>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 21分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="1171 986 1485 1225" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div data-bbox="1543 986 1856 1225" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑩)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため、操作の成立性について記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ビットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とした、復水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間(想定)：15分 操作時間(実績)：8分(現場移動時間を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間(想定)：25分 操作時間(訓練実績等)：12分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、各水源から復水ビットへの補給手段をまとめて記載している。 ・泊は、各水源から補助給水ビットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様) <p>設備の相違(相違理由①)</p> <p>記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。 <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。(女川と同様) ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。(伊方、玄海と同様) ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="322 507 797 826" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="389 850 725 906" data-label="Caption"> <p>復水ピット補給弁開操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p> </div>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1339 531 1688 799" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1406 807 1621 879" data-label="Caption"> <p>補助給水ピット供給 ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24.8m)</p> </div>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス性を移動経路と記載する。 ・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。 ・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。 ・防護具は必要に応じて着用する記載としている。 ・連絡手段の記載充実。 ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p>【No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 844 912"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 933 553 1061"> <p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div data-bbox="602 933 768 1061"> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> </div> <div data-bbox="385 1096 553 1224"> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> </div> <div data-bbox="602 1096 768 1224"> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> </div> <div data-bbox="385 1267 553 1394"> <p>⑤ 可搬型ホース敷設</p> </div> <div data-bbox="602 1267 768 1394"> <p>⑥ 復水ピット入口扉</p> </div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1429 177 1617 197" style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</div> <table border="1" data-bbox="1140 199 1906 296" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1393 389 1644 576" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1267 587 1765 633" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1207 660 1462 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1200 863 1464 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 660 1825 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1563 863 1830 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1207 932 1462 1120" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1193 1131 1469 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1563 925 1825 1129" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1585 1131 1807 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設（屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原水槽から補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 180分 作業時間（訓練実績等） : 135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1413 177 1608 199" style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</div> <table border="1" data-bbox="1131 199 1899 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型 送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1384 387 1641 584" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1339 592 1682 659" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1205 675 1462 863" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1205 879 1462 901" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150 A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 675 1827 863" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1570 879 1827 901" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150 A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1205 959 1462 1147" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1205 1171 1462 1262" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div data-bbox="1563 951 1827 1155" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1592 1171 1827 1238" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型 送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型 送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1671 1206" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 海水を復水ピットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：5名/ユニット 作業時間(想定)：3.4時間 作業時間(実績)：3.4時間以内(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。建屋入口扉の配置を「建屋入口扉へのアクセス箇所」に示す。 また、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。 また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話(アイサットフォン)を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。)]</p> <p>1. 作業概要 海水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m、T.P.10.3m 屋外(海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺)</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名 作業時間(想定)：200分 作業時間(訓練実績等)：160分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。 屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車(送水車用)を使用することから、容易に実施可能である。 また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 ・大飯は添付資料1.5.6の中で水中ポンプ設置の記載をしている。 泊は各添付資料にて記載する。 記載内容は同様である。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違 ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。(伊方3号炉同様)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違 ・泊は結合金具式である。(女川同様)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p data-bbox="369 156 763 180">建屋入口扉へのアクセス箇所（3号炉の例）</p> <div data-bbox="147 204 987 671" style="border: 2px solid black; height: 293px; width: 375px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="403 683 983 710" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="1386 780 1637 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p data-bbox="2000 140 2092 161">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="2000 169 2136 308"> ・ 泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉				泊発電所 3号炉				相違理由												
3号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table>				敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統
			敷設ルート						敷設長さ	ホース口径	本数									
			海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口						約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統									
	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統																
	150mm																			
	200mm																			
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本																
			150mm																	
			200mm																	
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本																	
		150mm																		
		200mm																		
4号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本																
			150mm																	
			200mm																	
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本																
			150mm																	
200mm																				
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本																	
		150mm																		
		200mm																		



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続 (接続前)



③ 可搬型ホース接続 (接続後)



④ 復水ピット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ピット

②、③の写真はイメージ



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



可搬型ホース（150 A）接続前



可搬型ホース（150 A）接続後



可搬型大型送水ポンプ車の設置
ポンプ車周辺のホース敷設
(屋外)



海水取水箇所への水中ポンプ設置
(屋外)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 976 1671 1219" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給 系統構成 （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後、系統構成を実施する必要がある。 （伊方3号炉同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ パンティンダホース接続 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水又は原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要 炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。） [充てんポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m) ② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m、T.P.17.8m 原子炉補助建屋T.P.10.3m、T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 原子炉容器への注水時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 原子炉格納容器内へのスプレイ時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 水源切替系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要 格納容器スプレイのため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、炉心注入が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 ・泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ピットから燃料取替用水ピット間のディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性について</p> <p>復水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるためディスタンスピースによる隔離を選択した。</p> <p>【ディスタンスピースの必要性】</p> <p>○復水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】</p> <p>○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、適切な工具を使用すれば、容易かつ確実に作業が可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、ダブルチェックにより確実に実施可能である。</p> <p>○さらに、訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. ディスタンスピースの必要性</p> <p>復水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置した。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、放射性物質を含む系統と接続しているものの、非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ピットから燃料取替用水ピット間の接続配管について</p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため直列に2個設置した隔離弁による隔離を選択した。</p> <p>【補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離】</p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として直列に2個設置した隔離弁により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【切替えの容易性】</p> <p>運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、確実に実施可能である。</p> <p>さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、通常時に行う弁操作経験を積むことにより、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. 補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離</p> <p>補助給水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として隔離弁を直列に2個設置した。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時開閉操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施錠管理をすることで誤操作を防止できることから、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている。</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>


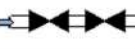



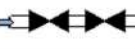



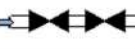


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																															
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮 泊発電所 3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下のとおりとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1220 446 1836 798"> <thead> <tr> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</th> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: red;">既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1075 909 1982 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">既設の例[※]</td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁及び空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク</td> <td>原子炉補給水系統（1次系純水）</td> <td>加圧器逃がしタンク風圧用</td> <td>0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃</td> <td>逆止弁 空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>体積制御タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td>水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃</td> <td>逆止弁 手動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置 代替格納容器 スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器 スプレイポンプ 試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※：他にも、タンク等へに補給（2次系純水）及びカバガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</small></p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈	(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例 [※]	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク風圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）	今回設置 代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ 試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）	設備の相違（相違理由②）
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈																																
(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																																
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																												
既設の例 [※]	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）																												
	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク風圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）																												
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）																												
	今回設置 代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ 試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）																												

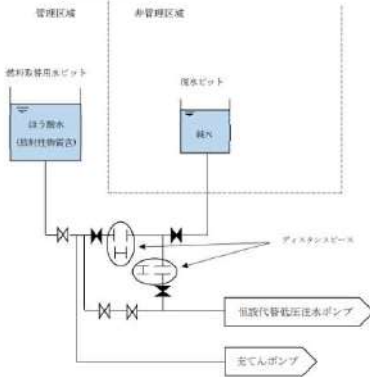
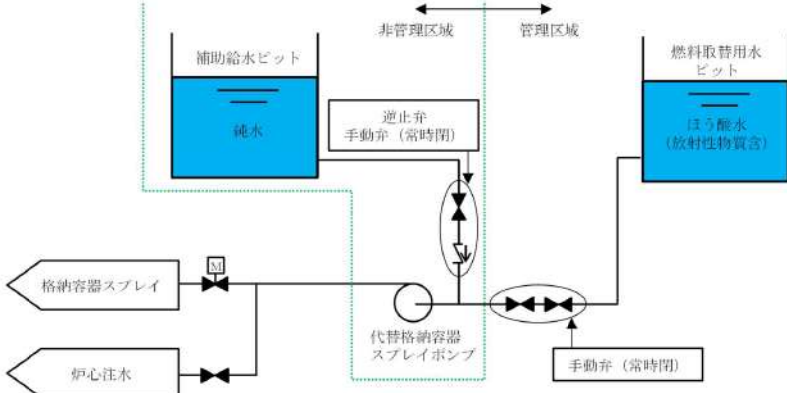
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉		泊発電所 3号炉				相違理由																												
比較対象なし		<p>②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p>泊発電所 3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクに補給する配管がある。この場合は、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない系統に誤って漏えいすることを防止するため、直列に2個設置した隔離弁で隔離を行っている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁 手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器 スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器 スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p>				放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁 手動弁	代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）	設備の相違（相違理由②）													
		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																												
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁 手動弁																														
代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>経常時閉鎖操作が不確実な場合、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容</td> <td>ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>半操作（2箇所）</td> <td>スプールピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>カブラ接続作業 半操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作に加えてカブラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>					ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作が不確実な場合、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ接続作業 半操作（2箇所）	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																														
概要図																																		
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作が不確実な場合、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																														
作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ接続作業 半操作（2箇所）																													
	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る																													
評価結果	○	◎	○	○																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p data-bbox="465 108 665 130">大飯発電所 3 / 4号炉</p> <div data-bbox="309 145 810 651" style="border: 2px solid black; height: 317px; width: 224px;"></div> <p data-bbox="322 667 745 683">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（1 / 2）</p> <div data-bbox="497 703 1012 735" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>  <p data-bbox="353 1257 768 1273">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（2 / 2）</p>	<p data-bbox="1451 108 1592 130">泊発電所 3号炉</p> <div data-bbox="1106 156 1957 746" style="border: 2px solid black; height: 370px; width: 380px;"></div> <p data-bbox="1256 762 1794 778">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（1 / 2）</p>  <p data-bbox="1256 1241 1794 1257">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（2 / 2）</p> <div data-bbox="1379 1278 1951 1310" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p data-bbox="2033 108 2116 130">相違理由</p> <p data-bbox="2002 762 2136 810">設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

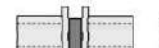


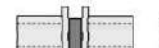

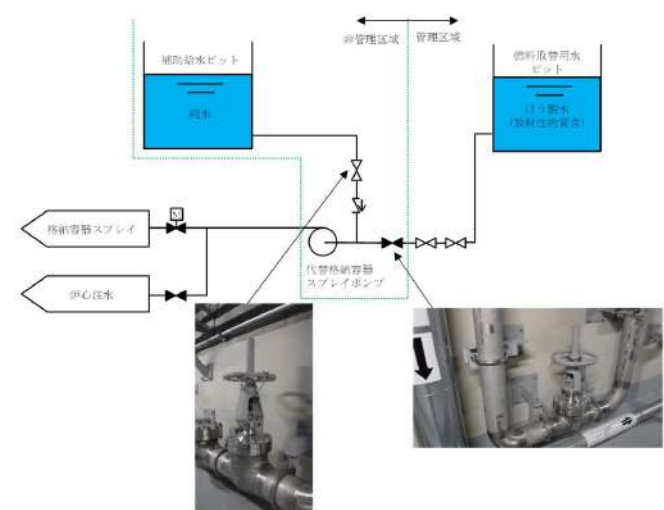
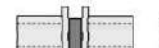

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1093 268 1946 501"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁名称内容</th> <th>頻度（回/定期）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">既設の例</td> <td rowspan="2">加圧タンク 薬液ガスライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁（スイング式）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">今回設置</td> <td rowspan="2">代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁（ゴムダイヤフラム弁）</td> <td>分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/20</td> </tr> <tr> <td>手動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度（回/定期）	既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	空気作動弁（玉形弁）		1/6	加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	逆止弁（スイング式）		1/6	今回設置	代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7	燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/20	手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度（回/定期）																																	
既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		空気作動弁（玉形弁）		1/6																																	
	加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		逆止弁（スイング式）		1/6																																	
今回設置	代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7																																	
	燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/20																																	
		手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由						
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <p>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</p> <p>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</p> <p>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止用⇒通水用)</p> <p>④ボルト取付け及びボルト締付け</p> <p>〔ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。〕</p> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div data-bbox="291 702 716 861"> <table border="1"> <tr> <th>通常時</th> <th>使用時</th> </tr> <tr> <td>ディスタンスピース (閉止用)</td> <td>ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="257 877 851 1013">  </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)			<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <p>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</p> <p>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</p> <div data-bbox="1209 430 1870 941">  </div>	<p>設備の相違(相違理由②)</p>
通常時	使用時							
ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)							
								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片ロメガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 300 828 466"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="259 483 555 620"> <p>片ロメガネレンチ(30mm)</p> </div> <div data-bbox="562 483 857 620"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p> </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="259 794 857 960"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="300 991 589 1110"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p> </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉				泊発電所 3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討						
概略図						
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。		
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれは少ない。	△ 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きくなり、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。		
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。 ボルトは8本中4本は取り外さない。	◎ 引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。		
評価	◎	×	×	×		
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>						
比較対象なし						設備の相違（相違理由②）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。 ○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。  <p>ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <p>写真はイメージ</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ピット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜き取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p>  <p>燃料取替用水補給ライン</p> <p>作業箇所</p> <p>閉止板</p> <p>フランジ</p> <p>幅目安:220mm</p> <p>測定した値は記録すること</p> <p>直尺(150mm)</p> <p>直尺を用いてフランジの上下左右の4点で幅値を測定し記録してください。</p> <p>記録した値は、ディスタンスピース取り付け時のボルト締め付けの際に参考値として使用する。</p> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p>  <p>閉止板を取外すのでボルトナットを全て緩めます。</p> <p>メガネレンチで一方を固定し、ソケットレンチでナットを緩める。</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを取り外す。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方を固定</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部より抜き出す。  <p>閉止板を先に抜き取り、その後ガスケット2枚を取り外す。</p> <p>閉止板及びガスケットの取出し</p> <p>フランジ 閉止板 フランジ</p> <p>ガスケット</p> <p>ガスケットは新品と取替えるため、閉止板とともに取り外す。(旧品は再使用しない)</p>		
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に乗せるだけで位置決め完了。(シート面を傷つけないよう注意する。)  <p>ガスケット及びディスタンスピースをフランジ間に挿入する。</p> <p>ディスタンスピース及びガスケットの取付け</p> <p>ディスタンスピース(穴空側)</p> <p>ガスケット ガスケット</p> <p>フランジ</p> <p>ガスケットでディスタンスピースを挟み込むように組み、その状態で挿入する。</p> <p>1. ガスケットは新品と取替える。(旧品を再使用しない) 2. ディスタンスピース取付けの際はガスケットのシール部を傷つけないように注意する。取り付けづらい際はシノ等でフランジ間隙を広げながら取り付けを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>④ 締付けボルト取付け及び締付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 締付けボルト取付け（8本中上部4本取付け） 片締めにならないよう対角に締め付ける。 <div data-bbox="264 248 853 695" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボルトをフランジに取付け、ガスケットの圧縮率に注意しながらナットを締める。</p>  <p>ボルトナットの取付け</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを締める。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方のナットを固定する。</p> <p>ボルト締め付け時は、手順で記録した値を参考にする。また、そのフランジ部幅がガスケット圧縮率の規定値を満たしていることを直尺で確認する。</p> <p>フランジ幅確認値 裏り側...目標22.0mm (21.5mm~22.5mm)</p> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：20分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）)</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。 泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。（伊方3号炉と同様） 以下、添付資料1.13.12～19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料 1.13.8-(3)を再掲</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.17.8m 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：55分 操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.17.8m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m（中間床）)</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 添付資料1.13.13にて比較 </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：50分 操作時間（実績）：38分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 〔原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m〕</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m、T.P.10.3m（中間床） 原子炉補助建屋T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：65分 操作時間（訓練実績等）：42分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 〔周辺補機棟 T.P. 10.3m（中間床）〕</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 作業概要 ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ピットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：1名 作業時間（想定）：30分 作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。 作業性：消防ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉				相違理由
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	消防ホース敷設箇所				
3号炉	屋内消火栓～燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	
4号炉	屋内消火栓～燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	屋内消火栓 (HC-64) ～燃料取替用水ピット	約 10m	65A	1本	
<p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> <p>⑤ 燃料取替用水ピット入口扉</p>					<p>消火ポンプ起動 (周辺補機棟 T.P. 40.3m)</p> <p>消火栓接続口 (常時接続)</p> <p>消防ホース (40A) 接続前</p> <p>消防ホース (40A) 接続後</p> <p>ろ過水タンクによる補給 (周辺補機棟 T.P. 40.3m)</p>				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1137 177 1904 300" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1391 389 1639 576" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1265 587 1758 635" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1205 660 1458 850" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 863 1458 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 660 1823 850" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1570 863 1823 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1205 932 1458 1121" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 1134 1458 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1561 925 1834 1131" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1570 1134 1823 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピットへの補給 系統構成 （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 180分 作業時間（訓練実績等） : 135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 : 可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）：115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約3本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ビットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約3本×1系統 約5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約3本×1系統 約5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 14分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div>	<p>設備の相違 (相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m, T.P.10.3m 屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。 屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水取水箇所への水中ポンプ設置（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 20分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違 (相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③ ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：25分 操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</p> <p>(6) 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p style="padding-left: 20px;">インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による1次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため高浜3 / 4号炉の添付資料 1.13.9の抜粋を掲載】</p> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊発電所3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

添付資料1.13.10

水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表

1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文	
		番号	手順名称
復水ピットへの供給に係る手順等 蒸気発生器2次側による炉心冷却のための代替手段及び	復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	1.13	本条文中で整備
	A、B 2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	1.13	本条文中で整備
	復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリード
	No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	海水を用いた復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水 ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13	本条文中で整備
	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.4	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中で整備
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.4	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中で整備
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中で整備
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	

泊発電所 3号炉

添付資料1.13.21

水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)

1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文	
	番号	手順名称
燃料取替用水ピットを水源とした燃料取替用水ピットを本線にするための炉心注水	1.1	ほう酸水注入
	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる復水用炉心の冷却
	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる復水用炉心の冷却
	1.3	加圧器補助スプレイポンプによる炉心注水
	1.4	蒸気発生器2次側による炉心注水
		B-1格納容器スプレイポンプ (BWR-CSS連絡ライン使用) による炉心注水
		代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水
		B-1充てんポンプ (自己冷却) による炉心注水
		B-1格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (BWR-CSS連絡ライン使用) による炉心注水
		高圧注入ポンプによる炉心注水
	1.5	燃料取替用水ピットからの重力注水による炉心注水
		余熱除去ポンプによる炉心注水
		高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる炉心注水
燃料取替用水ピットを水源とした炉心注水	蒸気発生器2次側による炉心注水	
	格納容器スプレイポンプによる炉心注水	
	代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水	
	B-1格納容器スプレイポンプ (自己冷却) による炉心注水	
	B-1格納容器スプレイポンプ (自己冷却) による炉心注水	
	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる炉心注水	
燃料取替用水ピットを水源とした炉心注水	1.1	燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
	1.1	燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
補助給水ピットを水源とした炉心注水	1.1	炉心出力抑制 (自動)
	1.1	炉心出力抑制 (手動)
	1.2	高圧補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
		電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1.2	設備手動操作によるタービン補助給水ポンプの起動
		代替交流電源設備による電動補助給水ポンプへの給電
	1.2	60直結給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水
		設備手動操作によるタービン補助給水ポンプの起動
	1.3	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
		代替交流電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復
1.4	60直結給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	
	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
	60直結給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	
1.5	タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
るるろ水タンクを水源とした炉心注水	1.4	電動補助給水ポンプ又はディーゼル補助給水ポンプによる炉心注水
	1.6	電動補助給水ポンプ又はディーゼル補助給水ポンプによる炉心注水
	1.6	電動補助給水ポンプ又はディーゼル補助給水ポンプによる炉心注水
	1.8	電動補助給水ポンプ又はディーゼル補助給水ポンプによる炉心注水
るるろ水タンクを水源とした炉心注水	1.11	電動補助給水ポンプ又はディーゼル補助給水ポンプによる炉心注水

記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
<p>1.13 手順名称</p> <p>燃料取替用水ピットからの注水</p>	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー			
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中整備			
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレー			
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備			
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備			
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備			
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備			
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備			
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備			
	<p>水源とした再循環タンク</p>	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転		
A格納容器スプレーポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転		1.4	A格納容器スプレーポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転			
B高圧注入ポンプ（海水冷却）、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転		1.4	B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転			
A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転		1.4	A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転			
<p>使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等</p>		No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（船内消火栓） No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（船外消火栓）			
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水			
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水			
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水			
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11	海水から使用済燃料ピットへの注水			
	<p>1.13 手順名称</p> <p>水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（2/5）</p>	代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水		
代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水			
代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水		1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水			
代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水			
代替給水ピットを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水			
代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却		1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー			
代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の除熱		1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー			
代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水		1.8	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器下部への注水			
代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー		1.11	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水			
代替給水ピットを水源とした大気への放射性物質の拡散抑制		1.11	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制			
<p>原水槽を水源とした対応手順</p>		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水		
		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水		
		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水		
	原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー			
	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー			
	原水槽を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉格納容器下部への注水			
	原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへのスプレー			
	原水槽を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制			

記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			泊発電所 3号炉			相違理由	
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文		
		番号	番号	番号	番号		
使用時の燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー及び放水に係る手順等	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー	1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレー	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違	
		1.12	送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
		1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
炉心の著しい損傷及び格納容器への放水に係る手順等	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	水親とし、脱気タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.2		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				雨水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2		雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
				雨水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.2		雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
				雨水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	
				雨水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.2	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
				雨水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	
				雨水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.2	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
				雨水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	
				雨水を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
				雨水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	
				雨水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.6	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
雨水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却					
雨水を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水					
雨水を水源とした使用済燃料ピットへの注水／スプレー	1.11	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水					
雨水を水源とした原子炉補機冷却水ポンプ及び原子炉補機冷却水ポンプによる補機冷却水確保	1.5	雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレー					
雨水を水源とした原子炉補機冷却水ポンプ及び原子炉補機冷却水ポンプによる補機冷却水確保	1.5	原子炉補機冷却水ポンプ及び原子炉補機冷却水ポンプによる補機冷却水確保					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（4/5）																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1.13 手順名称</th> <th colspan="2">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th></th> <th>番号</th> <th>番号</th> <th>手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td rowspan="2">1.7</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車によるA-種専用空圧縮機への補給冷却水（海水）取水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.5</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補給冷却水（海水）取水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td rowspan="2">1.11</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイズルによる大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水塔による大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水を水取とした大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td rowspan="2">1.12</td> <td>可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水を水取とした航空機燃料火災への泡消火</td> <td rowspan="2">1.12</td> <td>可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水取ほうし酸タンクを水取とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入</td> <td>1.1</td> <td>ほう酸水注入</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器再循環ポンプを水取とした再循環運転</td> <td rowspan="2">1.4</td> <td>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.6</td> <td>格納容器スプレイズルによる原子炉格納容器内へのスプレイズル</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環ポンプを水取とした代替再循環運転</td> <td rowspan="2">1.4</td> <td>日-格納容器スプレイズルポンプ（DBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビッドへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td>電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td>1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td>2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給</td> <td rowspan="2">1.13</td> <td>本条文中整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本条文中整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水補を補助給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給</td> <td rowspan="2">1.13</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビッドへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給</td> <td rowspan="2">1.13</td> <td>本条文中整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本条文中整備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文			番号	番号	手順名称	水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却		可搬型大型送水ポンプ車によるA-種専用空圧縮機への補給冷却水（海水）取水		1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補給冷却水（海水）取水		補給冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却		水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイズルによる大気への放射性物質の拡散抑制		可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水塔による大気への放射性物質の拡散抑制		水を水取とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火		可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火		水を水取とした航空機燃料火災への泡消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火		可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火		水取ほうし酸タンクを水取とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入		格納容器再循環ポンプを水取とした再循環運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再循環運転		高圧注入ポンプによる高圧再循環運転		1.6	格納容器スプレイズルによる原子炉格納容器内へのスプレイズル		格納容器再循環ポンプを水取とした代替再循環運転	1.4	日-格納容器スプレイズルポンプ（DBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転		可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転		可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備		1.13	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給		1.13	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給		1.13	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給		1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備		本条文中整備		水補を補助給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビッドへの補給		2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給		2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備		本条文中整備		<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>・各手段構成の相違による相違</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																																																							
	番号	番号	手順名称																																																																																						
水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																																																							
		可搬型大型送水ポンプ車によるA-種専用空圧縮機への補給冷却水（海水）取水																																																																																							
	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補給冷却水（海水）取水																																																																																							
		補給冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却																																																																																							
水を水取とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイズルによる大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																							
		可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水塔による大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																							
水を水取とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火																																																																																							
		可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火																																																																																							
水を水取とした航空機燃料火災への泡消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火																																																																																							
		可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水塔及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火																																																																																							
水取ほうし酸タンクを水取とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入																																																																																							
格納容器再循環ポンプを水取とした再循環運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再循環運転																																																																																							
		高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																																																																							
	1.6	格納容器スプレイズルによる原子炉格納容器内へのスプレイズル																																																																																							
格納容器再循環ポンプを水取とした代替再循環運転	1.4	日-格納容器スプレイズルポンプ（DBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転																																																																																							
		可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転																																																																																							
可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備																																																																																							
	1.13	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給																																																																																							
	1.13	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給																																																																																							
	1.13	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給																																																																																							
1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備																																																																																							
		本条文中整備																																																																																							
水補を補助給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビッドへの補給																																																																																							
		2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給																																																																																							
2次系補給水ポンプによる補助給水ビッドへの補給	1.13	本条文中整備																																																																																							
		本条文中整備																																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（5/5）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1095 248 1543 272">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1543 248 1946 272">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th data-bbox="1095 272 1184 288"></th> <th data-bbox="1184 272 1543 288"></th> <th data-bbox="1543 272 1592 288">番号</th> <th data-bbox="1592 272 1946 288">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1095 288 1184 408">水の補給水槽への対応手順</td> <td data-bbox="1184 288 1543 408">2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td data-bbox="1543 288 1592 408">1.13</td> <td data-bbox="1592 288 1946 408">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 408 1184 555">燃料補助給替用水ビレットへの切替</td> <td data-bbox="1184 408 1543 480">燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td data-bbox="1543 408 1592 480">1.13</td> <td data-bbox="1592 408 1946 480">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 480 1184 555"></td> <td data-bbox="1184 480 1543 555">燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）</td> <td data-bbox="1543 480 1592 555">1.13</td> <td data-bbox="1592 480 1946 555">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 555 1184 715">1次系純水タンクへの切替</td> <td data-bbox="1184 555 1543 715">燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替</td> <td data-bbox="1543 555 1592 715">1.13</td> <td data-bbox="1592 555 1946 715">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 715 1184 874">電動補助給水ポンプの切替</td> <td data-bbox="1184 715 1543 874">電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替</td> <td data-bbox="1543 715 1592 874">1.13</td> <td data-bbox="1592 715 1946 874">本文文で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	水の補給水槽への対応手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備	燃料補助給替用水ビレットへの切替	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備		燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）	1.13	本文文で整備	1次系純水タンクへの切替	燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替	1.13	本文文で整備	電動補助給水ポンプの切替	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	1.13	本文文で整備	<p>記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																												
		番号	手順名称																											
水の補給水槽への対応手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備																											
燃料補助給替用水ビレットへの切替	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備																											
	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）	1.13	本文文で整備																											
1次系純水タンクへの切替	燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替	1.13	本文文で整備																											
電動補助給水ポンプの切替	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	1.13	本文文で整備																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉					相違理由		
添付資料 1.13.11-(1)					添付資料 1.13.22-(1)							
各タンク等配置図及び仕様					各タンク等配置図及び仕様							
<p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、原子炉容器への注水、原子炉格納容器内への注水・スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違 記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>設備の相違（相違理由④⑤）</p>		
タンク等名称	容量	分類	用途		タンク等名称	容量	分類	用途				
			SA時	通常時				SA時	通常時			
1 No. 2 淡水タンク※	8,000m ³	淡水	・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給	1 A-1 蒸気タンク (3号炉)	約1,500m ³	淡水	・原水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
2 No. 3 淡水タンク※		2次系純水	・蒸気発生器注水 ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給	2 B-1 蒸気タンク (3号炉)	約1,500m ³	淡水	・原水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
3 A 2次系純水タンク	8,500m ³	2次系純水	・No. 3 淡水タンク補給	・2次系補給水供給	3 A-1 蒸気タンク (1、2号炉共用)	約1,500m ³	淡水	・原水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
4 B 2次系純水タンク							4 B-1 蒸気タンク (1、2号炉共用)	約1,500m ³	淡水		・原水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給
5 3号炉 脱気器タンク	約600m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水	5 A-2 2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水	・原水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
6 4号炉 脱気器タンク							6 B-2 2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水		・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・原水補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給
7 A 1次系純水タンク	328m ³	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給	7 脱気器タンク	約100m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水			
8 B 1次系純水タンク							8 1次系純水タンク	約300m ³	1次系純水		・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
9 3号炉 Aほう酸タンク	約100m ³	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	9 A-1ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給			
10 3号炉 Bほう酸タンク							10 B-1ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水		・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
11 4号炉 Aほう酸タンク							11 燃料取替用水ピット	約2,000m ³	ほう酸水		・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給
12 4号炉 Bほう酸タンク							12 補助給水ピット	約600m ³	2次系純水		・蒸気発生器注水 ・格納容器下部注水 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー	・蒸気発生器注水
13 3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m ³	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	13 A-1原水槽	約5,000m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給			
14 4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m ³					14 B-1原水槽	約5000m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給		
15 3号炉 復水ピット	約1,200m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水	15 代替給水ピット	約170m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	—			

※1号炉および2号炉建設時にNo.1～3 淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2、3 淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規基準下の溢水対策として現在の運用としている。





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 178 860 734" style="border: 2px solid black; height: 348px; width: 306px;"></div> <div data-bbox="929 603 952 746" style="text-align: center;">添付資料 1.13.11-(2)</div> <div data-bbox="322 823 703 855" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 170px;">各タンク等配置図及び仕様（2/4）</div> <div data-bbox="114 855 974 1286" style="border: 2px solid black; height: 270px; width: 384px;"></div> <div data-bbox="129 1294 562 1315" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="1003 1262 1025 1406" style="text-align: center;">添付資料 1.13.11-(3)</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 165" style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(2)</div> <div data-bbox="1146 217 1877 695" style="border: 2px solid black; height: 300px; width: 326px;"></div> <div data-bbox="1146 718 1877 1321" style="border: 2px solid black; height: 378px; width: 326px;"></div> <div data-bbox="1397 1390 1966 1417" style="border: 2px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<div data-bbox="2002 405 2145 456" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（3 / 4）</p>  <p style="font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> 	
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（4 / 4）</p>  <p style="font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p>  <p style="text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉 添付資料 1.13.12-(1)	泊発電所 3号炉 添付資料 1.13.23-(1)	相違理由																																																													
<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレーに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p>	<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び原子炉容器への注水、原子炉格納容器内へのスプレーに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。 原水槽、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p>	<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違</p> <p>設備の相違 ・大飯3/4号炉は、No. 2淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。 ・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p>																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 2淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No. 2淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="4">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>2次系統水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">4.13-8-(1) 4.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">4.13-9-(1) 4.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">1.13-16</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクを水源とした電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>ワンタッチ式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次系統水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	4.13-8-(1) 4.13-18-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	4.13-9-(1) 4.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-16	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式	
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																												
No. 2淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																												
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																												
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																												
No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																												
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																												
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																													
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																													
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																													
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次系統水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	4.13-8-(1) 4.13-18-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																													
代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	4.13-9-(1) 4.13-19-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																													
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-16																																																												
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続																																																													
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																													
ろ過水タンクを水源とした電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</div> <div data-bbox="1093 263 1765 1273" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1809 478 1839 1042" style="text-align: center;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取扱替用水ピットへの補給(1/2) </div> <div data-bbox="1877 284 1906 868" style="text-align: center;"> <div data-bbox="1877 778 1906 868" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 751 2136 799" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

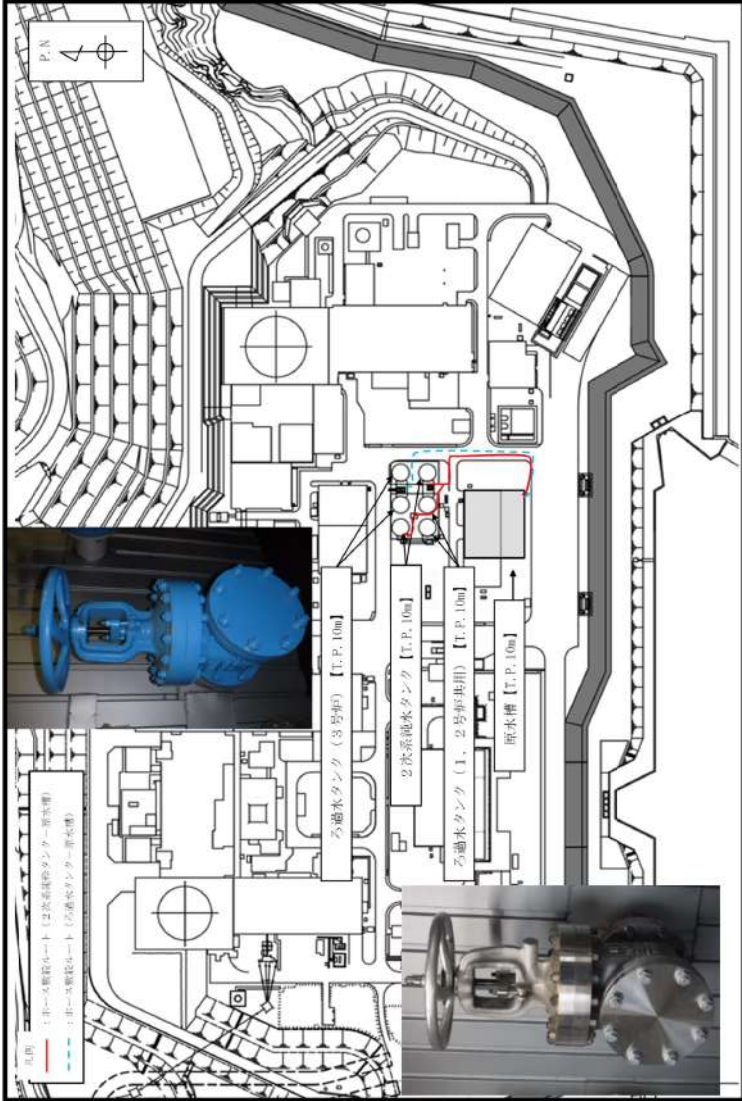
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 162" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</div> <div data-bbox="1193 300 1718 1385" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 20px auto;"></div> <div data-bbox="1749 512 1776 1070" style="text-align: center;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) </div> <div data-bbox="1816 323 1843 807" style="text-align: center;"> <div data-bbox="1816 815 1843 900" style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 751 2136 799" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="430 762 685 820" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 165" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</div> 	<div data-bbox="1877 580 1906 1110" style="text-align: center;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</div> <div data-bbox="2002 756 2141 804" style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 162" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</div> <div data-bbox="1055 284 1794 1401" style="border: 2px solid black; height: 700px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1832 491 1868 1197" style="text-align: center;"> 代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2) </div> <div data-bbox="1910 360 1939 1002" style="text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 767 2136 815" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1975 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</div> <div data-bbox="1077 280 1816 1370" style="border: 2px solid black; height: 683px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1848 344 1928 1126" style="text-align: center; font-size: small;"> 代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2002 767 2136 815" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; text-align: center;"> <p>可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給</p> </div> <div style="position: absolute; right: 5px; top: 50%; transform: translateY(-50%); width: 20px; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); padding: 10px;"> 可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1 / 2) </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); padding: 10px; border: 1px solid black;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.23-(7)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); padding: 10px;"> 海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給 (1/3) </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); padding: 10px; border: 1px solid black;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div> </div>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(4)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2/2）</p> <div style="border: 1px solid black; width: 15%; margin: 20px auto; padding: 5px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(8)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 15%; margin: 20px auto; padding: 5px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

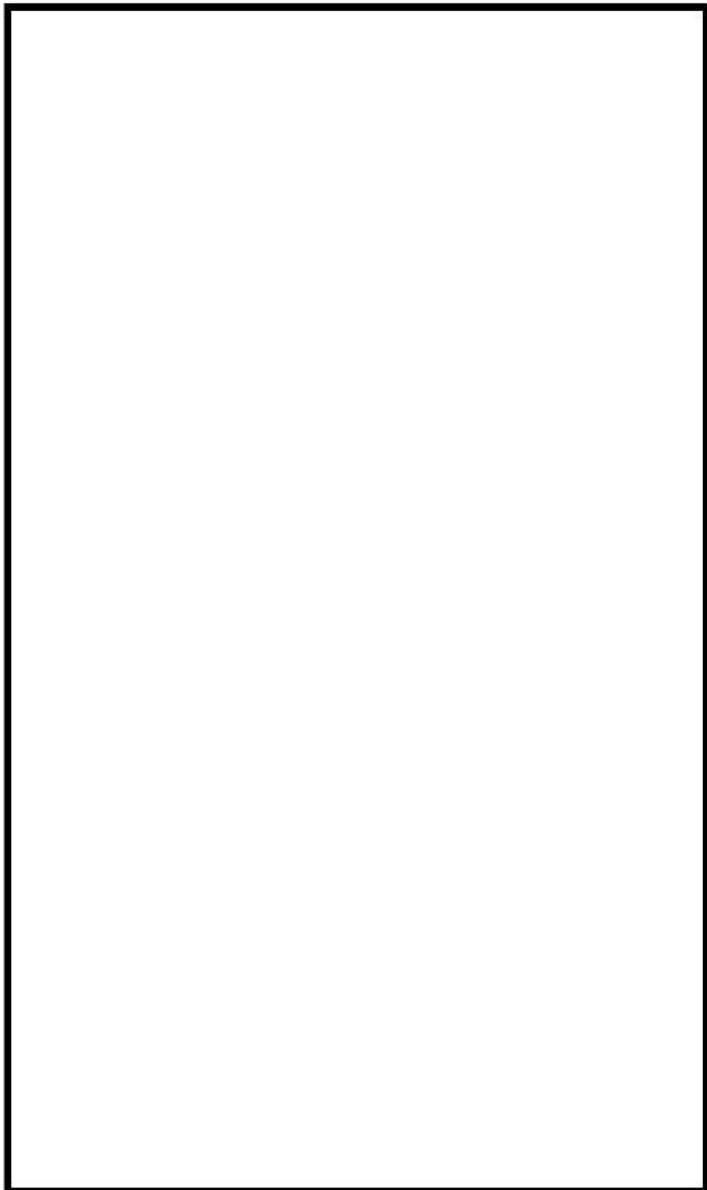
大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 162" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(9)</div> <div data-bbox="1066 244 1816 1361" style="border: 2px solid black; height: 700px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1845 443 1877 1053" style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(3/3)</div> <div data-bbox="1899 261 1928 767" style="text-align: center;"> <div data-bbox="1899 791 1928 879" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 55px; display: inline-block;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

添付資料 1.13.12-(5)

可搬型ホース接続口配置図
4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（1/2）



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

比較対象なし

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

添付資料 1.13.12-(6)

可搬型ホース接続口配置図
4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2/2）

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

比較対象なし

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(7)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; height: 100%; display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">可搬型ホース接続口配置図</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 90%; margin: 10px auto; padding: 5px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(10)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; height: 100%; display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> </div> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.13</p> <p style="text-align: center;">復水ピットへの海水補給手段の多重性について</p> <p>復水ピットへの海水補給については、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。具体的な補給手段について、以下に記載する。</p> <p>1. 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの復水ピット補給 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインに可搬型ホースを接続することで、復水ピット入口扉にアクセスすることなく復水ピットへの補給を実施する。 なお、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインについては、設計基準地震動により機能を喪失しない設計とする。</p> <div data-bbox="253 555 860 735" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 作業時間について 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの補給作業時間については、復水ピット入口扉よりアクセスし補給する場合と同じ約3.4時間と想定しており、有効性評価における復水ピットを水源とするタービン動補給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の復水ピット枯渇までの約18.7時間までに補給が可能であり、注水を継続することができる。 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所（3号炉の例）を「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について」に示す。</p>	<div data-bbox="1384 762 1637 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、海水を復水ピットに補給し、復水ピットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ピットに補給する手順であるため、復水ピットへの海水補給について多重性を考慮している。 泊3号炉は、燃料取替用水ピットに補助給水ピットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について（3号炉の例）</p> <div data-bbox="136 209 983 679" style="border: 2px solid black; height: 295px; width: 378px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="412 683 978 715" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="1386 762 1637 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。 ・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

泊発電所 3号炉

添付資料1.13.24

相違理由

大飯 3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料 1.13.4 を掲載】

添付資料 1.13.4

解釈一覧

操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m ³ 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m ³ 以上となった場合

解釈一覧

1. 判断基準の解釈一覧(1/2)

手順	判断基準記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料取替用ボットによる燃料取替用ボットへの補給 (2) 可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給	1. 原水罐を本拠とした可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給 2. 原水罐を本拠とした可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給（原子炉格納容器内のスプレイ中の場合）
	(3) 代替給水ピットを本拠とした可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給	1. 代替給水ピットを本拠とした可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給（原子炉格納容器内のスプレイ中の場合）
	(4) 代替給水ピットを本拠とした可搬型大貯水ポンプ車による燃料取替用ボットへの補給	1. 代替給水ピットの本拠が確認 2. 代替給水ピットの本拠による確認
	(5) 電動駆動式ポンプ又はブローヤによる電動駆動式ポンプによる燃料取替用ボットへの補給	1. 5番水タンクを本拠とした電動駆動式ポンプ又はブローヤによる燃料取替用ボットへの補給（原子炉格納容器内のスプレイ中の場合）
	(6) 5番水タンクを本拠とした電動駆動式ポンプ又はブローヤによる燃料取替用ボットへの補給	1. 5番水タンクの本拠が確認 2. 5番水タンク水位が1,100mm以上
	(7) 1次蒸餾水タンクを本拠とした1次蒸餾水ポンプによる燃料取替用ボットへの補給	1. 1次蒸餾水タンクの本拠が確認 2. 1次蒸餾水タンク水位が90%以上
	(8) 1次蒸餾水タンクを本拠とした1次蒸餾水ポンプによる燃料取替用ボットへの補給	1. 1次蒸餾水タンクの本拠が確認 2. 1次蒸餾水タンク水位が90%以上
	(9) 1次蒸餾水タンクを本拠とした1次蒸餾水ポンプによる燃料取替用ボットへの補給	1. 1次蒸餾水タンクの本拠が確認 2. 1次蒸餾水タンク水位が90%以上
	(10) 1次蒸餾水タンクを本拠とした1次蒸餾水ポンプによる燃料取替用ボットへの補給	1. 1次蒸餾水タンクの本拠が確認 2. 1次蒸餾水タンク水位が90%以上

記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違
 ・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。
 ・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

大飯 3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料 1.13.4 を掲載】

添付資料 1.13.4

解釈一覧

操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m ³ 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m ³ 以上となった場合

1. 判断基準の解釈一覧(2/2)

手順	判断基準記載内容	解釈	
1.13.2.1 水源へ水を供給するための対応手順	(1) 燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順	(a) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。	二次系復水ポンプ等の水圧が確保 二次系復水ポンプ水圧が9.0t以上
	(2) 燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順	(a) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 二次系復水ポンプが停止した場合は、燃料貯蔵タンクから二次系復水ポンプへ水を供給するための対応手順を参照する。	二次系復水ポンプ等の水圧が確保 二次系復水ポンプ水圧が9.0t以上
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上
	(2) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上
1.13.2.3 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上
	(2) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上
1.13.2.4 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上
	(2) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (b) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。 (c) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順を参照する。	復水貯蔵タンク水位が30%以上 復水貯蔵タンク水位が5%以上

記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違
 ・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。
 ・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
<div data-bbox="293 507 837 560" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 20px;">大飯 3 / 4号炉比較対象なし</div> <div data-bbox="360 826 754 852" style="text-align: center;">【比較のため女川の添付資料 1.13.4 を掲載】</div> <div data-bbox="448 874 667 900" style="text-align: center;">弁番号及び弁名称一覧</div> <table border="1" data-bbox="168 917 952 1029" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">弁番号</th> <th style="width: 55%;">弁名称</th> <th style="width: 30%;">操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P13-F041</td> <td>復水貯蔵タンク外部注水入口弁</td> <td>CST 連絡トレンチ/バルブ室</td> </tr> <tr> <td>P70-D001-1</td> <td>復水貯蔵タンク補給弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-300</td> <td>ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-301</td> <td>ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室	P70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外	FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	<div data-bbox="1400 188 1624 213" style="text-align: center;">2. 弁番号及び弁名称一覧</div> <table border="1" data-bbox="1064 231 1960 1420" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">弁番号</th> <th style="width: 55%;">弁名称</th> <th style="width: 30%;">操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3V-RF-102</td><td>ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 40.3m</td></tr> <tr><td>3V-RF-100</td><td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 40.3m</td></tr> <tr><td>3V-RF-101</td><td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 40.3m</td></tr> <tr><td>3V-FW-664</td><td>R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-FW-663</td><td>補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-104A</td><td>A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-104B</td><td>B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-112</td><td>使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-114A</td><td>A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-114B</td><td>B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-127A</td><td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-SF-127B</td><td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-CS-050</td><td>脱塩塔補給水止め弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-RC-073</td><td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-RC-097</td><td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-WL-031</td><td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-SF-059A</td><td>A-使用済燃料ビット補給弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3V-SF-059B</td><td>B-使用済燃料ビット補給弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3V-SF-047</td><td>使用済燃料ビット脱塩水補給弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3V-CS-548</td><td>ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3V-CS-551</td><td>ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3FCV-223A</td><td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3FCV-220A</td><td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-FW-661</td><td>補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-FW-662</td><td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-FW-630</td><td>補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁</td><td>周辺補機棟T. P. 24.8m</td></tr> <tr><td>3V-RW-131A</td><td>A-ろ過水タンクブロー弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>3V-RW-131B</td><td>B-ろ過水タンクブロー弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-MW-905A</td><td>A-ろ過水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-MW-905B</td><td>B-ろ過水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-MW-952A</td><td>A-2次系純水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-MW-952B</td><td>B-2次系純水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>3V-RH-100</td><td>B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td><td>原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）</td></tr> <tr><td>3V-CP-147</td><td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m</td></tr> <tr><td>3V-CP-132</td><td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-CP-135</td><td>代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁</td><td>周辺補機棟T. P. 17.8m</td></tr> <tr><td>3V-CP-144</td><td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td><td>原子炉補助建屋T. P. 10.3m</td></tr> <tr><td>3V-CP-141</td><td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m</td></tr> <tr><td>3V-CP-013B</td><td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3FCV-220B</td><td>体積制御タンク出口側補給弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3LCV-121D</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3LCV-121E</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-FW-608B</td><td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m</td></tr> <tr><td>3V-FW-608A</td><td>A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td><td>周辺補機棟T. P. 10.3m</td></tr> <tr><td>3V-FW-601</td><td>補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁</td><td>周辺補機棟T. P. 24.8m</td></tr> <tr><td>3V-FW-604</td><td>補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td><td>周辺補機棟T. P. 24.8m</td></tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m	3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m	3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m	3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m	3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室	3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室	3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）	3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）	3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）	3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）	3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）	3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室	3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室	3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T. P. 24.8m	3V-RW-131A	A-ろ過水タンクブロー弁	屋外	3V-RW-131B	B-ろ過水タンクブロー弁	屋外	V-MW-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-MW-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-MW-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外	V-MW-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外	3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）	3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	周辺補機棟T. P. 10.3m	3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T. P. 17.8m	3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m	3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T. P. 10.3m	3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室	3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室	3LCV-121D	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室	3LCV-121E	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室	3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T. P. 10.3m	3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T. P. 10.3m	3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T. P. 24.8m	3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T. P. 24.8m	<p>記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違による 対応手段の相違</p>
弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																												
P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室																																																																																																																																																												
P70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外																																																																																																																																																												
FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																												
FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																												
弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																												
3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T. P. 24.8m																																																																																																																																																												
3V-RW-131A	A-ろ過水タンクブロー弁	屋外																																																																																																																																																												
3V-RW-131B	B-ろ過水タンクブロー弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	原子炉補助建屋T. P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	周辺補機棟T. P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T. P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T. P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T. P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3LCV-121D	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室																																																																																																																																																												
3LCV-121E	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T. P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T. P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T. P. 24.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T. P. 24.8m																																																																																																																																																												

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SAT114-9 r.10.0
提出年月日	令和5年7月31日

泊発電所3号炉

「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の
重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を
実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」
に係る適合状況説明資料
比較表

1.14 電源の確保に関する手順等

令和5年7月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
比較結果等を取りまとめた資料			
1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)			
1-1) 設計方針・運用・体制等を変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>c. 当社が自主的に変更したもの : 下記2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤変更に伴うアクセスルート見直しによる燃料補給のアクセスルート図の変更。【例：比較表 p 1.14-170】 ・重大事故等対策の有効性評価「想定事故1」及び「想定事故2」における発電所内で確保すべき燃料の評価結果により、発電所内で保有する燃料に更なる余裕を確保するよう、既存のディーゼル発電機燃料油貯油槽に加え新たに燃料タンク（SA）を設置し、50kL程度の燃料を追加で確保する。 			
1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : 下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料構成は、炉型が同じである大飯3/4号炉の対応手段及び操作手順の参照を基本とした上で、配管・弁の流路等を含めた設備の選定方針、文章構成や表現については、女川2号炉の審査実績を反映している。また、各図面においても、女川2号炉の審査実績を踏まえた資料構成や記載の充実化等の見直しを行っている。 <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの : なし</p>			
1-3) バックフィット関連事項			
なし			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 大飯3/4号炉まとめ資料との比較結果の概要</p> <p>2-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>			
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
①	<p>【外部電源から非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・77kV送電線による代替電源（交流）からの給電（第2優先） 	<p>【外部電源から非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後備変圧器によるメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電（第2優先） 	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、500kV送電系以外に外部電源である77kV送電系からNo.1予備変圧器を経由して非常用高圧母線へ給電する手段があり、他号炉や外部電源の状況確認に時間を要するものの中央制御室にて遮断器を投入することで、容易に給電することが可能なことから、空冷式非常用発電装置が使用できない場合の第2優先として使用する。 ・泊3号炉は、275kV送電系以外に外部電源である66kV送電系から受電可能な後備変圧器を経由して非常用高圧母線へ給電する手段があり、常設設備による対応手段のため短時間で給電が可能であることから、代替非常用発電機が使用できない場合の第2優先として使用する。 ・設備は相違するが、主系統以外の外部電源から給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。
②	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第3優先） 	<p>—</p> <p>（大飯3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、500kV送電系から受電するNo.2予備変圧器1次側の遮断器を切り離し、3～4号炉間のNo.2予備変圧器2次側の遮断器を各々接続することにより他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第2優先と比較して長いことから第3優先として使用する。 ・泊3号炉は、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間電力融通による代替電源（交流）を給電する対応手段として、開閉所設備を使用した手段と号炉間連絡ケーブルを使用した手段を整備している。（別の対応手段にて比較するためここでは比較していない。） ・設備は相違するが、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間融通により給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。
③	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第4優先） 	<p>【号炉間電力融通設備により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1号又は2号炉～3号炉）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開閉所設備を使用したメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電（第5優先） 	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、77kV送電系から受電するNo.1予備変圧器1次側の遮断器を切り離し、3～4号炉間のNo.1予備変圧器2次側の遮断器を各々接続することにより他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第3優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第4優先として使用する。 ・泊3号炉は、1号又は2号炉のディーゼル発電機から開閉所設備を経由して3号炉の非常用高圧母線へ給電する手段があり、受電準備のため屋外 T.P.85mにある開閉所まで移動し遮断器操作等を行う必要があり給電までに要する準備時間が第4優先（次項）と比較して長いことから第5優先で使用。 ・設備は相違するが、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間電力融通により給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2-1) 設備の相違 （以下については、相違理由欄に No.を記載する）				
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
④	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第5優先） 	<p>【号炉間電力融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1/2号～3号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系及びメタクラB系受電（第4優先） 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）大飯】（例：比較表 p. 1.14-10）</p> <p>【設計方針の相違（自主対策設備）泊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯 3/4号炉は、供給元と供給先の非常用高圧母線に接続される号機間融通用高圧ケーブル接続盤へ号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を接続し、他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第4優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第5優先として使用する。また、恒設ケーブルが使用できない場合の予備ケーブルを配備しており、電路への接続作業等の準備時間に時間を要することから第7優先で使用。 大飯 3/4号炉は、複数ユニットとしての申請であり、3号炉と4号炉間にて号機間融通を行う場合の供給元のディーゼル発電機、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）及び号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による給電を重大事故等対処設備による対応手段として整備している。 泊 3号炉では、代替給電用接続盤へ号炉間連絡ケーブルを接続し、1号又は2号炉のディーゼル発電機から3号炉の非常用高圧母線へ給電する手段があり、第5優先である開閉所設備を使用した号炉間電力融通による代替電源（交流）からの給電に比べて準備に要する時間が短いことから第4優先としている。また、号炉間連絡ケーブル及び開閉所設備が使用できない場合の給電手段として、号炉間連絡予備ケーブルを配備しており、電路への接続作業等の準備時間に時間を要することから第6優先で使用。 泊 3号炉は、単独ユニットとしての審査となるため、号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルのように1号又は2号炉の電源に期待する設備は自主対策設備としており、設計方針は伊方3号炉と同様。 	
⑤	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1/2号～3/4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 号機間電力融通恒設ケーブル（1,2号～3,4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第6優先） 	<p>— （大飯 3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（多様性拡張設備）】（例：比較表 p. 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯 3/4号炉は、1/2号炉と3/4号炉の非常用高圧母線に接続される号機間融通用高圧ケーブル接続盤へ号機間電力融通恒設ケーブル（1,2号～3,4号）を接続し、1号炉又は2号炉のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第5優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第6優先として使用する。 泊 3号炉は、単独ユニットとしての審査となるため、号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルのように1号又は2号炉の電源に期待する設備は自主対策設備としており、設計方針は伊方3号炉と同様。 	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>2-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑥	<p>【可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源車による代替電源（交流）からの給電（第7優先） 	<p>【可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電（第3優先） 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的に長いことから、第7優先で使用する。 泊3号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等時の初期の負荷を賄えるため、1号又は2号炉ディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊3号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第3優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、第1優先の代替非常用発電機が使用できないと判断した時点で準備作業を開始する。なお、第2優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。 優先順位は異なるが、重大事故等対処設備である可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する機能に相違なし。 				
⑦	<p>【常設の蓄電池により代替電源（直流）を給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池（安全防護系用） 	<p>【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池（非常用） 後備蓄電池 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-13）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、蓄電池（安全防護系用）のみで全交流動力電源喪失後24時間以内に直流電源による給電が可能であり、蓄電池（安全防護系用）は「代替電源（直流）」に位置づけている。 泊3号炉は、蓄電池（非常用）と後備蓄電池を併せて24時間以内に直流母線へ給電する設備設計であり、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。また、女川審査実績を反映し、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池を「所内常設蓄電式直流電源設備」と位置づけている。 				
⑧	<p>【可搬型直流電源設備により代替電源（直流）を給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替電源（交流）による給電に使用する設備 可搬式整流器 	<p>【可搬型代替直流電源設備による給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型直流電源用発電機 可搬型直流変換器 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-15）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、代替電源（交流）からの給電手段により非常用高圧母線へ給電し、可搬式整流器を介して直流母線へ給電が可能。 泊3号炉では、非常用高圧母線を経由することなく、直流母線へ直接給電可能な直流電源専用の交流発電機である可搬型直流電源用発電機を配備しており、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。 泊3号炉は、所内常設蓄電式直流電源設備である後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合には、可搬型代替直流電源設備専用の発電機及び電路を使用する可搬型代替直流電源設備により直流電源を供給する。（伊方3号炉と同様） 				

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>2-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑨	<p>【空冷式非常用発電装置等へ補給する燃料を備蓄する設備及び燃料の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク 空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機の燃料は重油 	<p>【代替非常用発電機等へ補給する燃料を備蓄する設備及び燃料の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル発電機燃料油貯油槽 燃料タンク (SA) 代替非常用発電機、可搬型代替電源車及びディーゼル発電機の燃料は軽油 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14, 23）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、燃料補給に用いる設備として燃料油貯蔵タンク及び重油タンクにより、有効性評価における7日間の重大事故等対応が可能な備蓄量（重油）を確保している。 大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機の燃料に重油を使用する。また、設備によって使用する燃料が重油と軽油で異なるため、文章中に「燃料（重油）」又は「燃料（軽油）」と記載し、燃料補給を行う設備ごとに燃料の種類を明確にしている。 泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）にて7日間の重大事故等対応が可能な備蓄量（軽油）を確保する方針である。必要な燃料を軽油のみで確保する方針は女川2号炉と同様。 泊3号炉は使用する燃料が軽油のみであることから「1.14.2.4 燃料の補給手順」の冒頭に「燃料は軽油」と記載し、以降の記載は省略している。 				
⑩	<p>— （泊3号炉との比較対象なし）</p>	<p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げに使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-19）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉はタンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段を整備して、燃料補給するための複数のルートを確認している。 泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽からタンクローリーへ燃料を汲み上げる手段として、タンクローリー付きの給油ポンプにより汲み上げる手段と燃料油移送ポンプを使用して汲み上げる手段の2つの手段を整備することにより、代替非常用発電機等へ燃料補給するための複数ルートでの給油手段を確認している（詳細は、技術的能力1.14まとめ資料「添付1.14.12」参照）。可搬型タンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段に加えて、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により、複数ルートでの給油手段を確認しているのは美浜3号炉と同様。 				
⑪	<p>【1号又は2号炉からの号機間融通時の条件】</p> <p>「号機間電力融通」については、1号炉又は2号炉の安全性を損ねる恐れがあるため、「1号炉又は2号炉の号機間融通は以下の状態」である場合に限定している。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル発電機が2台健全 供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全 	<p>【1号又は2号炉からの号機間電力融通時の条件】</p> <p>「号機間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号機間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。」</p>	<p>【設計方針の相違（多様性拡張設備）】（例：比較表 p 1.14-12, 13）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号機間融通において、供給元のプラント運転状態に応じて、号機間融通を行う条件（要求する健全ディーゼル発電機の台数）が異なる。（1台又は2台） 泊3号炉は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号機間電力融通において、ディーゼル発電機は2台が健全である場合に限定しており、伊方3号炉と同様。 設計方針は相違するが、自主対策設備による対応手段の相違。 				

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2-1) 設備の相違 （以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
⑫	<p>【代替所内電気設備から恒設代替低圧注水ポンプへの給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置（又は電源車） 代替所内電気設備変圧器 	<p>【代替所内電気設備から代替格納容器スプレイポンプへの給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替非常用発電機（又は可搬型代替電源車） 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉の代替所内電気設備は、代替所内電気設備変圧器を経由し恒設代替低圧注水ポンプに給電する。 泊3号炉は、代替所内電気設備変圧器とは別に代替格納容器スプレイポンプ専用の変圧器を設置し、代替格納容器スプレイポンプへ給電する。代替注水で使用するポンプについて専用の変圧器を設置しているプラントは泊以外にないが、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤と代替所内電気設備変圧器盤に機能的な相違はない。 設備構成は相違するが、代替炉心注水等を行う常設重大事故等対処設備へ給電する機能に相違なし。 	
⑬	<p>【代替所内電気設備から非常用直流母線への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置（又は電源車） 代替所内電気設備変圧器 代替所内電気設備分電盤 可搬式整流器 	<p>—</p> <p>（大飯3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、代替所内電気設備分電盤から可搬式整流器を経由して、非常用直流母線への給電が可能であることから、交流電源から直流電源への変換に用いる可搬式整流器を整備している。 泊3号炉の代替所内電気設備は、非常用直流母線への給電はできないが、重大事故等対処設備である可搬型直流電源用発電機を用いた手段により、非常用直流母線への給電が可能であり、設計方針は川内1/2号炉及び伊方3号炉と同様。 	
⑭	<p>【充電器による直流電源の給電に伴う蓄電池室の換気手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室にて蓄電池室排気ファンを起動する。 	<p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>【充電器による直流電源の給電に伴う安全系蓄電池室の換気手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。 	<p>【設計方針の相違】（例：比較表p 1.14-65）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉は、中央制御室にて蓄電池室排気ファンの起動が可能。 泊3号炉は、現場にて蓄電池室排気ファンを運転するためのダンパの開処置が必要であり、ダンパの開処置終了後、現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。（川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉と同様。） 	
⑮	<p>【代替所内電気設備への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替所内電気設備への給電に使用する「電源車」は多様性拡張設備 	<p>【代替所内電気設備への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替所内電気設備への給電に使用する「可搬型代替電源車」は重大事故等対処設備 	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯3/4号炉の代替所内電気設備への給電に使用する電源車は、「空冷式非常用発電装置が使用できない場合に、有効性評価「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」においてアニュラス空気浄化系を約60分以内に準備する想定としているのに対し、電源車の着手及び移動並びに起動作業に約90分要するものの、放射性物質放出を抑制する手段として有効」とし、多様性拡張設備としている。 泊3号炉は、有効性評価「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失する事故」では、アニュラス空気浄化ファンを事象発生から約24時間後に起動する想定としているのに対し、可搬型代替電源車を使用した代替所内電気設備による給電手段の場合であっても、事象発生から約24時間後に、アニュラス空気浄化ファンの起動が可能なることから、可搬型代替電源車も重大事故等対処設備としている。（川内1/2号炉と同様。） 	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2-2) 運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	<p>【空冷式非常用発電装置等への燃料補給の手順着手の判断基準】</p> <p>「空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機を運転した場合において、各発電機の燃料が規定油量以上あることを確認した上で運転開始後、燃料補給作業着手時間に達した場合。」</p>	<p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給の手順着手の判断基準】</p> <p>可搬型タンクローリー給油ポンプにより補給する場合</p> <p>「重大事故等の対処に必要となる代替非常用発電機、可搬型代替電源車、可搬型直流電源用発電機、可搬型大容量海水送水ポンプ車、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策用発電機を使用する場合。」</p>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-91）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯 3/4 号炉は、燃料補給が必要となる設備の燃料枯渇時間及び燃料補給の準備に要する作業時間を考慮し、その設備の燃料が枯渇する前に燃料補給が開始できるよう、燃料補給作業着手時間を設定し、着手時間となれば準備を開始する手順としている。 泊 3 号炉では、燃料補給が必要となるすべての設備に係る燃料補給準備について、その設備を使用する場合に準備を開始する手順としている。この作業着手の考え方は女川と同様。 手順着手の判断基準が異なるが、設備の燃料が枯渇する前に燃料を補給できることに相違なし。 	
②	代替電源（交流）による給電手段の優先順位	代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位	<p>【運用の相違】例：比較表 p 1.14-106, 107)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯 3/4 号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的長いことから、第 6 優先で使用する。その他の給電手段については、短時間かつ容易に給電できる手段を優先的に実施できる優先順位としている。 泊 3 号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等発生時の初期の負荷を賄えるため、1 号又は 2 号炉のディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊 3 号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第 3 優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、代替非常用発電機が使用できない場合に準備作業を開始する。なお、第 2 優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。 	

※ 相違点を強調する箇所を下線部に示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川 2 号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>2-3) 記載方針の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
①	<p>【「1.14.1 (2) d. 手順等」の記載】 これらの手順は、<u>発電所対策本部長^{※3}、当直課長、運転員等^{※4}及び緊急安全対策要員^{※5}</u>の対応として全交流動力電源喪失の対応手順等に定める（第1.14.1表～第1.14.3表）。</p> <p>※3 <u>発電所対策本部長：重大事故等発生時における発電所原子力防災管理者及び代行者をいう。</u></p> <p>※4 <u>運転員等：運転員及び重大事故等対策要員のうち当直課長の指示に基づき運転対応を実施する要員をいう。</u></p> <p>※5 <u>緊急安全対策要員：重大事故等対策要員のうち発電所対策本部長の指示に基づき対応する運転員等以外の要員をいう。</u></p>	<p>【「1.14.1 (2) d. 手順等」の記載】 これらの手順は、<u>発電所対策本部長^{※3}、発電課長（当直）、運転員及び災害対策要員</u>の対応として全交流動力電源喪失時における対応手順等に定める（第1.14.1表）。</p> <p>※3 <u>発電所対策本部長：重大事故等発生時における原子力防災管理者及び代行者をいう。</u></p>	<p>(例：比較表 p 1.14-19, 20)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯 3/4 号炉は、技術的能力 1.0 にて整理する要員の名称以外に「運転員等」という名称を使用していることから、要員名称の定義を記載している。 泊 3 号炉は、技術的能力 1.0 にて整理する要員の名称を記載している場合、改めて要員名称の定義は記載しないこととしている。泊 3 号炉の要員名称の定義を記載しない方針は、伊方 3 号炉及び女川 2 号炉と同様である。 				
<p>※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。</p>							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2-4) 記載表現、設備名称等の相違（以下については、相違理由を省略する）			
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
・空冷式非常用発電装置	・代替非常用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・タンクローリー	・可搬型タンクローリー	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・燃料油貯蔵タンク	・ディーゼル発電機燃料油貯槽	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・電源車	・可搬型代替電源車	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-9）	
・室温	・作業環境の周囲温度	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-32）	
・電源車（緊急時対策所用）	・緊急時対策所用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）	・加圧器逃がし弁操作用バッテリー	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-17）	
・可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）	・可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-17）	
・号機間電力融通	・号炉間電力融通	・手順書名称の相違（例：比較表 p 1.14-12）	
・全交流動力電源喪失の対応手順等	・全交流動力電源喪失時における対応手順書等	・手順書名称の相違（例：比較表 p 1.14-20）	
・恒設代替低圧注水ポンプ	・代替格納容器スプレイポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-81）	
・計装用電源	・計装用インバータ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-81）	
・定期検査	・定期事業者検査	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-32）	
・号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）	・号炉間連絡ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-40）	
・多様性拡張設備	・自主対策設備	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-3）	
・号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）	・号炉間連絡予備ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-40）	
・空冷式非常用発電装置受電しゃ断器	・SA用代替電源受電遮断器A系 ・SA用代替電源受電遮断器B系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-29）	
・携帯照明	・照明	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-35）	
・通信設備	・通信連絡設備	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-35）	
・蓄電池室	・A安全系蓄電池室及びB安全系蓄電池室	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-65）	
・タンクローリー給油ポンプ	・可搬型タンクローリー給油ポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-93）	
・不要直流負荷の切離し	・不要な直流負荷切離し	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-64）	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2-5) 相違識別の省略（以下については、各対応手順の共通の相違理由のため、本文中の相違識別と相違理由は省略する）			
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <p>【「操作手順」の対応要員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当直課長 ・運転員等 ・緊急安全対策要員 ・発電所対策本部長 	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <p>【「操作手順」の対応要員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電課長（当直） ・運転員 ・1号及び2号炉発電課長（当直） ・1号及び2号炉運転員 ・災害対策要員 ・発電所対策本部長 	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応要員、要員名称の相違 ・泊3号炉の本審査項目で整理する操作手順は、発電課長（当直）の指示により主に運転員と災害対策要員で対応するが、ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給については、発電所対策本部長の指示により災害対策要員が対応する。（例：比較表 p 1.14-91～98）なお、手順着手は主に発電課長（当直）が判断し、発電所対策本部長へ作業開始を依頼するが、可搬型タンクローリーから各機器への補給については、発電所対策本部長が手順着手を判断する。（例：比較表 p 1.14-99～103） ・泊3号炉のように、可搬型 SA 設備を取り扱う災害対策要員に対して発電課長（当直）の指示により対応する体制としている点では、伊方3号炉も同様であり、伊方3号炉は発電所災害対策本部の設置まで、発電所災害対策本部要員も当直長の指揮下にて初動対応を行う体制としている。 ・大飯3/4号炉の要員名称の定義については「記載方針の相違①」にて整理する。 ・大飯3/4号炉の本審査項目で整理する操作手順は、当直課長の指示により運転員等が対応する作業と、発電所対策本部長の指示により緊急安全対策要員が対応する作業があり、手順着手の判断についても、当直課長が判断する手順と、発電所対策本部長が判断する手順がある。（例：比較表 p 1.14-91～98） ・操作手順の比較において、これら要員の名称の相違、作業開始指示及び完了報告に関する事項の相違識別は省略する。 	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
3. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要				
3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】 ・所内常設蓄電式直流電源設備による給電	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】 ・蓄電池（非常用）による直流電源からの給電 ・後備蓄電池による代替電源（直流）からの給電	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14） ・女川2号炉は、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2Bのみで全交流動力電源喪失後24時間にわたり直流電源による給電が可能であり、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2Bは、「所内常設蓄電式直流電源設備」として位置付けている。 ・泊3号炉は、蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線へ給電する設備設計であり、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。また、女川審査実績を反映し、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池を「所内常設蓄電式直流電源設備」と位置付けている。	
②	常設代替直流電源設備による給電で使用する設備 ・125V代替蓄電池 ・250V蓄電池 ・125V代替蓄電池～125V直流主母線盤2A-1及び125V直流主母線盤2B-1電路 ・250V蓄電池～250V直流主母線盤電路	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14） ・女川2号炉では所内常設蓄電式直流電源設備による給電が出来ない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、125V代替蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊3号炉では蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による給電により対応する。蓄電池による給電及び可搬型直流電源設備による給電手段の2手段を整備しているのは大飯や先行PWRと同様。常設蓄電式直流電源設備により24時間の給電を確保し、24時間以内に可搬型直流電源設備より給電を開始する設備構成は、大飯と同様。	
③	・125V代替充電器用電源車接続設備による給電で使用する設備 ・125V代替充電器 ・代替直流電源用切替盤 ・代替直流電源用変圧器 ・電源車 ・電源車～電源車接続口（制御建屋）電路 ・電源車接続口（制御建屋）～125V直流主母線盤2A-1及び125V直流主母線盤2B-1電路 ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ホース ・タンクローリ	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（自主対策の相違）】（例：比較表 p 1.14-15,16） ・女川2号炉では125V蓄電池2A,2Bによる直流母線給電が出来ない場合かつ電源車から代替所内電気設備を経由し125V充電器へ給電出来ない場合に、電源車を125V代替充電器用電源車接続設備に接続し125V代替充電器へ給電する手段を整備している。 ・泊3号炉では蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による給電により対応する。蓄電池による給電及び可搬型直流電源設備による給電手段の2手段を整備しているのは大飯や先行PWRと同様。	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
④	iii. 号炉間電力融通設備による給電 なお、号炉間電力融通ケーブル（常設）は3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設し、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は屋外の保管エリアに配備する。	iv. 号炉間電力融通設備による給電 なお、号炉間連絡ケーブルは代替給電用接続盤1～代替給電用接続盤4、代替給電用接続盤4～代替給電用接続盤3及び代替給電用接続盤2～代替給電用接続盤3の間にあらかじめ敷設し、号炉間連絡予備ケーブルは屋外の保管エリアに配備する。	【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表p 1.14-10） ・女川2号炉の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設しており、常時接続状態となっていることから、中央制御室からの遮断器の操作により給電可能な設計である。 ・泊3号炉の号炉間連絡ケーブルは、あらかじめ敷設しているが、ケーブルは切り離しており、ケーブルの接続作業が必要である。号炉間電力融通設備による給電の際に、ケーブルの接続作業を実施する設計としては、大飯と同様。	
⑤	— (泊3号炉との比較対象なし)	(1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-19） ・泊3号炉では可搬型設備への燃料補給の手段として、可搬型タンクローリーによりディーゼル発電機燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる手段と、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により複数ルートでの給油手段を確保している。 ・上記手段に加え、燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーにより、燃料を汲み上げる手段を整備する方針である。 ・可搬型タンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段に加えて、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により、複数ルートでの給油手段を確保しているのは美浜3号炉と同様。	
⑥	・ガスタービン発電設備軽油タンク ・ガスタービン発電設備燃料油移送ポンプ ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁	— (女川2号炉との比較対象なし)	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-19） ・女川2号炉はガスタービン発電機専用の軽油タンクを設置しており、ガスタービン発電機への燃料補給は、軽油タンクから移送ポンプにて自動補給される。 ・泊3号炉はディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへ汲み上げた燃料を代替非常用発電機へ補給する。 ・泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）による複数のタンクで燃料を確保する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉を含む先行プラントと同様。また、泊3号炉の燃料タンク（SA）で確保する燃料油量については、同様にSA対応用として追設した伊方3号炉の軽油タンクと同等である。 ・可搬型タンクローリーで燃料補給する手段は、大飯3/4号炉を含む先行PWRと同様。	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
⑦	a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【125V 充電器による直流電源の給電に伴うDC125V バッテリー室の換気手順】 運転員（中央制御室）Aは、計測制御電源室（A）室換気空調系及び計測制御電源室（B）室換気空調系のCSを「入」とし、	a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【充電器による直流電源の給電に伴う安全系蓄電池室の換気手順】 ・現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。	【設計方針の相違】（例：比較表 p 1.14-65） ・女川3号炉は、蓄電池充電時の水素ガス滞留防止のために必要となる計測制御電源室（A）室換気空調系及び計測制御電源室（B）室換気空調系の起動を中央制御室で実施可能。 ・泊3号炉は、現場にて蓄電池室排気ファンを運転するためのダンパの開処置が必要であり、ダンパの開処置終了後、現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。（川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉と同様。）	
⑧	常設代替直流電源設備による給電で使用する設備（250V 系統） ・250V 蓄電池 ・250V 充電器 ・250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤回路 ・電源車接続口（原子炉建屋）～250V 直流主母線盤回路	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14,15） ・女川2号炉では、直流駆動低圧注水系ポンプ等へ給電するための設備を設けている。250V 蓄電池は、有効性評価の全交流電源喪失シナリオへの対応のために設置する直流駆動低圧注水系ポンプへ電源を供給する設備であり、先行他社にない設備である。	
⑨	可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備（配管・弁・電路は除く） ・125V 代替蓄電池 ・250V 蓄電池 ・125V 代替充電器 ・250V 充電器 ・電源車 ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・タンクローリ	可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備（配管・弁・電路は除く） ・可搬型直流電源用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク（SA） ・可搬型タンクローリ ・可搬型直流変換器	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14,15） ・女川2号炉は可搬型代替直流電源設備に常設代替直流電源設備（125V 代替充電器及び250V 充電器）も含めた設備構成としており、可搬型代替交流電源設備の電源車と可搬型代替直流電源設備の蓄電池を充電する125V 代替充電器及び250V 充電器を使用する。 ・泊3号炉では、非常用高圧母線を経由することなく、直流母線へ直接給電可能な直流電源専用の交流発電機である可搬型直流電源用発電機を配備しており、設備構成は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。 ・泊3号炉は、所内常設蓄電式直流電源設備である後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合には、伊方と同様に可搬型代替直流電源設備専用の発電機及び電路を使用し可搬型代替直流電源設備により直流電源を供給する手段を整備する。（伊方3号炉と同様）	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）							
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑩	代替所内電気設備による給電で使用する設備 ・ガスタービン発電機接続盤 ・緊急用高圧母線 2F 系, 2G 系 ・緊急用動力変圧器 2G 系 ・緊急用低圧母線 2G 系 ・緊急用交流電源切替盤 2G 系, 2C 系, 2D 系 ・非常用高圧母線 2C 系, 2D 系	代替所内電気設備による給電で使用する設備 ・代替非常用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク (SA) ・可搬型タンクローリー ・代替所内電気設備変圧器 ・代替所内電気設備分電盤 ・代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 ・可搬型代替電源車	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-17, 18） ・女川2号炉は緊急用母線や変圧器等の電路を代替所内電気設備として整備している。 ・泊3号炉は代替非常用発電機又は可搬型代替電源車と専用の変圧器、分電盤等の電源、電路及び燃料補給に使用する設備を代替所内電気設備として整備している。これら使用する設備や代替所内電気設備により給電対象とする設備の整理方針は、大飯3/4号炉と同様。				
⑪	・号炉間電力融通ケーブル（常設）、（可搬型）を使用した3号炉の非常用ディーゼル発電機によるパワーセンタ2G系及びモータコントロールセンタ2G系受電	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-82） 自主対策の相違 ・女川2号炉では代替所内電気設備による対応手段として、自主対策設備である号炉間融通ケーブルを使用した号炉間融通により代替所内電気設備である2G系母線へ給電する手順を整備している。 ・泊3号炉では代替所内電気設備による対応手段として、号炉間電力融通による交流の給電手段は整備していないが、女川と同様に重大事故等対処設備である代替非常用発電機及び可搬型代替電源車により給電する手順を整備している。（女川は、ガスタービン発電機及び電源車）。 ・号炉間電力融通設備以外の代替非常用発電機及び可搬型代替電源車による給電手段を整備しているのは、川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉、大飯3/4号炉及び美浜3号炉と同様。				
⑫	発電用原子炉及び使用済燃料プールの冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要となるメタクラ2C系及びメタクラ2D系の電源を復旧する。	発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要となるメタクラA系及びメタクラB系の電源を復旧する。	【設計方針の相違】（例：比較表 p 1.14-21） ・女川2号炉は、使用済燃料プールの除熱に使用する設備である、燃料プール冷却浄化系ポンプ及び燃料プール冷却浄化系弁を常設代替電源設備又は可搬型代替電源設備から給電する設計である。 ・泊は3号炉は、使用済燃料ピットの除熱に使用する設備に関し、常設代替電源設備又は可搬型代替電源設備から給電対象の設備は無い。（大飯と同様）				
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
3-2) 運用の相違 （以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位	代替交流電源設備による非常用所内気源設備への給電の優先順位	<p>【運用の相違】例：比較表p 1.14-106, 107)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川2号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的長いことから、第4優先で使用する。号炉間電力融通設備使用した給電手段については、短時間かつ容易に給電できることから、ガスタービン発電機による給電が確認できない場合、号炉間電力融通設備である号炉間電力融通ケーブル（常設）を優先順位2とし、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を優先順位3としている。 ・泊3号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等発生時の初期の負荷を賄えるため、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊3号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第3優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、第1優先の代替非常用発電機が使用できない場合に準備作業を開始する。なお、第2優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。 	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
3-3) 記載表現, 設備名称の相違 (以下については、相違理由を記載しない)			
女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	備考	
・ガスタービン発電機	・代替非常用発電機	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-1)	
・タンクローリ	・可搬型タンクローリ	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-2)	
・軽油タンク	・ディーゼル発電機燃料油貯油槽	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-2)	
・電源車	・可搬型代替電源車	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-1)	
・号炉間電力融通ケーブル (常設)	・号炉間連絡ケーブル	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-10)	
・号炉間電力融通ケーブル (可搬型)	・号炉間連絡予備ケーブル	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-10)	
・電源車	・可搬型直流電源用発電機	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-16)	
・メタクラ 2C	・メタクラ A系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-1)	
・メタクラ 2D	・メタクラ B系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-1)	
・125V 直流主母線盤 2A	・A 直流母線	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-2)	
・125V 直流主母線盤 2B	・B 直流母線	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-2)	
・使用済燃料プール	・使用済燃料ビット	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-5)	
・非常用ディーゼル発電機	・ディーゼル発電機	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-6)	
・非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク	・ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-6)	
・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-6)	
・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁	・ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-7)	
・非常用高圧母線 2C系	・非常用高圧母線 (6-A)	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-7)	
・非常用高圧母線 2D系	・非常用高圧母線 (6-B)	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-7)	
・原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却海水設備)	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-7)	
・電源車接続口 (原子炉建屋) 電路	・可搬型代替電源接続盤電路	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-9)	
・125V 充電器 2A	・A 充電器	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-13)	
・125V 充電器 2B	・B 充電器	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-13)	
・125V 蓄電池 2A	・蓄電池 (非常用)	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-13)	
・125V 蓄電池 2B	・蓄電池 (非常用)	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-13)	
・大容量送水ポンプ (タイプ I)	・可搬型大型送水ポンプ車	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-19)	
・大容量送水ポンプ (タイプ II)	・可搬型大容量海水送水ポンプ車	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-19)	
・非常時操作手順書 (設備別), 非常時操作手順書 (徴候ベース) 及び重大事故等対応要領書	・全交流動力電源喪失時における対応手順書等	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-20)	
・モータコントロールセンタ	・コントロールセンタ	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-27)	
・パワーセンタ 2C系	・パワーコントロールセンタ A系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-26)	
・パワーセンタ 2D系	・パワーコントロールセンタ B系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-27)	
・モータコントロールセンタ 2C系	・コントロールセンタ A系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-28)	
・モータコントロールセンタ 2D系	・コントロールセンタ B系	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-28)	
・車両付ポンプ	・可搬型タンクローリ給油ポンプ	・設備名称の相違 (例：比較表 p 1.14-93)	
・必要な負荷以外の切離し	・不要な直流負荷切離し	・記載表現の相違 (例：比較表 p 1.14-62)	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目 次></p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 交流電源喪失時の対応手段及び設備</p> <p>b. 直流電源喪失時の対応手段及び設備</p> <p>c. 所内電気設備機能喪失時の対応手段及び設備</p> <p>d. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等</p> <p>(1) 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(2) 77kV送電線による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(3) No.2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(4) No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(5) 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>(8) 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p>	<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目 次></p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替交流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替所内電気設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備</p> <p>(a) 燃料補給設備による補給</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電</p> <p>b. 号炉間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電</p>	<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目 次></p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替交流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替所内電気設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備</p> <p>(a) 燃料補給設備による補給</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>b. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>c. 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>(4) No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(6) 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(8) 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(9) 優先順位</p>	<p>1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順</p> <p>(1) 代替直流電源設備による給電</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>b. 常設代替直流電源設備による給電</p> <p>c. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>d. 125V 代替充電器用電源車接続設備による給電</p> <p>(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保</p> <p>a. 常設直流電源喪失時の 125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2B 受電</p>	<p>d. 開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順</p> <p>(1) 代替直流電源設備による給電</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>b. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保</p> <p>a. 常設直流電源喪失時のA直流母線及びB直流母線受電</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映) ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>
<p>1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電</p> <p>(2) 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電</p> <p>(3) 優先順位</p>	<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順</p> <p>(1) 代替所内電気設備による給電</p> <p>a. ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンタ 2G 系及びモータコントロールセンタ 2G 系給電</p>	<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順</p> <p>(1) 代替所内電気設備による給電</p> <p>a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p>	<p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映) ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑫、⑬）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映) ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p>
<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による給電手順等</p> <p>(1) 代替所内電気設備による交流及び直流の給電（空冷式非常用発電装置）</p> <p>(2) 代替所内電気設備による交流及び直流の給電（電源車）</p> <p>(3) 優先順位</p>	<p>1.14.2.4 燃料の補給手順</p> <p>(1) 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの補給</p> <p>(2) タンクローリから各機器への補給</p>	<p>1.14.2.4 燃料の補給手順</p> <p>(1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリへの補給</p> <p>(2) 可搬型タンクローリから各機器への補給</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.14.1 重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表</p> <p>添付資料 1.14.2 多様性拡張設備仕様</p> <p>添付資料 1.14.3 空冷式非常用発電装置による交流電源からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.11 電源車による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.4 交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <p>添付資料 1.14.6 77kV送電線による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.7 No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.8 No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.9 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.12 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.10 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.11 電源車による交流電源からの給電</p>	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>(2) 非常用直流電源設備による給電</p> <p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>(2) 代替電源（直流）による対応手段</p> <p>添付資料 1.14.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.14.2 重大事故対策の成立性</p> <p>1. ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電</p> <p>2. 号炉間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電</p>	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>(2) 代替電源（直流）による対応手段</p> <p>添付資料 1.14.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.14.2 自主対策設備仕様</p> <p>添付資料 1.14.3 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.4 交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>添付資料 1.14.5 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.6 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・泊は、自主対策設備の仕様について添付資料に整理しており、多様性拡張設備の仕様について添付資料に整理している大飯と同様。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>・泊の添付資料の名称については、本文の手順書名称と合わせ、項目ごとに記載した。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.8 No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.12 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.13 不要直流負荷① 切離し操作</p> <p>添付資料 1.14.14 不要直流負荷① 切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.15 不要直流負荷② 切離し操作</p> <p>添付資料 1.14.16 不要直流負荷② 切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.17 可搬式整流器による直流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.18 代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.19 タンクローリーによる燃料補給操作</p> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p>	<p>3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.4 必要な直流負荷以外の切離しリスト</p> <p>4. 常設代替直流電源設備による給電</p> <p>5. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>6. 125V 代替充電器用電源車接続設備による給電</p> <p>7. ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンタ 2G 系及びモータコントロールセンタ 2G 系給電</p> <p>8. 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリーへの補給</p> <p>9. タンクローリーから各機器及びガスタービン発電設備軽油タンクへの補給</p> <p>添付資料 1.14.3 ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト</p> <p>添付資料 1.14.4 必要な直流負荷以外の切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p>	<p>添付資料 1.14.7 開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.8 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>添付資料 1.14.9 不要直流負荷の切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.10 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>添付資料 1.14.11 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p> <p>添付資料 1.14.12 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)から可搬型タンクローリーへの補給</p> <p>添付資料 1.14.13 可搬型タンクローリーから各機器への補給</p> <p>添付資料 1.14.14 代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト</p> <p>添付資料 1.14.15 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <p>添付資料 1.14.16 重大事故等時における燃料補給に係る複数ルートの確保について</p> <p>添付資料 1.14.17 解釈一覧 1. 弁番号及び弁名称一覧</p>	<p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑫、⑬）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・泊は、各対応手段の「手順着手の判断基準」及び「操作手順」に対する具体的な目標値や設定値等の定量的な解説、「操作手順」の系統構成等に対する具体的な操作対象機器について添付資料に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p><要求事項></p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合においても炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中において原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するため、代替電源から給電する設備を整備しており、ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p>【要求事項】</p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保する対処設備を整備する。ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p>【要求事項】</p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保する対処設備を整備する。ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源喪失及び所内単独運転に失敗した場合には、非常用電源設備により非常用高圧母線及び非常用直流母線へ電力を供給する必要がある。このための設計基準事故対処設備として、ディーゼル発電機及び蓄電池（安全防護系用）を設置している。</p> <p>ディーゼル発電機及び蓄電池（安全防護系用）より給電された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備が健全であれば重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14.1図、第1.14.2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料1.14.1, 1.14.2)</p> <p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び多様性拡張設備^{※1}を選定する。</p> <p>※1 多様性拡張設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、技術的能力審査基準（以下「審査基準」という。）だけでなく、設置許可基準規則第五十七条及び技術基準規則第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、多様性拡張のための設備との関係を明確にする。</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p>	<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源が喪失した場合において、非常用高圧母線及び直流設備へ給電するための設計基準事故対処設備として、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備を設置している。</p> <p>また、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備から供給された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として、非常用所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備のうち、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備が健全であれば、これらを重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置付け重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした（以下「機能喪失原因対策分析」という。）上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14-1図）。</p> <p>重大事故等対処設備のほか、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び自主対策設備^{※1}を選定する。</p> <p>※1 自主対策設備：技術基準上の全ての要求事項を満たすことや全てのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「技術的能力審査基準」（以下「審査基準」という。）だけでなく、「設置許可基準規則」第五十七条及び「技術基準規則」第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、自主対策設備との関係を明確にする。</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）である非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備が健全であれば重大事故等対処設備として重大事故等の対処に用いる。</p> <p>非常用交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機 ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 ・非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク ・軽油タンク ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 	<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源喪失及び所内単独運転に失敗した場合において、非常用高圧母線及び直流母線へ給電するための設計基準事故対処設備として、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備を設置している。</p> <p>また、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備から供給された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として非常用所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備のうち、非常用交流電源設備が健全であればこれらを重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置付け重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした（以下「機能喪失原因対策分析」という。）上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14.1図）。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料1.14.1, 1.14.2)</p> <p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び自主対策設備^{※1}を選定する。</p> <p>※1 自主対策設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「技術的能力審査基準」（以下「審査基準」という。）だけでなく、「設置許可基準規則」第五十七条及び「技術基準規則」第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、自主対策設備との関係を明確にする。</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）である非常用交流電源設備が健全であれば重大事故等対処設備として重大事故等の対処に用いる。</p> <p>非常用交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機 ・ディーゼル発電機燃料油サービスタンク ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>・泊は、大飯及び他PWRと同様に、外部電源喪失に加え所内単独失敗した場合にも給電することを記載している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・設計基準拡張設備の整理</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び非常用直流母線への直流電源による給電に使用する設備並びに所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因と対応手段の検討及び審査基準、基準規則要求により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備と多様性拡張設備を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備及び整備する手順についての関係を、第1.14.1表～第1.14.3表に示す。</p> <p>a. 交流電源喪失時の対応手段及び設備 (a) 対応手段 ディーゼル発電機の故障により非常用高圧母線への交流電源による給電ができない場合は、代替電源（交流）により非常用高圧母線へ給電する手段がある。</p>	<p>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</p> <p>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路 ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2H 系電路 ・原子炉補機冷却系</p> <p>非常用直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <p>・125V 蓄電池 2A ・125V 蓄電池 2B ・125V 充電器 2A ・125V 充電器 2B ・125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 ・125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 ・125V 蓄電池 2H ・125V 充電器 2H ・125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H～125V 直流主母線盤 2H 電路</p> <p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び直流設備への直流電源による給電に使用する設備並びに非常用所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因から選定した対応手段及び「審査基準」、「基準規則」からの要求により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備と整備する手順についての関係を第1.14-1表に整理する。</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備 (a) 代替交流電源設備による給電 設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により非常用高圧母線 2C 系、非常用高圧母線 2D 系及び非常用高圧母線 2H 系への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p>	<p>・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁</p> <p>・ディーゼル発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>・原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却海水設備）</p> <p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び直流設備への直流電源による給電に使用する設備並びに非常用所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因から選定した対応手段及び「審査基準」、「基準規則」からの要求により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備と整備する手順についての関係を第1.14.1表に整理する。</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備 (a) 代替交流電源設備による給電 設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・燃料補給に使用する設備及び流路の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>代替電源（交流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空冷式非常用発電装置 ・ 燃料油貯蔵タンク ・ 重油タンク ・ タンクローリー <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料油貯蔵タンク ・ 重油タンク 	<p>i. 常設代替交流電源設備による給電 常設代替交流電源設備から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備へ給電する手段がある。</p> <p>常設代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガスタービン発電機 ・ ガスタービン発電設備軽油タンク ・ タンクローリー ・ 軽油タンク ・ ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ ・ ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ ホース ・ 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路 ・ ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2G 系電路 <p>ii. 可搬型代替交流電源設備による給電 可搬型代替交流電源設備を代替所内電気設備に接続し、給電する手段がある。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-2 図に示す。</p>	<p>i. 常設代替交流電源設備による給電 常設代替交流電源設備から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備へ給電する手段がある。</p> <p>常設代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替非常用発電機 ・ 可搬型タンクローリー ・ ディーゼル発電機燃料油貯槽 ・ 燃料タンク (SA) ・ ホース・接続口 ・ ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁 ・ ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・ 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 ・ 代替非常用発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路 ・ 代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路 <p>ii. 可搬型代替交流電源設備による給電 可搬型代替交流電源設備を非常用所内電気設備又は代替所内電気設備に接続し、給電する手段がある。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.2 図に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・ 大飯は、代替電源（交流）による給電で使用する設備をすべてまとめて記載している。 ・ 女川と泊は、給電手段ごとに分けた構成としている。</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】 記載箇所の相違 ・ 泊との比較は後段にて実施する。</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑨） 【女川】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・ 燃料補給に使用する設備及び流路の記載 【大飯】 設備の相違（相違理由⑩） 【女川】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先） ・ 女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。 ・ 泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】 設備の相違（相違理由⑩） 【女川】 設備の相違 ・ 女川の可搬型代替交流電源設備は、電源車を電源車接続口へ接続し、代替所内電気設備である緊急用高圧母線 2G 系を受</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車 <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源車 ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・タンクローリー ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ホース ・電源車～電源車接続口（原子炉建屋）電路 ・電源車接続口（原子炉建屋）～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路 ・電源車接続口（原子炉建屋）～緊急用低圧母線 2G 系電路 	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型代替電源車 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク（SA） ・可搬型タンクローリー ・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁 ・ホース・接続口 ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 ・可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路 ・可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路 ・可搬型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路 <p>iii. 後備変圧器による給電 66kV 送電線から後備変圧器を介して非常用所内電気設備へ給電する手段がある。 後備変圧器による給電で使用する設備は以下のとおり。</p>	<p>電し、非常用所内電気設備へ給電する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型代替電源車を可搬型代替電源接続盤に接続し、非常用所内電気設備である非常用高圧母線へ接続する手段と、可搬型代替電源接続盤から代替所内電気設備である代替所内電気設備分電盤及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤へ接続する手段がある。電路構成の相違であり、必要な負荷へ給電する手段としては相違なし。電路構成については、大飯と同様。 <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨） 【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩） 【女川】設備の相違（相違理由⑤） 【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先） ・女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。 ・泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器に給電する。）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・給電に使用する電路の記載 【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・ 77kV送電線</p> <p>・ No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>・ No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>・号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）</p> <p>・号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）</p> <p>・ディーゼル発電機（他号炉（3号炉及び4号炉の内自号炉を除く。）（以下「他号炉」という。））</p> <p>・電源車</p> <p>・号機間電力融通恒設ケーブルが使用できない場合を想定して号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を配備する。</p>	<p>iii. 号炉間電力融通設備による給電</p> <p>号炉間電力融通ケーブルを用いて3号炉の非常用高圧母線から2号炉の緊急用高圧母線までの電路を構築し、3号炉からの給電により、2号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>号炉間電力融通設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14-2図に示す。</p> <p>・号炉間電力融通ケーブル（常設）</p> <p>・号炉間電力融通ケーブル（可搬型）</p> <p>・号炉間電力融通ケーブル（常設）～非常用高圧母線2C系又は非常用高圧母線2D系電路</p> <p>・号炉間電力融通ケーブル（可搬型）～非常用高圧母線2C系又は非常用高圧母線2D系電路</p> <p>なお、号炉間電力融通ケーブル（常設）は3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設し、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は屋外の保管エリアに配備する。</p>	<p>単線結線図を第1.14.2図に示す。</p> <p>・後備変圧器</p> <p>・後備変圧器～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>iv. 号炉間電力融通設備による給電</p> <p>号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルを用いて1号又は2号炉の非常用高圧母線から3号炉の非常用高圧母線までの電路を構築し、1号又は2号炉からの給電により、3号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>号炉間電力融通設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14.2図に示す。</p> <p>・号炉間連絡ケーブル</p> <p>・号炉間連絡予備ケーブル</p> <p>・号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>・号炉間連絡予備ケーブル～可搬型代替電源接続盤電路</p> <p>・可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>なお、号炉間連絡ケーブルは代替給電用接続盤1～代替給電用接続盤4、代替給電用接続盤4～代替給電用接続盤3及び代替給電用接続盤2～代替給電用接続盤3の間にあらかじめ敷設し、号炉間連絡予備ケーブルは屋外の保管エリアに配備する。</p> <p>v. 開閉所設備による給電</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・泊との比較は後段の「開閉所設備」にて実施する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・泊との比較は上段の「可搬型代替電源車」にて実施する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・女川は、号炉間電力融通ケーブルにより、非常用高圧母線の2C系又は2D系のいずれかの母線に給電する。</p> <p>・泊の号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルは、非常用高圧母線2系統へ給電できる容量があることから「及び」と記載している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>・No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、代替電源（交流）による給電に使用する空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）、ディーゼル発電機（他号炉）、電源車及び号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、審査基準及び基準規則に要求される設備をすべて網羅している。</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 常設代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、ガスタービン発電機、ガスタービン発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路及びガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2G 系電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、電源車、軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリー、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁、ホース、電源車～電源車接続口（原子炉建屋）電路、電源車接続口（原子炉建屋）～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路及び電源車接続口（原子炉建屋）～緊急用低圧母線 2G 系電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.14.1)</p>	<p>開閉所設備を使用し、1号又は2号炉の非常用高圧母線から3号炉の非常用高圧母線までの電路を構築し、1号又は2号炉からの給電により、3号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>開閉所設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.3 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開閉所設備 ・開閉所設備～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路 <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 常設代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、代替非常用発電機、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ホース・接続口、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤、代替非常用発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路及び代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、可搬型代替電源車、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ホース・接続口、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤、可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路、可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路及び可搬型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.14.1)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④、⑨、⑩）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） 【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先） ・女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。 ・泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑤） 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先） ・女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。 ・泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>以上の重大事故等対処設備により、ディーゼル発電機が使用できない場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。また、以下の設備はそれぞれに示す理由から多様性拡張設備と位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 77kV送電線 耐震性がないものの、当該電路が健全であれば、他号炉や外部電源の状況確認に時間を要するが、短時間での受電が可能であり、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 ・ No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全^{※2}であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 ・ No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全^{※2}であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 ・ 号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号） 恒設ケーブルを敷設する建屋の耐震性がないものの、1号炉又は2号炉のディーゼル発電機が健全^{※2}であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全^{※2}であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 </div> <p>※2 「号機間電力融通」については、他号炉、1号炉又は2号炉の安全性を損ねる恐れがあるため、「他号炉、1号炉又は2号炉の号機間融通は以下の状態」である場合に限定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル 	<p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で交流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p> <p>また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路の健全性が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。 <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路の健全性が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。 </div>	<p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で交流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p> <p>また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後備変圧器 耐震性は確保されていないが、当該電路が健全であれば、1号及び2号炉や外部電源の状況確認に時間を要するが、短時間での受電が可能であり、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 ・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路の健全性^{※2}が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。 ・ 開閉所設備 開閉所設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路の健全性^{※2}が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。 <p>※2 「号炉間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号炉間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・ 泊との比較は後段の「開閉所設備」にて実施する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由③)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由③)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑩)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>発電機2台が健全</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全 <p>なお、「号機間電力融通」が使用できない場合には、後続手段である「電源車」の対応を取ることとする。</p> <p>また、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、電源車（緊急時対策所用）は、個別負荷に対する専用電源であり、その利用目的を限定していることから、以下の手順にて整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用） <ul style="list-style-type: none"> 「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(I) b. (c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」、1.6.2.2(I) b. (c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。 電源車（緊急時対策所用） <ul style="list-style-type: none"> 「1.18 緊急時対策所の居住性等に関する手順等」のうち、1.18.2.4(1)「電源車（緊急時対策所用）による給電」にて整備する。 <p>b. 直流電源喪失時の対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>ディーゼル発電機の故障により非常用直流母線への直流電源による給電ができない場合は、直流電源装置により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>直流電源による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池（安全防護系用） 	<p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により充電器を経由した直流設備への給電ができない場合は、代替直流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p> <p>i. 所内常設蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備による給電</p> <p>非常用交流電源設備の故障により 125V 充電器 2A 及び 125V 充電器 2B を経由した直流設備への給電ができない場合は、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備による給電を開始するまでの間、所内常設蓄電式直流電源設備により 24 時間にわたり直流設備へ給電する手段がある。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-3 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 125V 蓄電池 2A 125V 蓄電池 2B 125V 充電器 2A 125V 充電器 2B 	<p>また、緊急時対策所用発電機は、個別負荷に対する専用電源であり、その利用目的を限定していることから、以下の手順にて整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所用発電機 <ul style="list-style-type: none"> 「1.18 緊急時対策所の居住性等に関する手順等」のうち、1.18.2.4(1)「緊急時対策所用発電機による給電」にて整備する。 <p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により充電器を経由した直流設備への給電ができない場合は、代替直流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p> <p>i. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>非常用交流電源設備の故障により A 充電器及び B 充電器を経由した直流設備への給電ができない場合は、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備による給電を開始するまでの間、所内常設蓄電式直流電源設備により 24 時間にわたり直流設備へ給電する手段がある。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.4 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池（非常用） 後備蓄電池 A 充電器 B 充電器 	<p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、可搬式代替低圧注水ポンプ専用の電源装置が必要なため、手順を整備する審査項目のリンク先を記載している。 泊は、代替炉心注水等で使用する可搬型大型送水ポンプ車は車両エンジンを駆動源とすることから、専用の電源装置は不要。 <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由①）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ディーゼル発電機の故障及び蓄電池（安全防護系用）の電圧低下により非常用直流母線への直流電源による給電ができない場合は、代替電源（直流）により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>また、給電に伴い必要な代替電源（交流）による給電に使用する設備については、1.14.1(2) a.「交流電源喪失時の対応手段及び設備」のとおり。</p> <p>代替電源（直流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空冷式非常用発電装置 ・ 燃料油貯蔵タンク ・ 重油タンク ・ タンクローリー 	<p>125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路</p> <p>125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路</p> <p>また、共通要因によって非常用直流電源設備の安全機能と同時に機能が喪失することがないように物理的に分離を図った常設代替直流電源設備があり、その常設代替直流電源設備により重大事故等時の対応に必要な直流設備へ給電する手段がある。</p> <p>常設代替直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-3 図及び第 1.14-4 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 125V 代替蓄電池 ・ 250V 蓄電池 ・ 125V 代替蓄電池～125V 直流主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 ・ 250V 蓄電池～250V 直流主母線盤電路 <p>ii. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>非常用交流電源設備の故障、所内常設蓄電池式直流電源設備の蓄電池の枯渇により直流設備への給電ができない場合は、常設代替直流電源設備、電源車、代替所内電気設備、125V 代替充電器及び 250V 充電器を用いた可搬型代替直流電源設備により直流設備へ給電する手段がある。</p> <p>可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-3 図及び第 1.14-4 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 125V 代替蓄電池 ・ 250V 蓄電池 ・ 125V 代替充電器 ・ 250V 充電器 ・ 電源車 ・ 軽油タンク ・ ガスタービン発電設備軽油タンク ・ タンクローリー ・ 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系 	<p>蓄電池（非常用）及びA充電器～A直流母線電路</p> <p>蓄電池（非常用）及びB充電器～B直流母線電路</p> <p>後備蓄電池～A直流母線及びB直流母線電路</p> <p>ii. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>非常用交流電源設備の故障、所内常設蓄電池式直流電源設備の蓄電池（非常用）及び後備蓄電池の枯渇により直流設備への給電ができない場合は、可搬型代替直流電源設備により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.4 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可搬型直流電源用発電機 ・ ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・ 燃料タンク（SA） ・ 可搬型タンクローリー 	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑦)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由②)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑦)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由①, ⑤)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑧)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由②, ⑧, ⑨)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑧)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由⑨)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑨)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由⑥)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・ 燃料補給に使用する設備の記載</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 77kV送電線 ・ No. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブル ・ No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル ・ 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号） ・ 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号） ・ ディーゼル発電機（他号炉） ・ 電源車 ・ 号機間電力融通恒設ケーブルが使用できない場合を想定して号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を配備する。 ・ 可搬式整流器 	<p>配管・弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ ホース <ul style="list-style-type: none"> ・ 125V 代替蓄電池及び125V 代替充電器～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電路 ・ 250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤電路 ・ 電源車～電源車接続口（原子炉建屋）電路 ・ 電源車接続口（原子炉建屋）～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電路 ・ 電源車接続口（原子炉建屋）～250V 直流主母線盤電路 <p>iii. 125V 代替充電器用電源車接続設備による給電</p> <p>非常用交流電源設備の故障、所内常設蓄電池式直流電源設備及び常設代替直流電源設備の蓄電池の枯渇により直流設備への給電ができない場合は、125V 代替充電器用電源車接続設備（125V 代替充電器、代替直流電源用切替盤、代替直流電源用変圧器及び電源車）により直流設備へ給電する手段がある。</p> <p>125V 代替充電器用電源車接続設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14-3 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 125V 代替充電器 ・ 代替直流電源用切替盤 ・ 代替直流電源用変圧器 ・ 電源車 ・ 電源車～電源車接続口（制御建屋）電路 ・ 電源車接続口（制御建屋）～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電路 ・ 軽油タンク ・ ガスタービン発電設備軽油タンク ・ 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホース ・ 可搬型直流変換器 ・ 可搬型直流電源用発電機～可搬型直流電源接続盤電路 ・ 可搬型直流電源接続盤～A 直流母線及びB 直流母線電路 	<p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑦、⑧、⑨）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、代替電源（直流）による給電に使用する可搬式整流器は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>基準規則に要求される蓄電池（安全防護系用）は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、審査基準及び基準規則に要求される設備をすべて網羅している。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、ディーゼル発電機及び蓄電池（安全防護系用）が使用できない場合においても炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p>	<p>・ホース ・タンクローリ</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備のうち、125V蓄電池 2A、125V蓄電池 2B、125V充電器 2A、125V充電器 2B、125V蓄電池 2A及び125V充電器 2A～125V直流主母線盤 2A及び125V直流主母線盤 2A-1 電路、125V蓄電池 2B及び125V充電器 2B～125V直流主母線盤 2B及び125V直流主母線盤 2B-1 電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>常設代替直流電源設備による給電で使用する設備のうち、125V代替蓄電池、250V蓄電池、125V代替蓄電池～125V直流主母線盤 2A-1及び125V直流主母線盤 2B-1 電路、250V蓄電池～250V直流主母線盤電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替直流電源設備による直流設備への給電で使用する設備のうち、125V代替蓄電池、250V蓄電池、125V代替充電器、250V充電器、電源車、軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁、ホース、125V代替蓄電池～125V直流主母線盤 2A-1及び125V直流主母線盤 2B-1 電路、250V蓄電池～250V直流主母線盤電路、電源車～電源車接続口（原子炉建屋）、電源車接続口（原子炉建屋）～125V直流主母線盤 2A-1及び125V直流主母線盤 2B-1 電路、電源車接続口（原子炉建屋）～250V直流主母線盤電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.14.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で直流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p> <p>また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備と位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <p>・125V代替充電器用電源車接続設備 給電開始までに時間を要するが、給電可能であれば可搬型代替直流電源設備である電源車から代替所内電気設備を経由し125V系統への給電に対する代替手段として有効</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備 所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備のうち、蓄電池（非常用）、後備蓄電池、A充電器、B充電器、蓄電池（非常用）及びA充電器～A直流母線電路、蓄電池（非常用）及びB充電器～B直流母線電路、後備蓄電池～A直流母線及びB直流母線電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替直流電源設備による直流設備への給電で使用する設備のうち、可搬型直流電源用発電機、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリ、ホース、可搬型直流変換器、可搬型直流電源用発電機～可搬型直流電源接続盤電路及び可搬型直流電源接続盤～A直流母線及びB直流母線電路は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.14.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で直流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑧)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑦)</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由②、⑥、⑧)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・審査基準及び基準規則と整備する対応手段の対応表を紐づけ</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由③)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>また、可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）及び可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）は、個別負荷に対する専用電源であり、その利用目的を限定していることから、以下の手順にて整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用） <ul style="list-style-type: none"> 「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(3)c.「可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）による加圧器逃がし弁の機能回復」にて整備する。 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤） <ul style="list-style-type: none"> 「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2.2(1)d.「可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給」にて整備する。 <p>c. 所内電気設備機能喪失時の対応手段及び設備 (a) 対応手段 所内電気設備は、共通要因で機能を失うことはないが、何らかの原因により所内電気設備の2系統が同時に機能を喪失した場合は、代替所内電気設備により給電する手段がある。 このため、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保できる。</p> <p>代替所内電気設備による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	<p>である。</p> <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備 (a) 代替所内電気設備による給電 設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備の機能が喪失し、必要な設備へ給電できない場合又は代替所内電気設備に接続する重大事故等対処設備が必要な場合は、代替所内電気設備にて電路を確保し、常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備から給電する手段がある。 なお、非常用所内電気設備及び代替所内電気設備は、重大事故等が発生した場合において、共通要因で同時に機能を喪失することなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性を確保する設計とする。</p> <p>代替所内電気設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14-2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガスタービン発電機接続盤 緊急用高圧母線 2F 系 緊急用高圧母線 2G 系 緊急用動力変圧器 2G 系 緊急用低圧母線 2G 系 緊急用交流電源切替盤 2G 系 緊急用交流電源切替盤 2C 系 緊急用交流電源切替盤 2D 系 非常用高圧母線 2C 系 非常用高圧母線 2D 系 	<p>また、加圧器逃がし弁操作用バッテリー、可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）は、個別負荷に対する専用電源であり、その利用目的を限定していることから、以下の手順にて整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 加圧器逃がし弁操作用バッテリー <ul style="list-style-type: none"> 「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)c.「加圧器逃がし弁操作用バッテリーによる加圧器逃がし弁の機能回復」にて整備する。 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用） <ul style="list-style-type: none"> 「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2.2(1)e.「可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源の供給」にて整備する。 <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備 (a) 代替所内電気設備による給電 設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備の機能が喪失し、必要な設備へ給電できない場合又は代替所内電気設備に接続する重大事故等対処設備が必要な場合は、代替所内電気設備にて電路を確保し、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電する手段がある。 なお、非常用所内電気設備及び代替所内電気設備は、重大事故等が発生した場合において、共通要因で同時に機能を喪失することなく、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保する設計とする。</p> <p>代替所内電気設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14.2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替非常用発電機 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 燃料タンク (SA) 可搬型タンクローリー 	<p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 設備の相違 (相違理由⑩)</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備の相違 (相違理由⑩)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑩)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>・可搬式整流器 ・電源車</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、代替所内電気設備による給電に使用する空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー、代替所内電気設備分電盤、代替所内電気設備変圧器及び可搬式整流器は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これら機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備をすべて網羅している。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、所内電気設備が使用できない場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために、必要な電力を確保できる。また、以下の設備は多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <p>・電源車（タンクローリー含む） 空冷式非常用発電装置が使用できない場合に、添付書類十「7.1.2 全交流動力電源喪失」手順においてアニュラス空気浄化系を約60分以内に準備する想定としているのに対し、電源車の着手及び移動並びに起動作業に約90分要するものの、放射性物質放出を抑制</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 代替所内電気設備による給電で使用する設備のうち、ガスタービン発電機接続盤、緊急用高圧母線 2F 系、緊急用高圧母線 2G 系、緊急用動力変圧器 2G 系、緊急用低圧母線 2G 系、緊急用交流電源切替盤 2G 系、緊急用交流電源切替盤 2C 系、緊急用交流電源切替盤 2D 系、非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.14.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備が機能喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p>	<p>・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁 ・ホース・接続口 ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</p> <p>・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器 ・代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤</p> <p>・可搬型代替電源車 ・代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路 ・可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路 ・可搬型代替電源接続盤～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路</p> <p>(b) 重大事故等対処設備 代替所内電気設備による給電で使用する設備のうち、代替非常用発電機、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク (SA)、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ホース・接続口、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、代替所内電気設備変圧器、代替所内電気設備分電盤、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤、可搬型代替電源車、代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路、可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路並びに可搬型代替電源接続盤～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路は、重大事故等対処設備と位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 (添付資料 1.14.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備が機能喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・燃料補給に使用する設備の記載 【大飯】設備の相違 (相違理由⑩) 【女川】設備の相違 (相違理由⑤)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑫) 【大飯】設備の相違 (相違理由⑬)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違 (相違理由⑨、⑫、⑬、⑮)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・審査基準及び基準規則と整備する対応手段の対応表を紐づけ</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑮)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑮)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>する手段として有効である。</p> <p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備 (a) 燃料補給設備による補給 重大事故等の対処で使用する ガスタービン発電機、電源車、大容量送水ポンプ（タイプI）、熱交換器ユニット、可搬型窒素ガス供給装置及び大容量送水ポンプ（タイプII）を必要な期間継続して運転させるため、燃料補給設備により補給する手段がある。</p> <p>燃料補給設備による補給で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・タンクローリ ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 <p>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ホース <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 燃料補給設備による補給で使用する設備のうち、軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁及びホースは重大事故等対処設備として位置付ける。 これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 （添付資料 1.14.1） 以上の重大事故等対処設備により、重大事故等の対処で使用する設備の燃料を確保し、必要な期間運転を継続することができる。</p> <p>d. 手順等</p>	<p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備 (a) 燃料補給設備による補給 重大事故等の対処で使用する 代替非常用発電機、可搬型代替電源車、可搬型大型送水ポンプ車、可搬型直流電源用発電機、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機を必要な期間継続して運転させるため、燃料補給設備により補給する手段がある。</p> <p>燃料補給設備による補給で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク（SA） ・可搬型タンクローリ ・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁 ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・ホース・接続口 <p>(b) 重大事故等対処設備 燃料補給設備による補給で使用する設備のうち、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリ、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及びホース・接続口は重大事故等対処設備として位置付ける。 これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 （添付資料 1.14.1） 以上の重大事故等対処設備により、重大事故等の対処で使用する設備の燃料を確保し、必要な期間運転を継続することができる。</p> <p>e. 手順等</p>	<p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備 (a) 燃料補給設備による補給 重大事故等の対処で使用する 代替非常用発電機、可搬型代替電源車、可搬型大型送水ポンプ車、可搬型直流電源用発電機、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機を必要な期間継続して運転させるため、燃料補給設備により補給する手段がある。</p> <p>燃料補給設備による補給で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク（SA） ・可搬型タンクローリ ・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁 ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・ホース・接続口 <p>(b) 重大事故等対処設備 燃料補給設備による補給で使用する設備のうち、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリ、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及びホース・接続口は重大事故等対処設備として位置付ける。 これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 （添付資料 1.14.1） 以上の重大事故等対処設備により、重大事故等の対処で使用する設備の燃料を確保し、必要な期間運転を継続することができる。</p> <p>e. 手順等</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・大飯は機能喪失を想定する対応手段ごとに燃料補給のための設備を記載する構成としているため、燃料補給のための設備のみを整理した本項目は設けていない。</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・女川及び泊は、燃料補給が必要となる設備をそれぞれ記載している。</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川の電源車（緊急時対策所用）は、専用の緊急時対策所軽油タンクより自動補給する設計である。 ・泊の緊急時対策所用発電機は、可搬型タンクローリにより給油する。（大飯と同様）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【女川】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】設備の相違（相違理由⑥） 【女川】設備の相違（相違理由⑤）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>上記のa.、b.及びc.により選定した対応手段に係る手順を整備する。また、事故時の監視に必要な手順を整備する（第1.14.4表）。</p> <p>これらの手順は、発電所対策本部長^{※3}、当直課長、運転員等^{※4}及び緊急安全対策要員^{※5}の対応として全交流動力電源喪失の対応手順等に定める（第1.14.1表～第1.14.3表）。</p> <p>※3 発電所対策本部長：重大事故等発生時における発電所原子力防災管理者及び代行者をいう。 ※4 運転員等：運転員及び重大事故等対策要員のうち当直課長の指示に基づき運転対応を実施する要員をいう。 ※5 緊急安全対策要員：重大事故等対策要員のうち発電所対策本部長の指示に基づき対応する運転員等以外の要員をいう。</p>	<p>上記「a.代替電源（交流）による対応手段及び設備」、「b.代替電源（直流）による対応手段及び設備」、「c.代替所内電気設備による対応手段及び設備」及び「d.燃料補給のための対応手段及び設備」により選定した対応手段に係る手順を整理する。</p> <p>これらの手順は、運転員、重大事故等対応要員及び保修班員の対応として非常時操作手順書（設備別）、非常時操作手順書（微候ベース）及び重大事故等対応要領書に定める（第1.14-1表）。</p> <p>また、重大事故等時に監視が必要となる計器についても整理する（第1.14-2表）。</p> <p>さらに、他の条文にて選定した重大事故等対処設備と本条文にて選定した給電手段との関連性についても整理する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.14.5）</p>	<p>上記「a.代替電源（交流）による対応手段及び設備」、「b.代替電源（直流）による対応手段及び設備」、「c.代替所内電気設備による対応手段及び設備」及び「d.燃料補給のための対応手段及び設備」により選定した対応手段に係る手順を整理する。</p> <p>これらの手順は、発電所対策本部長^{※3}、発電課長（当直）、運転員及び災害対策要員の対応として全交流動力電源喪失時における対応手順書等に定める（第1.14.1表）。</p> <p>また、重大事故等時に監視が必要となる計器についても整理する（第1.14.2表）。</p> <p>※3 発電所対策本部長：重大事故等発生時における原子力防災管理者及び代行者をいう。</p> <p>さらに、他の条文にて選定した重大事故等対処設備と本条文にて選定した給電手段との関連性についても整理する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.14.5）</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯と泊の比較は、後段の泊の記載箇所にて実施 【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【女川】記載表現の相違（女川実績の反映） ・第1.14.1表で整理する「整備する手順書」をまとめて記載。（大飯と同様） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載方針の相違（相違理由①）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.14.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等</p> <p>(1) 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失時に、ディーゼル発電機から独立及び位置的分散を図った重大事故等対処設備である空冷式非常用発電装置により、原子炉冷却、原子炉格納容器冷却等に係る設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の駆動電源等の非常用高圧母線へ代替電源（交流）から給電する手順を整備する。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電が実施できない場合に、電源車により非常用高圧母線への代替電源（交流）から給電する手順を整備する。</p> <p>なお、電源車の接続場所は位置的に分散した2ヶ所を整備する。</p>	<p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電</p> <p>送電線及び開閉所が破損又は破損する可能性のある大規模自然災害が発生した場合並びに外部電源、非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機による給電が見込めない場合に、発電用原子炉及び使用済燃料プールの冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要なメタクラ2C系及びメタクラ2D系の電源を復旧する。原子炉圧力容器への注水に必要な負荷への給電は、メタクラ2C系及びメタクラ2D系を受電することにより電源供給される。メタクラ2C系及びメタクラ2D系受電操作完了後、125V充電器及び中央制御室監視計器の交流電源を供給する。</p> <p>ガスタービン発電機は外部電源の喪失により自動起動し、ガスタービン発電機によるメタクラ2C系又はメタクラ2D系へ給電を行う。ガスタービン発電機による給電ができない場合は、号炉間電力融通ケーブル（常設）又は号炉間電力融通ケーブル（可搬型）による給電を行う。号炉間電力融通ケーブル（常設）又は号炉間電力融通ケーブル（可搬型）による給電ができない場合は、電源車による給電を行う。</p> <p>代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガスタービン発電機 2. 電源車 3. 号炉間電力融通ケーブル（常設） 4. 電源車 5. 号炉間電力融通ケーブル（可搬型） <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p>	<p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>送電線及び開閉所が破損又は破損する可能性のある大規模自然災害が発生した場合並びに外部電源及びディーゼル発電機による給電が見込めない場合に、発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要なメタクラA系及びメタクラB系の電源を復旧する。原子炉容器への注水に必要な負荷への給電は、代替非常用発電機の起動及び並列操作をすることにより電源供給される。メタクラA系及びメタクラB系受電操作完了後、充電器及び中央制御室監視計器の交流電源を供給する。</p> <p>代替非常用発電機は外部電源が喪失した場合に自動起動し、代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系へ給電を行う。代替非常用発電機による給電ができない場合は、後備変圧器による給電を行う。後備変圧器による給電ができない場合は、可搬型代替電源車による給電を行い、可搬型代替電源車による給電ができない場合は、号炉間連絡ケーブルによる給電を行う。号炉間連絡ケーブルによる給電ができない場合は、開閉所設備による給電を行い、開閉所設備による給電ができない場合は、号炉間連絡予備ケーブルによる給電を行う。</p> <p>代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代替非常用発電機 2. 後備変圧器 3. 可搬型代替電源車 4. 号炉間連絡ケーブル 5. 開閉所設備 6. 号炉間連絡予備ケーブル 	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 設備の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、原子炉容器への注水に必要な負荷への給電は、メタクラ2C系及びメタクラ2D系を受電することにより電源供給できる。 ・泊の原子炉容器への注水に必要な負荷である代替格納容器スプレイポンプは、代替非常用発電機から直接給電する回路構成となっているため、代替非常用発電機の起動及び並列操作により、電源供給する。(大飯と同様) <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川のガスタービン発電機は、外部電源喪失後、自動起動する設計であるのに対し、大飯及び泊は手動で起動する。 <p>【女川】 運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 運用の相違(相違理由①)</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、自主対策設備である給電手段として、号炉間電力融通ケーブルによる給電手段を整備している。 ・泊は、自主対策設備である号炉間連絡ケーブルによる給電手段以外に、後備変圧器及び開閉所設備による給電手段を整備している。号炉間連絡ケーブル以外で自

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>全交流動力電源喪失時に、外部電源受電操作及びディーゼル発電機の起動操作を実施しても、母線電圧等が確立しない場合。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電が母線電圧等にて確認できない場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電を行う手順の概要は以下のとおり。概略図を第1.14.3図に、タイムチャートを第1.14.4図に示す。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>b. 操作手順</p> <p>電源車による代替電源（交流）からの給電を行う手順の概要は以下のとおり。概略図を第1.14.18図に、タイムチャートを第1.14.19図に、ケーブル敷設ルートを第1.14.20図に示す。</p>	<p>なお、優先2及び優先3の手順については「b. 号機間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電」にて整備する。</p> <p>また、上記給電を継続するためにガスタービン発電設備軽油タンク、電源車への燃料補給を実施する。燃料の補給手順については「1.14.2.4 燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>[ガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電準備開始の判断基準]</p> <p>外部電源、非常用ディーゼル発電機及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系への給電ができない場合。</p> <p>[電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電準備開始の判断基準]</p> <p>外部電源、非常用ディーゼル発電機及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系への給電ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>ガスタービン発電機又は電源車による代替所内電気設備を経由した非常用所内電気設備への給電手順の概要は以下のとおり。手順の対応フローを第1.14-5図に、概要図を第1.14-6図に、タイムチャートを第1.14-7図から第1.14-9図に示す。</p>	<p>なお、優先2の手順については、「b. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電」、優先4及び優先6の手順については「c. 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電」、優先5の手順については「d. 開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電」にて整備する。</p> <p>また、上記給電を継続するために代替非常用発電機、可搬型代替電源車への燃料補給を実施する。燃料の補給手順については、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>[代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系受電準備開始の判断基準]</p> <p>全交流動力電源喪失時に、外部電源受電操作及びディーゼル発電機の起動操作を実施しても、母線電圧等が確立しない場合。</p> <p>[可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電準備開始の判断基準]</p> <p>代替非常用発電機の故障等により代替電源（交流）からの給電が母線電圧等にて確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による非常用所内電気設備への給電手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.14.5図に、タイムチャートを第1.14.6図から第1.14.8図に、可搬型代替電源車のケーブル敷設ルートを第1.14.9図に示す。</p>	<p>主対策設備による給電手段を整備しているのは、大飯と同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、自主対策設備の相違とし記載を省略する。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊との比較は後段の「可搬型代替電源車」にて実施する。 <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主対策設備の相違 <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違(大飯と同様)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】運用の相違(相違理由②) 【女川】運用の相違(相違理由①) <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川のガスタービン発電機及び電源車は代替所内電気設備であるメタクラF系又はメタクラG系に接続されており、代替所内電気設備を経由し、非常用所内電気設備であるメタクラC系及びメタクラD系へ給電する。 泊は、非常用所内電気設備であるメタクラA系及びメタクラB系に直接接続し給

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>また、空冷式非常用発電装置への燃料（重油）補給の手順は1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>また、電源車への燃料（重油）補給の手順は1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に、空冷式非常用発電装置の起動及び安全補機開閉器室での現場操作を指示する。また、運転員等に空冷式非常用発電装置の運転状態の確認を指示する。</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>④ 運転員等は、受電後の負荷の自動起動を防止するため、中央制御室で操作スイッチを「切」又は「引断」とする。</p> <p>⑤ 運転員等は、空冷式非常用発電装置の容量制限があるため、現場の安全補機開閉器室において不要なパワーセンタ及びコントロールセンタ負荷の切離しを行う。</p>	<p>[優先1. ガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電の場合]</p> <p>①^a 発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員にガスタービン発電機の起動状態確認、メタクラ2F系の受電状態確認並びにメタクラ2C系及びメタクラ2D系の受電準備開始を指示する。</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>⑦^a 運転員（中央制御室）A及びBは、受電前準備としてメタクラ2C系、メタクラ2D系の動的負荷の自動起動防止のため操作スイッチ（以下「CS」という。）を「停止」又は「引ロック」とし、発電課長に受電準備が完了したことを報告する。</p>	<p>また、代替非常用発電機及び可搬型代替電源車への燃料補給の手順は、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>[優先1. 代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系受電の場合]</p> <p>①^a 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に代替非常用発電機の起動及び現場の安全補機開閉器室でメタクラB系の受電準備開始を指示する。</p> <p>②^a 運転員（中央制御室）Aは、受電前準備としてメタクラB系の動的負荷の自動起動防止のため、中央制御室にて操作器を「切」又は「切ロック」とする。</p> <p>③^a 運転員（現場）B及び災害対策要員は、代替非常用発電機の容量制限があるため、現場の安全補機開閉器室において不要なパワーコントロールセンタB系及びコントロールセンタB2系負荷の切離しを行い、発電課長（当直）に受電準備が完了したことを報告する。</p>	<p>電する。電路構成は、大飯と同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、電路構成の相違として記載を省略する。 <p>【大飯、女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、可搬型代替電源車のケーブル敷設ルート図を示す。 <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川のガスタービン発電機は、外部電源喪失後、自動起動する設計であるのに対し、大飯及び泊は手動で起動する。 女川は、受電準備をすべて中央制御室にて実施しているのに対し、大飯及び泊は、中央制御室及び現場にて実施する。 <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、メタクラ2C系及びメタクラ2D系の受電準備開始を同時に指示している。 泊は、まずはメタクラB系に受電開始を指示している。非常用母線の2母線のうち、最初に1母線からの受電を指示するのは、伊方、島根と同様。 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯、女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、空冷式非常用発電装置起動後の受電遮断器投入前に各負荷の動的負荷の自動起動防止処置を実施する。 女川は、ガスタービン発電機起動後の受電遮断器投入前に各負荷の動的負荷の自動起動防止処置を実施する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較のため玄海3、4号炉まとめ資料の「1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等（1）大容量空冷式発電機による代替電源（交流）からの給電手順等(1.14-16 頁)の記載を下記に掲示】</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（当直員）等及び保守対応要員に大容量空冷式発電機による給電操作を指示する。</p> <p>② 運転員（当直員）等は、受電準備として非常用高圧母線及び非常用低圧母線の受電遮断器を「切」とする。また、受電後の非常用高圧母線補機及び非常用低圧母線補機の自動起動を防止するため、中央制御室で各補機の操作スイッチを「停止引ロック」又は「切」とする。</p> <p>③ 運転員（当直員）等は、現場でC及びD非常用高圧母線の代替電源受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>④ 運転員（当直員）等は、現場で非常用高圧母線の各遮断器及び非常用低圧母線の各遮断器の開放又は開放確認をする。</p> <p>⑤ 運転員（当直員）等は、中央制御室で大容量空冷式発電機を起動する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で空冷式非常用発電装置を起動する。</p> <p>③ 運転員等は、現場で運転中の空冷式非常用発電装置の運転状態を確認する。</p> <p>④ 運転員等は、受電後の負荷の自動起動を防止するため、中央制御室で操作スイッチを「切」又は「引断」とする。</p> <p>⑤ 運転員等は、空冷式非常用発電装置の容量制限があるため、現場の安全補機開閉器室において不要なパワーセンタ及びコントロールセンタ負荷の切離しを行う。</p>	<p>②^a 運転員（中央制御室）A及びBは、ガスタービン発電機の起動状態及びメタクラ2F系受電状態を確認し、発電課長にガスタービン発電機の起動が完了したことを報告する。^{※1}</p> <p>※1 中央制御室からの起動が完了した場合は操作手順⑦^aへ</p> <p>[ガスタービン発電機の現場からの起動の場合]</p> <p>③^a 自動起動に失敗した場合、発電課長は、発電所対策本部にガスタービン発電機の現場からの起動を依頼する。</p> <p>④^a 発電所対策本部は、保守班員にガスタービン発電機の現場からの起動を指示する。</p> <p>⑤^a 保守班員は、屋外（緊急用電気品建屋）にてガスタービン発電機を起動し、発電所対策本部にガスタービン</p>	<p>④^a 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室にて代替非常用発電機を起動し、代替非常用発電機の起動状態を確認後、発電課長（当直）に代替非常用発電機の起動が完了したことを報告する。^{※1}</p> <p>※1 中央制御室からの起動が完了した場合は操作手順⑨^aへ</p> <p>[代替非常用発電機の現場からの起動の場合]</p> <p>⑤^a 中央制御室からの起動に失敗した場合、発電課長（当直）は、運転員に代替非常用発電機の現場からの起動を指示する。</p> <p>⑥^a 運転員（現場）C及びDは、屋外にて代替非常用発電機を起動し、発電課長（当直）に代替非常用発電機の起</p>	<p>・泊は、代替非常用発電機起動前に動的負荷の自動起動防止処置を実施する。起動前に動的負荷の自動起動防止処置を実施するのは、伊方、川内、玄海と同様</p> <p>【女川】運用の相違</p> <p>・女川は、重大事故時の対応に必要な負荷については、メタクラ2C系及びメタクラ2D系を受電することにより電源供給される。</p> <p>・泊は、重大事故時の初期対応に必要な負荷については、メタクラB系を受電することにより電源供給されることから、メタクラB系受電を優先し、必要な負荷給電後、メタクラA系の受電操作を実施する。安全系2母線のうち1母線を優先して受電するのは、伊方、島根と同様。</p> <p>【女川】設備の相違</p> <p>・女川の動的負荷の自動起動防止処置は、中央制御室のみで実施可能である。</p> <p>・大飯及び泊の動的負荷の自動起動防止処置については、中央制御室及び現場の安全補機開閉器室にて実施する。</p> <p>【大飯、女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・女川及び泊は、現場からの起動手順を整備している。</p> <p>【女川】設備の相違</p> <p>・女川のガスタービン発電機は、外部電源喪失後、自動起動する設計であるのに対し、大飯及び泊は手動で起動する。</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑥ 運転員等は、現場の安全補機開閉器室にて空冷式非常用発電装置受電しゃ断器を投入し、メタクラの受電を確認する。</p> <p>⑦ 運転員等は、中央制御室でパワーセンタ及びコントロールセンタを受電し、非常用高圧母線の電圧計により電源が確保されたことを確認する。</p>	<p>発電機の起動が完了したことを報告する。</p> <p>⑥^a 発電所対策本部は、発電課長にガスタービン発電機の現場からの起動が完了したことを連絡する。</p> <p>[代替所内電気設備の受電前準備、受電操作、受電確認]</p> <p>⑦^a 運転員（中央制御室）A及びBは、受電前準備としてメタクラ2C系、メタクラ2D系の動的負荷の自動起動防止のため操作スイッチ（以下「CS」という。）を「停止」又は「引ロック」とし、発電課長に受電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑧^a 発電課長は、運転員にガスタービン発電機によるメタクラ2F系への給電開始を指示する。</p> <p>⑨^a 運転員（中央制御室）A及びBは、ガスタービン発電機からメタクラ2F系を受電するための遮断器を「入」とし、受電状態に異常がないことを確認後、発電課長に給電が完了したことを報告する。</p> <p>⑩^a 発電課長は、運転員にガスタービン発電機によるメタクラ2C系への給電開始を指示する。</p> <p>⑪^a 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2F系からメタクラ2C系を受電するための遮断器を「入」とし、メタクラ2C系、パワーセンタ2C系及びモータコントロールセンタ2C系を受電する。</p>	<p>動が完了したことを報告する。</p> <p>[非常用所内電気設備の受電前準備、受電操作、受電確認]</p> <p>⑦^a 発電課長（当直）は、運転員に代替非常用発電機によるメタクラB系への給電開始を指示する。</p> <p>⑧^a 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてSA用代替電源受電遮断器B系を投入し、メタクラB系及びパワーコントロールセンタB系受電を確認する。</p> <p>⑨^a 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてパワーコントロールセンタ遮断器を投入し、コントロールセンタB2系の受電を確認する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】設備の相違 ・電路構成の相違 【女川】記載箇所の相違 ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【女川】設備の相違 ・電路構成の相違</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川はの受電操作は、すべて中央制御室にて実施。 ・大飯の受電操作は、中央制御室及び現場にて実施。 ・泊の受電操作は、すべて現場にて実施。 すべて現場で実施しているのは泊独自。 【大飯、女川】運用の相違 ・大飯は、メタクラ受電確認後にパワーセンタ及びコントロールセンタを受電する手順としているため、手順⑥と⑦で分けた記載としている。 ・女川は、メタクラの受電と同時にパワーセンタへ充電器まで受電する運用としている。 ・泊は、メタクラB系及びパワーコントロールセンタB系受電確認後に、B2原子炉コントロールセンタを受電する手順としていることから、手順⑨^aと⑩^aで分けた記載としている。重大事故等の初期対応について必要となる負荷への給電操作としては相違なし。段階的に受電操作を実施しているのは、大飯と同様。 【女川】設備の相違 ・電路構成の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑧ 運転員等は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p> <p>⑨ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に空冷式非常用発電装置の燃料（重油）補給を指示する。</p>	<p>⑫^a 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2C系、パワーセンタ2C系及びモータコントロールセンタ2C系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長に給電が完了したことを報告する。</p> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>⑦^a 運転員（中央制御室）A及びBは、受電前準備としてメタクラ2C系、メタクラ2D系の動的負荷の自動起動防止のため操作スイッチ（以下「CS」という。）を「停止」又は「引ロック」とし、発電課長に受電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑬^a 発電課長は、運転員にメタクラ2F系からメタクラ2D系への給電開始を指示する。</p> <p>⑭^a 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2F系からメタクラ2D系を受電するための遮断器を「入」とし、メタクラ2D系、パワーセンタ2D系及びモータコントロールセンタ2D系の受電操作を実施する。</p>	<p>⑩^a 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p> <p>⑪^a 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてメタクラB系、パワーコントロールセンタB系及びコントロールセンタB2系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長（当直）に受電が完了したことを報告する。</p> <p>⑫^a 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に代替非常用発電機への燃料補給を依頼する。</p> <p>⑬^a 発電所対策本部長は、災害対策要員に代替非常用発電機への燃料補給を指示する。</p> <p>⑭^a 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員にメタクラA系の受電準備開始を指示する。</p> <p>⑮^a 運転員（中央制御室）Aは、受電前準備としてメタクラA系の動的負荷の自動起動防止のため、中央制御室にて操作器を「切」又は「切ロック」とする。</p> <p>⑯^a 運転員（現場）B及び災害対策要員は、代替非常用発電機の容量制限があるため、現場の安全補機開閉器室において不要なパワーコントロールセンタA系、コントロールセンタA系及びコントロールセンタB1系負荷の切離しを行い、発電課長（当直）に受電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑰^a 発電課長（当直）は、運転員にメタクラA系への給電開始を指示する。</p> <p>⑱^a 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてSA用代替電源受電遮断器A系を投入し、メタクラA系及びパワーコントロールセンタA系の受電を確認する。</p> <p>⑲^a 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてパワーコントロールセンタ遮断器を投入し、コントロールセンタA1系、コントロールセンタA2系及びコントロールセンタB1系の受電を確認する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯、女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は燃料補給が必要な設備の操作手順に、燃料補給の手順に着手することのみを記載し、その具体的な手順については1.14.2.4「燃料の補給手順」で整理している。 <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、メタクラ2C系受電前にメタクラ2C系及びメタクラ2D系動的負荷の自動起動防止処置を実施している。 ・泊は、メタクラB系受電完了後に実施している。 <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の動的負荷の自動起動防止処置は、中央制御室のみで実施可能である。 ・大飯及び泊の動的負荷の自動起動防止処置については、中央制御室及び現場の安全補機開閉器室にて実施する。 <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電路構成の相違 <p>【女川】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作場所は相違するが、非常用母線へ給電する手順に相違なし。 <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、メタクラの受電と同時にパワーセンタへ充電器まで受電する運用としている。 ・泊は、メタクラA系及びパワーコントロールセンタA系受電確認後に、コントロールセンタA1系、コントロールセンタA2系及びコントロールセンタB1系を受電する手順としていることから、⑯^aと⑲^aで分けた記載としている。重大事故等の

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑩ 当直課長は、運転員等に充電器の受電操作を指示する。</p> <p>⑪ 運転員等は、中央制御室で蓄電池室排気ファンを起動し、蓄電池室の換気を行う。</p> <p>⑫ 運転員等は、現場で充電器を起動し直流電源の給電を行う。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき当直課長及び緊急安全対策要員に、給電先の健全性確認及び電源車の寄り付き場所からのケーブルルートの確認並びに電源車からの給電を指示する。</p>	<p>⑮^a 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2D系、パワーセンタ2D系及びモータコントロールセンタ2D系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長に受電が完了したことを報告し、125V充電器2A、125V充電器2B及び中央制御室監視計器の交流電源を供給する。</p> <p>125V充電器復旧及び中央制御室監視計器復旧操作手順については、「1.14.2.2.(1)a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」の操作手順⑧～⑬と同様である。</p> <p>⑯^a 発電課長は、運転員に不要な交流電源負荷の切離しを指示する。</p> <p>⑰^a 運転員（中央制御室）A及びB並びに運転員（現場）C及びDは、不要な交流負荷の切離しを実施する。</p> <p>(添付資料 1.14.3)</p> <p>[優先4. 電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電の場合]</p> <p>(原子炉建屋東側の電源車接続口（東側）を使用する場合（原子炉建屋西側の電源車接続口（西側）を使用の場合は④^a、⑤^a、⑥^aを除く）)</p> <p>①^b 発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系の給電準備開始を指示する。</p>	<p>⑳^a 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にて、メタクラA系、パワーセンタA系、コントロールセンタA1系、コントロールセンタA2系及びコントロールセンタB1系受電状態に異常がないことを確認後、発電課長（当直）に受電が完了したことを報告し、A充電器、B充電器及び中央制御室監視計器の交流電源を供給する。</p> <p>充電器復旧及び中央制御室監視計器復旧操作手順については、1.14.2.2.(1)a. 「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」の操作手順⑭～⑱と同様である。</p> <p>(添付資料 1.14.14)</p> <p>[優先3. 可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電の場合]</p> <p>①^b 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に、可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系の給電準備開始を指示する。</p>	<p>初期対応について必要となる負荷への給電操作としては相違なし。段階的受電操作を実施しているのは、大飯と同様。</p> <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川はガスタービン発電機による2C系及び2D系母線受電し、事象発生27時間後までに交流負荷の抑制を実施する。 泊は不要な交流負荷の抑制（自動起動防止）は、非常用高圧母線受電までに実施しており操作手順⑳^aに記載している。大飯及び他PWR同様。 <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、充電器受電操作に伴う蓄電池室排気ファンの起動は、1.14.2.2.(1)a. 「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」にて整理していることから、泊の記載箇所にて比較する。 <p>【女川】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に可搬型代替電源車の接続口を東側と西側で2ルート確保しているが、どちらも同様の手順で実施できることから、女川のように手順の相違に関する内容は記載不要。（大飯と同様） <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場でケーブル敷設ルートの確認、電源車の移動、起動前点検を実施する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室でメタクラ、パワーセンタ及びコントロールセンタに接続されるすべての機器及び遮断器の操作スイッチを「切」又は「引断」にし、負荷の切離しを実施する。</p>	<p>②^b 発電課長は、発電所対策本部へ電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系への給電準備開始を依頼する。</p> <p>③^a 発電所対策本部は、重大事故等対応要員に電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系への給電準備開始を指示する。</p> <p>④^b 重大事故等対応要員は、電源車接続口（東側）へ電源車ケーブルを接続する場合は、発電所対策本部に電源車ケーブルの敷設に必要な扉の開放依頼を連絡する。また、発電所対策本部は発電課長に連絡する。</p> <p>⑤^b 発電課長は、発電所対策本部からの連絡により、電源車接続口（東側）へ電源車ケーブルを接続する場合は、運転員に電源車ケーブルの敷設に必要な扉の開放を指示する。</p> <p>⑥^b 運転員（現場）C及びDは、発電課長に電源車ケーブルの敷設に必要な扉の開放を行い報告する。また、発電課長は、発電所対策本部に連絡する。</p> <p>⑦^b 重大事故等対応要員は、電源車接続口付近に電源車（2台）を配置し、電源車から電源車接続口までの間に電源車搭載のケーブルを敷設及び並列運転用制御ケーブルを敷設し、接続する。</p> <p>⑧^b 運転員（現場）C及びDは、メタクラ2C系及びメタクラ2D系の受電前状態において異臭・発煙・破損・保護装置の動作等異常がないことを外観点検より確認する。</p> <p>⑨^b 運転員（中央制御室）A及びBは、受電前準備としてメタクラ2C系及びメタクラ2D系の動的負荷の自動起動防止のためCSを「停止」又は「引ロック」とする。</p> <p>⑩^b 運転員（現場）C及びDは、受電前準備としてモータコントロールセンタ2C系及びモータコントロールセンタ2D系の負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器を「切」とする。</p> <p>⑪^b 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2F系からメタクラ2G系を受電するための遮断器を「切」又は「切」確認を実施する。</p> <p>⑫^b 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ2G系からメタクラ2C系へ給電するための遮断器を「入」、メタクラ2G系からメタクラ2C系を受電するための遮断器を「入」、メタクラ2G系からメタクラ2D系へ給電するための遮断器を「入」、メタクラ2G系からメタクラ2D系を受電するための遮断器を「入」、メタクラ2G系からメタクラ2D系を受電するための遮断器を「入」及び電源車からメ</p>	<p>②^b 災害対策要員は、現場でケーブル敷設ルートの確認、可搬型代替電源車の移動及び起動前点検を実施する。</p> <p>③^b 運転員（中央制御室）Aは、受電前準備としてメタクラA系及びメタクラB系の動的負荷の自動起動防止のため、中央制御室にて操作器を「切」又は「切ロック」とする。</p> <p>④^b 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にて受電前準備としてパワーコントロールセンタA系、コントロールセンタA系並びにパワーコントロールセンタB系及びコントロールセンタB系の負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器を「切」とする。</p> <p>⑤^b 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてメタクラA系及びメタクラB系を受電するためのSA用代替電源受電遮断器A系及びSA用代替電源受電遮断器B系の開放確認を実施する。</p>	<p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯及び泊の給電準備指示に関する内容は、手順①^aで記載している。 <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、建屋内の電源車接続口を使用する場合に扉の開放が必要となるため、手順④^b～⑥^bに記載している。電源車の接続口の違いにより、扉の開放等の必要がないのは、大飯と同様。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の給電準備に関する内容は、手順⑦^b～⑧^bで記載している。 <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の動的負荷の自動起動防止処置は、中央制御室のみで実施可能である。 ・女川及び泊の動的負荷の自動起動防止処置については、中央制御室及び現場の安全補機開閉器室にて実施する。 <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電路構成の相違 ・女川は、受電前の系統構成を中央制御室で実施する。 ・泊は、受電前の系統構成を現場の安全補機開閉器室で実施する。 <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電路構成の相違

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場でケーブルコネクタの接続及び電源車を起動し、出力NFBを投入する。</p> <p>⑤ 緊急安全対策要員は、現場で発電所対策本部長に電源車による給電を開始したことを報告する。</p> <p>⑥ 運転員等は、現場の安全補機開閉器室にて空冷式非常用発電装置受電しゃ断器を投入し、メタクラの受電を確認する。</p> <p>⑦ 運転員等は、中央制御室でパワーセンタ及びコントロールセンタを受電し、非常用高圧母線の電圧計により電源が確保されたことを確認する。</p>	<p>メタクラ 2G 系を受電するための遮断器を「入」とする。</p> <p>⑬^女 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ 2C 系からパワーセンタ 2C 系へ給電するための遮断器及びメタクラ 2D 系からパワーセンタ 2D 系へ給電するための遮断器の「入」確認を実施し、発電課長にメタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑭^女 重大事故等対応要員は、電源車接続口にて電源車からメタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系間の連絡母線までの電路の健全性を絶縁抵抗測定により確認し、発電所対策本部に電源車によるメタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑮^女 発電所対策本部は、発電課長に電源車によるメタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑯^女 発電課長は、ガスタービン発電機及び炉間電力融通ケーブルにより給電ができない場合、発電所対策本部に電源車によるメタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電を依頼する。</p> <p>⑰^女 発電所対策本部は、重大事故等対応要員に電源車によるメタクラ 2G 系、メタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電開始を指示する。</p> <p>⑱^女 重大事故等対応要員は、電源車接続口にて電源車（2台）の起動及び並列操作により、メタクラ 2G 系、メタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系への給電を実施し、発電所対策本部に電源車によるメタクラ 2G 系、メタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系へ給電が完了したことを報告する。</p> <p>⑲^女 発電所対策本部は、発電課長へ電源車（2台）によるメタクラ 2G 系、メタクラ 2C 系及びメタクラ 2D 系へ給電が完了したことを報告する。</p> <p>⑳^女 運転員（中央制御室）A及びBは、メタクラ 2G 系、メタクラ 2C 系、パワーセンタ 2C 系及びモータコントロ</p>	<p>⑥^女 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、メタクラA系からパワーコントロールセンタA系へ給電するための遮断器及びメタクラB系からパワーコントロールセンタB系へ給電するための遮断器の「入」確認を実施し、発電課長（当直）にメタクラA系及びメタクラB系への受電準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑦^女 災害対策要員は、可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系への給電準備が完了したことを発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧^女 発電課長（当直）は、可搬型代替電源車からの給電準備作業が完了し、かつ後備変圧器からの給電ができない場合は、運転員及び災害対策要員に可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系給電を指示する。</p> <p>⑨^女 災害対策要員は、現場でケーブルを接続し、可搬型代替電源車を起動及び並列操作を実施する。</p> <p>⑩^女 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてSA用代替電源受電遮断器B系を投入し、メタクラB系及びパワーコントロールセンタB系の受電を確認する。</p> <p>⑪^女 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてパワーコントロールセンタ遮断器を投入し、コントロールセンタB系の受電を確認する。</p> <p>⑫^女 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてSA用代替電源受電遮断器A系を投入し、メタクラA系及びパワーコントロールセンタA系の受電を確認する。</p> <p>⑬^女 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてパワーコントロールセンタ遮断器を投入し、コントロールセンタA系の受電を確認する。</p> <p>⑭^女 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてメタクラA系、パワーコン</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・女川も泊も給電準備が完了したことを報告している点で相違なし。</p> <p>【女川】体制の相違 ・女川は、発電所対策本部長の指示により緊急安全対策要員が実施する。</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】体制の相違 ・女川は、発電所対策本部長の指示により緊急安全対策要員が実施する。</p> <p>【大飯、女川】記載表現の相違 ・大飯は、電源車の起動からメタクラの受電操作を手順④～⑦で記載している。 ・女川は、電源車の起動からメタクラ2C系及びメタクラ2D系の受電操作を手順⑯～⑲で記載している。 ・泊は、可搬型代替電源車の起動からメタクラA系及びメタクラB系の受電操作を手順⑯～⑲で記載している。非常用高圧母線の受電操作に関する手順として、実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】設備の相違 ・女川及び泊は、現場にて受電操作をしているのに対し、大飯はパワーセンタ及びコントロールセンタの受電を中央制御室にて実施。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑧ 運転員等は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p> <p>⑨ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に電源車の燃料（重油）補給を指示する。</p> <p>⑩ 当直課長は、運転員等に充電器の受電操作を指示する。</p> <p>⑪ 運転員等は、中央制御室で蓄電池室排気ファンを起動し、蓄電池室の換気を行う。</p> <p>⑫ 運転員等は、現場で充電器を起動し直流電源の給電を行う。</p> <p>c. 操作の成立性</p>	<p>ールセンタ 2C系並びにメタクラ 2D系、パワーセンタ 2D系及びモータコントロールセンタ 2D系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長に受電が完了したことを報告し、125V 充電器 2A、125V 充電器 2B及び中央制御室監視計器の交流電源復旧を確認する。</p> <p>なお、遮断器用制御電源喪失により中央制御室からのメタクラ 2C系、メタクラ 2C系及びメタクラ 2D系の遮断器操作ができない場合は、現場にて遮断器本体を手動で投入して電路を構成する。</p> <p>125V 充電器復旧及び中央制御室監視計器復旧操作手順については、「1.14.2.2.(1)a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」の操作手順⑧～⑫と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性 [優先1. ガスタービン発電機によるメタクラ 2C系及びメタクラ 2D系受電の場合] 【ガスタービン発電機の自動起動による受電】</p>	<p>トロールセンタ A系及びコントロールセンタ A系並びにメタクラ B系、パワーコントロールセンタ B系及びコントロールセンタ B系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長（当直）に受電が完了したことを報告し、A 充電器、B 充電器及び中央制御室監視計器の交流電源復旧を確認する。</p> <p>充電器復旧及び中央制御室監視計器復旧操作手順については、1.14.2.2.(1)a. 「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」の操作手順⑭～⑯と同様である。</p> <p>⑮^b 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p> <p>⑯^b 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に可搬型代替電源車への燃料補給を依頼する。</p> <p>⑰^b 発電所対策本部長は、災害対策要員に可搬型代替電源車への燃料補給を指示する。</p> <p>(c) 操作の成立性 [優先1. 代替非常用発電機によるメタクラ A系及びメタクラ B系受電の場合] 【代替非常用発電機の中央制御室からの手動起動による受電】</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・女川は、遮断器用制御電源喪失により中央制御室からの受電操作ができないことを想定した内容を記載している。 ・泊は、中央制御室での遮断器操作を想定していないことから記載しない。</p> <p>【大飯、女川】記載方針の相違 ・泊は燃料補給が必要な設備の操作手順に、燃料補給の手順に着手することを記載し、その具体的な手順については1.14.2.4「燃料の補給手順」で整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は、充電器受電操作に伴う蓄電池室排気ファンの起動は、1.14.2.2.(1)a. 「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」にて整理していることから、泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川のガスタービン発電機は、外部電源喪失後、自動起動する設計であるのに対し、大飯及び泊は手動で起動する。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>上記のうち、空冷式非常用発電装置による受電操作について、中央制御室対応は1ユニット当たり運転員等2名、現場対応は1ユニット当たり運転員等2名により作業を実施し、所要時間は約20分と想定する。</p> <p>また、充電器の受電操作については、現場対応は1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約5分と想定する。</p>	<p>運転員（中央制御室）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電完了まで15分以内で可能である。</p> <p>比較のため島根2号炉まとめ資料の「1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順（1）代替交流電源設備による給電（1.14-69頁）の記載を下記に掲示」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービン発電機によるM/C D系受電完了まで40分以内で可能である。 ・ガスタービン発電機によるM/C C系受電完了まで1時間10分以内で可能である。 <p>不要な交流負荷の切離し操作は、運転員（中央制御室）による操作は5分以内で可能であり、運転員（現場）による操作は45分以内で可能である。</p> <p>【ガスタービン発電機の現場からの起動による受電】 運転員（中央制御室）2名、運転員（現場）2名及び保修班員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電完了まで45分以内で可能である。</p> <p>比較のため島根2号炉まとめ資料の「1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順（1）代替交流電源設備による給電（1.14-69頁）の記載を下記に掲示」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービン発電機によるM/C D系受電完了まで1時間5分以内で可能である。 ・ガスタービン発電機によるM/C C系受電完了まで1時間10分以内で可能である。 	<p>運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから所要時間は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替非常用発電機によるメタクラB系及びパワーコントロールセンタB系受電完了まで15分以内で可能である。 ・代替非常用発電機によるメタクラA系及びパワーコントロールセンタA系受電完了まで40分以内で可能である。 ・代替非常用発電機によるコントロールセンタA系及びコントロールセンタB系受電完了まで45分以内で可能である。 <p>【代替非常用発電機の現場からの起動による受電】 運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）3名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから所要時間は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替非常用発電機によるメタクラB系及びパワーコントロールセンタB系受電完了まで50分以内で可能である。 ・代替非常用発電機によるメタクラA系及びパワーコントロールセンタA系受電完了まで65分以内で可能である。 	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の重大事故等の初期対応は、メタクラB系受電により行なうことができるため、メタクラB系受電後にメタクラA系受電する。そのため、メタクラB系及びメタクラA系で分けた記載としている。（島根と同様） <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川はガスタービン発電機による2C系及び2D系母線受電し、事象発生27時間後までに交流負荷の抑制を実施する。 ・泊は不要な交流負荷の抑制（自動起動防止）は、非常用高圧母線受電までに実施しており、一連の受電準備操作時間に含まれていることから記載していない。大飯と同様。 <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川及び泊は、現場からの起動手順を整備している。</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の重大事故等の初期対応は、メタクラB系受電により行なうことができるため、メタクラB系受電後にメタクラA系受電する。そのため、メタクラB系及びメタクラA系で分けた記載としている。（島根と同様）

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記のうち、電源車における受電操作について、中央制御室対応は1ユニット当たり運転員等2名、現場対応は1ユニット当たり運転員等1名、緊急安全対策要員4名により作業を実施し、所要時間は約60分と想定する。</p> <p>また、充電器の受電操作については、現場対応は運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約5分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、携帯照明や通信設備等を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>空冷式非常用発電装置は、常設代替電源設備として設置しているため中央制御室から、早期に非常用高圧母線への電源回復操作を実施する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。空冷式非常用発電装置は必要最大負荷以上の電力を確保することで、原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに、空冷式非常用発電装置の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。</p> <p>(添付資料1.14.3、1.14.4、1.14.5)</p>	<p>不要な交流負荷の切離し操作は、運転員（中央制御室）による操作は5分以内で可能であり、運転員（現場）による操作は45分以内で可能である。</p> <p>[優先4.電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電の場合]</p> <p>運転員（中央制御室）2名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電完了まで125分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。</p>	<p>・代替非常用発電機によるコントロールセンタA系及びコントロールセンタB系受電完了まで70分以内で可能である。</p> <p>[優先3.可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電の場合]</p> <p>運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電完了まで240分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。</p> <p>代替非常用発電機は、常設代替交流電源設備として設置しているため中央制御室から早期に非常用高圧母線への電源回復操作を実施する。</p> <p>代替非常用発電機の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。代替非常用発電機は必要最大負荷以上の電力を確保することで、発電用原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに、代替非常用発電機の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期事業者検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川はガスタービン発電機による2C系及び2D系母線受電し、事象発生27時間後までに交流負荷の抑制を実施する。 ・泊は不要な交流負荷の抑制（自動起動防止）は、非常用高圧母線受電までに実施しており、一連の受電準備操作時間に含まれていることから記載していない。大飯と同様。 <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯、女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、1.14.2.1(7)より再掲】</p> <p>円滑に作業できるように、可搬式代替電源用接続盤等の常設設備と接続する箇所はコネクタ接続のため、手動にて実施し、移動経路の確保及び携帯照明や通信設備等を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>電源車は、プラント監視機能等を維持するために必要な最低限度の電力を供給する。また、プラントの被災状況に応じて使用可能な設備の電力を供給する。</p> <p>(添付資料 1.14.4、1.14.5、1.14.11)</p>	<p>(添付資料 1.14.2-1)</p>	<p>(添付資料 1.14.3、1.14.4、1.14.15)</p>	
<p>(2) 77kV送電線による代替電源（交流）からの給電</p> <p>空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電が実施できない場合に、77kV送電線による非常用高圧母線への代替電源（交流）から給電する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>空冷式非常用発電装置の故障等により代替電源（交流）からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、77kV送電線の健全が確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>77kV送電線による代替電源（交流）からの給電を行う手順の概要は以下のとおり。概略図を第1.14.5図に、タイムチャートを第1.14.6図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に、77kV送電線による代替電源（交流）給電を指示する。</p>	<p>【比較のため、1.14.2.1(1)b. の記載より再掲】</p> <p>2号炉で外部電源、非常用ディーゼル発電機、高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電機及びガスタービン発電機による給電ができない場合において、号炉間電力融通ケーブル（常設）又は号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を使用して3号炉の非常用ディーゼル発電機からメタクラ2C系又はメタクラ2D系までの電路を構成し、3号炉から給電することにより、発電用原子炉及び使用済燃料プールの冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要な設備の電源を復旧する。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(1)b. の記載より再掲】</p> <p>[優先6.号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を使用した3号炉の非常用ディーゼル発電機（A）によるメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電の場合] (メタクラ2D系への手順も同様である。)</p>	<p>b. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>3号炉で外部電源、ディーゼル発電機及び代替非常用発電機による給電ができない場合において、後備変圧器を使用してメタクラA系又はメタクラB系までの電路を構成し給電することにより、発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要な設備の電源を復旧する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>[後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電準備開始の判断基準]</p> <p>代替非常用発電機の故障等により代替電源（交流）からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、後備変圧器の健全が確認できた場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>後備変圧器による非常用所内電気設備への給電手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.14.10図に、タイムチャートを第1.14.11図に示す。</p> <p>[優先2.後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電の場合]</p> <p>本手順は、後備変圧器を使用してメタクラB系へ給電する操作手順を示す。(メタクラA系への手順も同様である。)</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に、後備変圧器によるメタクラB系の受電準備開始を指示する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①） 【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①） 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①） 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② 運転員等は、中央制御室でN o. 1予備変圧器1次側の遮断器が投入されていることを確認する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室でN o. 1予備変圧器2次側の遮断器を投入する。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室でパワーセンタ及びコントロールセンタを受電し、非常用高圧母線の電圧計により電源が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p> <p>⑥ 当直課長は、運転員等に充電器の受電操作を指示する。</p> <p>⑦ 運転員等は、中央制御室で蓄電池室排気ファンを起動し、蓄電池室の換気を行う。</p> <p>⑧ 運転員等は、現場で充電器を起動し直流電源の給電を行う。</p>		<p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で66kV泊支線の電圧等の確認及び66kV泊支線から1号又は2号炉への給電状態の確認により、後備変圧器による給電が可能であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、受電前準備としてメタクラB系の動的負荷の自動起動防止のため、中央制御室にて操作器を「切」又は「切ロック」とする。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にて受電前準備としてパワーコントロールセンタB系及びコントロールセンタB系の負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器を「切」とする。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてメタクラA系及びメタクラB系に受電するためのSA用代替電源受電遮断器A系及びSA用代替電源受電遮断器B系の開放確認を実施する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、メタクラB系への受電準備が完了したことを発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑦ 発電課長（当直）は、運転員に、後備変圧器によるメタクラB系の給電を指示する。</p> <p>⑧ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で遮断器を投入し、後備変圧器に異常がないことを確認する。</p> <p>⑨ 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にて受電遮断器B系を投入し、メタクラB系及びパワーコントロールセンタB系の受電を確認する。</p> <p>⑩ 運転員（現場）Bは、現場の安全補機開閉器室にてパワーコントロールセンタ遮断器を投入しコントロールセンタB系の受電を確認する。</p> <p>⑪ 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、メタクラB系、パワーコントロールセンタB系及びコントロールセンタB系の受電状態に異常がないことを確認後、発電課長（当直）に受電が完了したことを報告し、B充電器及び中央制御室監視計器の交流電源復旧を確認する。 充電器復旧及び中央制御室監視計器復旧操作手順については、1.14.2.2.(1)a.「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」の操作手順⑩～⑫と同様である。</p> <p>⑫ 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 ・大飯及び泊は、受電準備に関する内容を記載している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊は、現場にて受電操作をしているのに対し、大飯はパワーセンタ及びコントロールセンタの受電を中央制御室にて実施。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・泊は、充電器受電操作に伴う蓄電池室排気ファンの起動は、1.14.2.2.(1)a.「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」にて整理していることから、泊の記載箇所にて比較する。(女川と同様。)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 操作の成立性</p> <p>上記のうち、77kV送電線による受電操作について、中央制御室対応は1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約10分と想定する。</p> <p>また、充電器の受電操作については、現場対応は1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約5分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、携帯照明や通信設備等を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>77kV送電線による電源（交流）からの給電については、ケーブルの送電容量を考慮した負荷の範囲内で給電する。</p> <p>77kV送電線による電源（交流）からの給電の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。77kV送電線による電源（交流）からの給電は必要最大負荷以上の電力を確保することで、原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに、他号炉の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。 （添付資料 1.14.4、1.14.5、1.14.6）</p> <p>(3) No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>77kV送電線による代替電源（交流）からの給電が実施できない場合に、No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による非常用高圧母線への代替電源（交流）から給電する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>77kV送電線の故障等により代替電源（交流）からの</p>	<p>【比較のため、1.14.2.1(1)a. の記載より再掲】</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。</p>	<p>(c) 操作の成立性</p> <p>[優先2. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電の場合]</p> <p>運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電完了まで60分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明、通信連絡設備を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>後備変圧器による電源（交流）からの給電については、ケーブルの送電容量を考慮した負荷の範囲内で給電する。</p> <p>後備変圧器による電源（交流）からの給電の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。後備変圧器による電源（交流）からの給電は必要最大負荷以上の電力を確保することで、原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに1号又は2号炉の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期事業者検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。 （添付資料 1.14.4、1.14.5、1.14.15）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違（相違理由①） 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・泊は、充電器受電に伴う操作の成立性については、1.14.2.2.(1)a.「所内常設蓄電式直流電源設備による給電」にて整理していることから、泊の記載箇所にて比較する。(女川と同様。) 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>給電が母線電圧等にて確認できない場合において、他号炉のディーゼル発電機が健全^{※6}であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p> <p>※6 他号炉のディーゼル発電機が健全とは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル発電機2台が健全 ・供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全 <p>b. 操作手順</p> <p>N o. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電を行う手順の概要は以下のとおり。概略図を第1.14.7図に、タイムチャートを第1.14.8図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に、N o. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室及び現場で号機間融通給電先の所内電源系統の受電準備、供給元の送電準備を実施する。 ③ 運転員等は、現場で号機間融通に必要なインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置を行う。 ④ 運転員等は、中央制御室及び現場で供給元母線のディーゼル発電機の負荷について切離しを行う。 ⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で号機間融通給電先の母線負荷について切離しを行う。 ⑥ 運転員等は、現場でN o. 2 予備変圧器1次側の遮断器を開放する。 ⑦ 運転員等は、中央制御室で供給元母線のN o. 2 予備変圧器受電遮断器を投入する。 ⑧ 運転員等は、中央制御室で号機間融通給電先母線のN o. 2 予備変圧器受電遮断器を投入し、メタクラの受電を確認する。 ⑨ 運転員等は、中央制御室でパワーセンタ及びコントロールセンタを受電し、非常用高圧母線の電圧計により電源が確保されたことを確認する。 ⑩ 運転員等は、現場で号機間融通開始に当たり実施したインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置を一部復旧する。 ⑪ 運転員等は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備が必要な時期に起動する。 ⑫ 当直課長は、運転員等に充電器の受電操作を指示する。 ⑬ 運転員等は、中央制御室で蓄電池室排気ファンを起動 			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>し、蓄電池室の換気を行う。</p> <p>⑩ 運転員等は、現場で充電器を起動し直流電源の給電を行う。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記のうち、No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作について、中央制御室対応は運転員等2名、現場対応は運転員等2名により作業を実施し、所要時間は約65分と想定する。</p> <p>また、充電器の受電操作については、現場対応は運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約5分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、携帯照明や通信設備等を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通については、ケーブルの送電容量を考慮した負荷の範囲内で給電する。</p> <p>No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能喪失及びRCPシールドOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。</p> <p>No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通は必要最大負荷以上の電力を確保することで、原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに、他号炉の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。</p> <p>(添付資料1.14.4、1.14.5、1.14.7)</p> <p>(4) No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電が実施できない場合に、No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による非常用高圧母線への代替電源（交流）から給電する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>No. 2予備変圧器の故障等によりNo. 2予備変圧器</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、他号炉のディーゼル発電機が健全^{※7}であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p> <p>※7 他号炉のディーゼル発電機が健全とは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル発電機2台が健全 ・供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全 <p>b. 操作手順</p> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電を行う手順の概要は以下のとおり。概略図を第1.14.9図に、タイムチャートを第1.14.10図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に、No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室及び現場で号機間融通給電先の所内電源系統の受電準備、供給元の送電準備を実施する。 ③ 運転員等は、現場で号機間融通に必要なインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置を行う。 ④ 運転員等は、中央制御室及び現場で供給元母線のディーゼル発電機の負荷について切離しを行う。 ⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で号機間融通給電先の母線負荷について切離しを行う。 ⑥ 運転員等は、現場でNo. 1 予備変圧器1次側の遮断器を開放する。 ⑦ 運転員等は、現場で号機間融通に必要なインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置を行う。 ⑧ 運転員等は、中央制御室で供給元母線のNo. 1 予備変圧器受電遮断器を投入する。 ⑨ 運転員等は、中央制御室でパワーセンタ及びコントロールセンタを受電し、非常用高圧母線の電圧計により電源が確保されたことを確認する。 			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑩ 運転員等は、現場で号機間融通開始に当たり実施したインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置を一部復旧する。</p> <p>⑪ 運転員等は、中央制御室及び現場で受電に伴い順次起動する補機の確認を行うとともに、重大事故等対処設備を必要な時期に起動する。</p> <p>⑫ 当直課長は、運転員等に充電器の受電操作を指示する。</p> <p>⑬ 運転員等は、中央制御室で蓄電池室排気ファンを起動し、蓄電池室の換気を行う。</p> <p>⑭ 運転員等は、現場で充電器を起動し直流電源の給電を行う。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記のうち、No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作について、中央制御室対応は運転員等3名、現場対応は運転員等2名により作業を実施し、所要時間は約65分と想定する。</p> <p>また、充電器の受電操作については、現場対応は運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約5分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、携帯照明や通信設備等を整備するとともに、暗闇でも視認性が上がるように操作対象盤に識別表示を行う。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通については、ケーブルの送電容量を考慮した負荷の範囲内で給電する。</p> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通の必要最大負荷は、想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる、「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」及び「燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故」の場合である。</p> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通は必要最大負荷以上の電力を確保することで、原子炉を安定状態に収束するための電力を供給する。さらに、他号炉の電源裕度及びプラント設備状況（被災状況、定期検査中等）に応じたその他使用可能な設備に給電する。</p> <p>また、審査基準ごとに要求される重大事故等対処設備等の負荷へ給電する。</p> <p>(添付資料 1.14.4、1.14.5、1.14.8)</p>			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(5) 号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電</p> <p>No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電が実施できない場合に、号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による非常用高圧母線への代替電源(交流)から給電する手順を整備する。</p> <p>【比較のため、1.14.2.1(8)より再掲】</p> <p>あらかじめ敷設した号機間電力融通恒設ケーブルが使用できず、電源車による代替電源(交流)からの給電が実施できない場合に、号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による非常用高圧母線への代替電源(交流)から給電する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>No.1予備変圧器の故障等によりNo.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、他号炉のディーゼル発電機が健全^{※8}であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p> <p>※8 他号炉のディーゼル発電機が健全とは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル発電機2台が健全 供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全 <p>【比較のため、1.14.2.1(8)より再掲】</p> <p>電源車の故障等により代替電源からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、他号炉のディーゼル発電機が健全^{※10}であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p> <p>※10 他号炉のディーゼル発電機が健全とは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル 	<p>b. 号炉間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電</p> <p>2号炉で外部電源、非常用ディーゼル発電機、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機及びガスタービン発電機による給電ができない場合において、号炉間電力融通ケーブル(常設)又は号炉間電力融通ケーブル(可搬型)を使用して3号炉の非常用ディーゼル発電機からメタクラ2C系又はメタクラ2D系までの電路を構成し、3号炉から給電することにより、発電用原子炉及び使用済燃料プールの冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要なとなる設備の電源を復旧する。</p> <p>なお、号炉間電力融通ケーブル(常設)が使用できない場合は、第2保管エリアに配備する号炉間電力融通ケーブル(可搬型)を使用して電力融通を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>[号炉間電力融通ケーブル(常設)による給電の判断基準]</p> <p>2号炉で外部電源、非常用ディーゼル発電機、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機及びガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系へ給電ができない状況において、3号炉の非常用ディーゼル発電機(A)又は非常用ディーゼル発電機(B)が健全で電力融通が可能な場合。</p> <p>[号炉間電力融通ケーブル(可搬型)による給電の判断基準]</p> <p>2号炉で外部電源、非常用ディーゼル発電機、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機、ガスタービン発電機及び号炉間電力融通ケーブル(常設)によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系へ給電ができない状況において、3号炉の非常用ディーゼル発電機(A)又は3号炉の非常用ディーゼル発電機(B)が健全で電力融通が可能な場合。</p>	<p>c. 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>3号炉で外部電源、ディーゼル発電機、代替非常用発電機、後備変圧器及び可搬型代替電源車による給電ができない場合において、号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用して1号又は2号炉のディーゼル発電機からメタクラA系又はメタクラB系までの電路を構成し、1号又は2号炉から給電することにより、発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要なとなる設備の電源を復旧する。</p> <p>なお、号炉間連絡ケーブル及び開閉所設備が使用できない場合は、構内保管エリアに配備する号炉間連絡予備ケーブルを使用して電力融通を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>[号炉間連絡ケーブルによる給電の判断基準]</p> <p>可搬型代替電源車による代替電源(交流)からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、1号又は2号炉のディーゼル発電機2台が健全であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p> <p>[号炉間連絡予備ケーブルによる給電の判断基準]</p> <p>開閉所設備を使用した号炉間電力融通による代替電源(交流)からの給電が母線電圧等にて確認できない場合において、1号又は2号炉のディーゼル発電機2台が健全であることをディーゼル発電機電圧等にて確認できた場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由⑫)</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>泊の号炉間連絡予備ケーブルについては、給電手段の優先順位が6番目となり、号炉間連絡ケーブル及び開閉所設備による給電ができない場合の手段であることから、その旨を記載している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑩)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑩)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p>